

令和3年版

松本市の環境

「令和2年度 第3次松本市環境基本計画(平成28年度改訂版)年次報告書」



清い水、深いみどりと青い空

～豊かで美しい環境を次世代にひきつぐために～

目 次

第1章	本市の概要	
1	位置・面積	5
2	沿革	5
3	人口	6
4	産業	7
第2章	環境の状況	
1	地球環境	13
2	循環型社会	18
3	生活環境	19
4	自然環境	25
5	快適環境	27
6	環境教育	29
第3章	施策の展開	
	指標・目標値の達成状況	35
	指標・目標値に対する実績	
	第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち（地球環境）	36
	第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち（循環型社会）	37
	第3の柱 安全に安心して暮らせるまち（生活環境）	38
	第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち（自然環境）	39
	第5の柱 緑・水・歴史を育むまち（快適環境）	40
	環境教育	41
	指標・目標値の総合評価結果	42
	指標・目標値に対する各年度の評価及び総合評価	
	第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち（地球環境）	43
	第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち（循環型社会）	44
	第3の柱 安全に安心して暮らせるまち（生活環境）	45
	第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち（自然環境）	47
	第5の柱 緑・水・歴史を育むまち（快適環境）	48
	環境教育	50
	指標・目標値の設定のない事業の把握	
	第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち（地球環境）	52
	第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち（循環型社会）	69
	第3の柱 安全に安心して暮らせるまち（生活環境）	83
	第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち（自然環境）	99
	第5の柱 緑・水・歴史を育むまち（快適環境）	108
付録	環境行政のあゆみ	126
別冊	資料編	

第1章

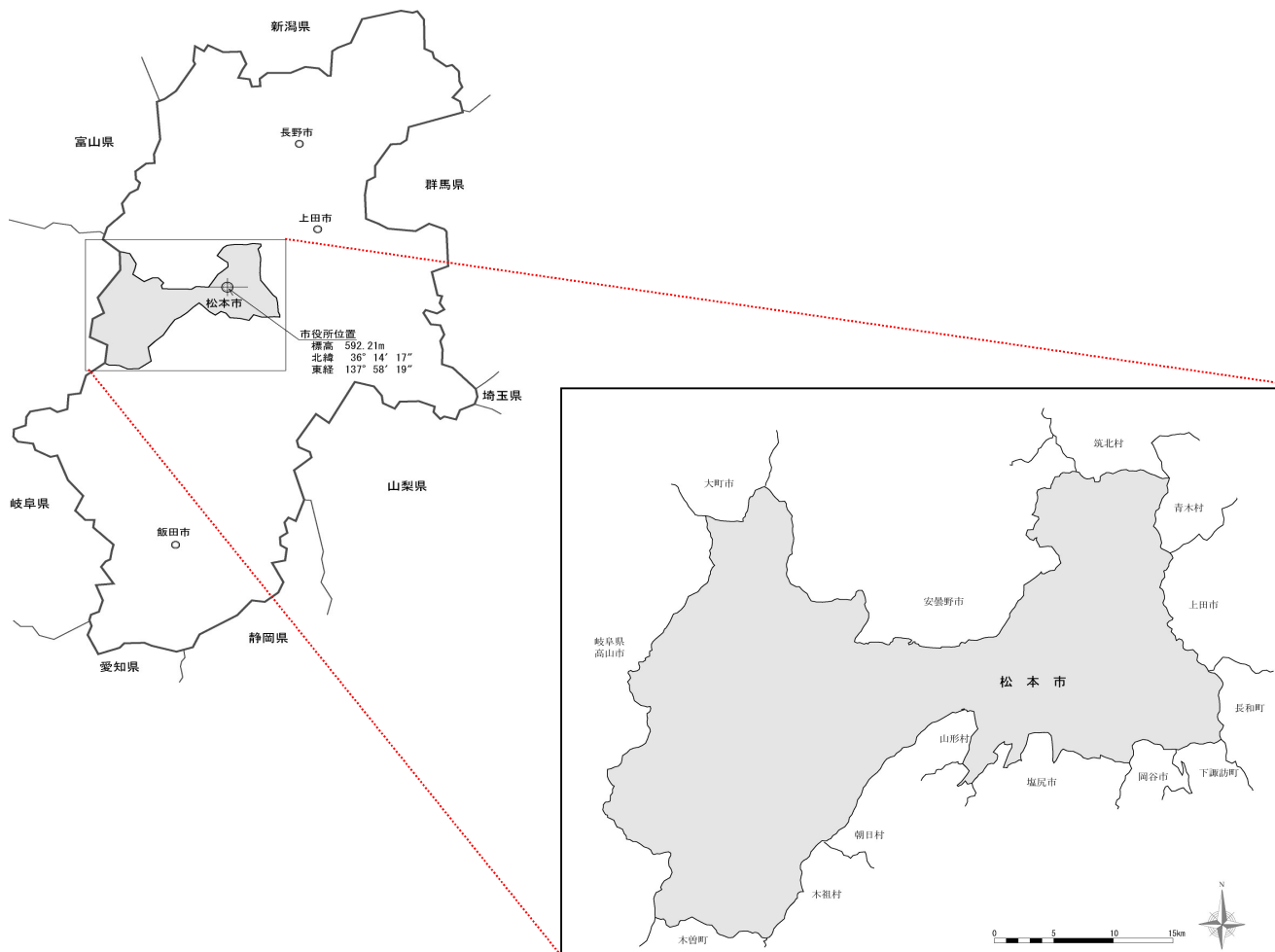
本市の概要



1 位置・面積

本市は、長野県のほぼ中央から西部に位置（市役所：北緯 36 度 14 分 17 秒、東経 137 度 58 分 19 秒）し、北は大町市、安曇野市、東筑摩郡筑北村に、東は上田市、小県郡青木村、長和町に、南は塩尻市、岡谷市、諏訪郡下諏訪町、東筑摩郡朝日村、山形村、木曾郡木曾町、木祖村に、西は岐阜県高山市に接しています。市役所の標高は 592.21 メートルです。

市域は、東西 52.2 キロメートル、南北 41.3 キロメートル、面積は 978.47 平方キロメートルで、県内で最も広い面積を有しています。



2 沿革

平安時代には、信濃国府が松本の地に置かれ、中世には信濃守護の館の所在地として、また江戸時代には松本藩の城下町として栄えました。

明治 40 年 (1907 年) 5 月 1 日に市制を施行し、平成 29 年 (2017 年) には市制施行 110 周年を迎えました。

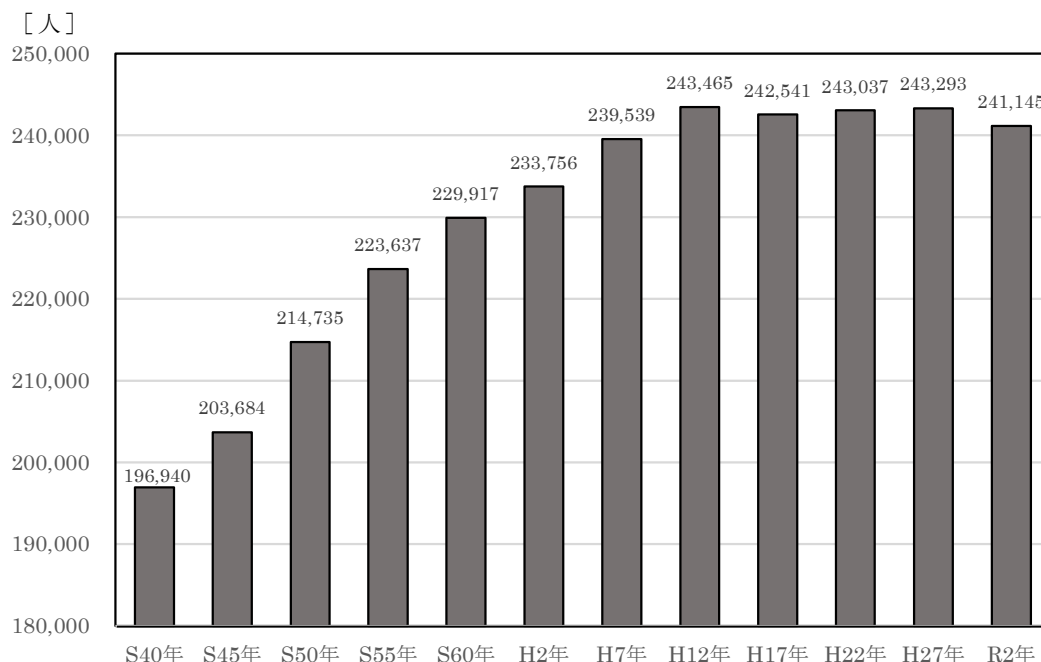
平成 17 年 (2005 年) には近隣の四賀村、安曇村、奈川村、梓川村と、平成 22 年 (2010 年) には波田町と合併し、現在の市域が形成されました。

地方分権を推進するため、平成 12 年 (2000 年) には特例市の指定を受け、さらに令和 3 年 (2021 年) 4 月には中核市に移行しました。引き続き、松本広域圏の中心都市として、周辺市村と連携を図りながら、持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

3 人 口

図 1-1 に示すとおり、本市の人口は、平成 12 年(2000 年)の国勢調査までは増加傾向にありましたが、平成 14 (2002) 年をピークに、減少傾向に転じました。

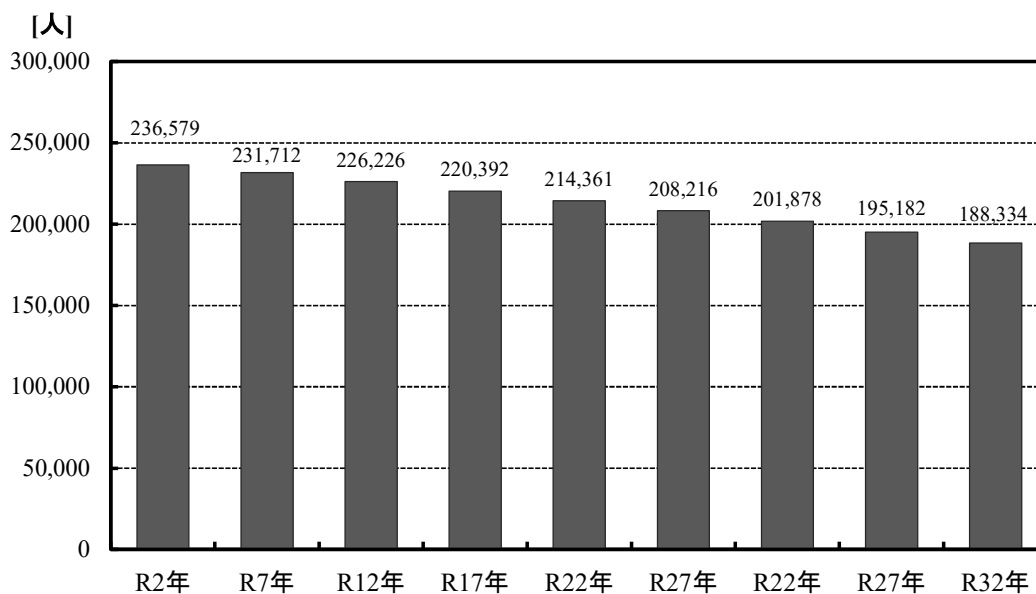
今後の人口は図 1-2 のように減少していくと推計されます。少子高齢化の進行や単身世帯、独居や夫婦の高齢者世帯の増加が進んでいくことが考えられます。



合併地区を含む。

資料：国勢調査

図 1-1 本市の人口の推移



資料：超少子高齢型人口減少社会における松本市の人口推計（松本市推計値）

図 1-2 本市の人口推計

4 産 業

表 1-1 に示すとおり、就業者数は、平成 7 年(1995 年)をピークに減少しています。就業者数を産業部門別にみると、第一次産業 6,794 人(就業者数の 5.8 パーセント)、第二次産業 28,388 人(同 24.2 パーセント)、第三次産業 82,036 人(同 70.0 パーセント)となっています。

図 1-3 に示すとおり、就業者数の構成割合を平成 22 年(2010 年)と比べると、第一次産業は 0.2 ポイント低下し、第二次産業は 0.5 ポイント上昇、第三次産業は、0.3 ポイント低下しました。

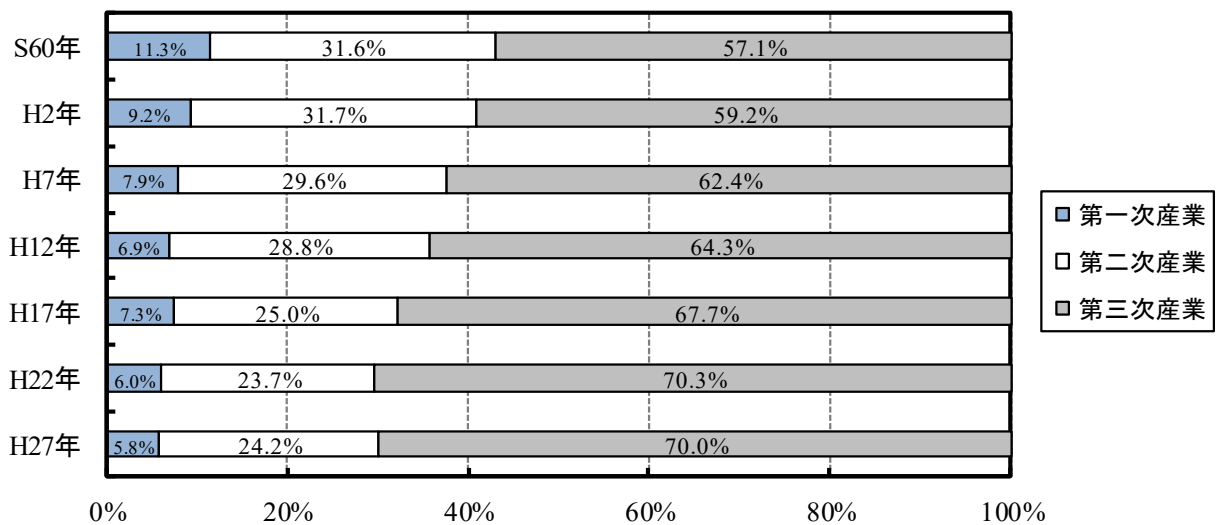
表 1-1 産業別就業者数の推移

単位：人

	S60 年	H2 年	H7 年	H12 年	H17 年	H22 年	H27 年
就業人口計	119,582	124,109	130,257	129,867	124,631	119,131	117,218
第一次産業	13,525	11,405	10,342	8,940	9,086	7,191	6,794
第二次産業	37,774	39,292	38,578	37,393	31,126	28,177	28,388
第三次産業	68,283	73,412	81,337	83,534	84,419	83,763	82,036

各年 10 月 1 日現在(合併地区を含む。)

資料：国勢調査



各年 10 月 1 日現在(合併地区を含む。)

資料：国勢調査

図 1-3 産業別就業者割合の推移

(1) 農林業

表 1-2 に示すとおり、農業就業者は、平成 17 年(2005 年)から令和 2(2020 年)の 15 年間で約 40 パーセント減少し、75 歳以上の割合は、3 ポイント増加しています。

また、表 1-3 や表 1-4 に示すとおり、耕作放棄地は、平成 27 年(2015 年)には 735 ヘクタールとなっています。

今後も高齢化の進行による農業就業者の減少が考えられます。

表 1-2 農業就業者人口の推移

単位：人

	H17年	H22年	H27年	R2年
就業人口合計	9,484	7,798	6,574	5,478
75歳以上	2,533	2,503	2,184	1,626
75歳以上割合	26.7%	32.1%	33.2%	29.7%

各年 2 月 1 日現在（合併地区を含む。）

資料：農林業センサス

表 1-3 耕地面積の推移

単位：ha

	H17年	H22年	H27年	R2年
経営耕地面積	6,315	5,924	5,437	5,940
耕作放棄地面積	818	790	735	-※
計（総耕地面積）	7,133	6,714	6,172	5,940

各年 2 月 1 日現在（合併地区を含む。）

※耕作放棄地面積は令和 2 年の調査対象外
資料：農林業センサス

表 1-4 耕作放棄地面積

単位：ha

総 農 家			土地持ち 非 農 家	総 計
販売農家	自給的農家	計		
142	309	451	284	735

平成 27 年 2 月 1 日現在（合併地区を含む。）

資料：農林業センサス

(2) 工 業

表 1-5 に示すとおり、事業所数は、概ね減少傾向にあります。

表 1-6 に示すとおり、従業員数は、減少・増加を繰り返しています。

表 1-7 に示すとおり、製造品出荷額等は、概ね増加傾向にあります。

情報、食料及び電子の 3 分類で、製造品出荷額等の半分を占めています。

表 1-5 事業所数の推移

単位：カ所

H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
367	349	375	318	310	301	298

各年 12 月 31 日現在（合併地区を含む。）

従業者 4 人以上の事業所

資料：工業統計調査、平成 28 年経済
センサス・活動調査（H27 のみ）

表 1-6 従業員数の推移

単位：人

H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
13,434	13,825	12,588	13,341	13,811	14,604	13,682

各年 12 月 31 日現在（合併地区を含む。）

従業者 4 人以上の事業所

資料：工業統計調査、平成 28 年経済
センサス・活動調査（H27 のみ）

表 1-7 製造品出荷額等の推移

単位：万円

	H25 年	H26 年	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	R1 年
合 計	46,019,505	48,387,158	48,935,999	50,642,883	50,263,854	58,104,882	58,262,573
情 報	14,101,828	15,552,201	15,896,214	17,741,356	17,544,525	25,780,325	27,858,173
食 料	5,881,691	5,846,640	5,794,126	5,958,545	6,008,353	6,072,202	6,174,271
電 子	3,272,880	3,318,465	3,402,890	3,719,028	3,922,099	4,322,115	3,620,205
その他	22,763,106	23,669,852	23,842,769	23,223,954	22,788,877	21,930,240	20,609,924

各年 12 月 31 日現在（合併地区を含む。）
 従業者 4 人以上の事業所

資料：工業統計調査、平成 28 年経済
 センサス・活動調査（H27 のみ）

(3) 商 業

本市は「商都松本」と呼ばれ、中信地域の基幹都市として商業が発展してきました。

表 1-8 から表 1-10 に示すとおり、リーマンショックの影響により、平成 24 年（2012 年）の調査では、事業所数、従業員数、年間商品販売額ともに減少しましたが、平成 28 年（2016 年）の調査では、横ばい、もしくは緩やかに増加しています。

表 1-8 事業所数の推移

単位：カ所

	H19 年	H24 年	H28 年
合 計	3,538	2,589	2,712
卸 売 業 計	1,044	840	893
小 売 業 計	2,494	1,749	1,819

各年 6 月 1 日現在
 合併地区を含む。

資料：平成 19 年商業統計調査
 平成 24、28 年経済センサス

表 1-9 従業員数の推移

単位：人

	H19 年	H24 年	H28 年
合 計	26,993	19,348	22,000
卸 売 業 計	10,170	7,512	8,020
小 売 業 計	16,823	11,836	13,980

各年 6 月 1 日現在
 合併地区を含む。

資料：平成 19 年商業統計調査
 平成 24、28 年経済センサス

表 1-10 年間商品販売額の推移

単位：百万円

	H19 年	H24 年	H28 年
合 計	1,295,502	985,769	1,061,823
卸 売 業 計	962,642	760,796	767,176
小 売 業 計	332,860	224,973	294,648

各年 6 月 1 日現在
 合併地区を含む。

資料：平成 19 年商業統計調査
 平成 24、28 年経済センサス

(4) 観 光

表 1-11 に示すとおり、本市への観光利用者数は、近年、やや減少傾向となっています。特に令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大きく落ち込みました。同時に旅行ニーズの需要に国内、アウトドア志向の高まりといった変化をもたらしています。

本市の観光資源は、松本城や旧開智学校などの市街地から上高地や美ヶ原高原などの山岳地域まで、幅広い範囲に様々な種類があります。その中でも高原やスキー場、温泉といった恵まれた自然環境を活用した観光資源が多く、本市の大きな財産となっています。山岳観光都市として発展していくためにも、自然環境に配慮した観光への取組みを旅行需要の変化に対応したうえで進めます。

表 1-11 観光利用者数の推移

単位：人

		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	対前年比 (R2/R1)
総計		5,209,055	5,115,958	5,122,699	5,074,507	4,974,149	2,546,241	51.2%
松本城	旧松本市	927,055	989,258	921,199	887,707	912,449	377,901	41.4%
美ヶ原温泉	旧松本市	571,800	554,400	534,600	525,700	515,700	326,900	63.4%
扉温泉	旧松本市	100,700	101,500	103,900	103,100	94,400	81,700	86.5%
美ヶ原高原	旧松本市	536,800	453,800	525,800	558,600	492,100	295,300	60.0%
浅間温泉	旧松本市	663,700	658,000	644,300	632,000	596,000	350,200	58.8%
美鈴湖	旧松本市	66,400	64,200	76,200	73,500	61,900	46,000	74.3%
福寿草の里	四賀地区	41,300	35,900	53,100	49,900	47,500	13,340	28.1%
奈川温泉	奈川地区	36,300	33,800	31,600	30,000	32,600	21,500	66.0%
奈川高原	奈川地区	97,400	85,400	94,000	91,600	86,200	66,300	76.9%
上高地	安曇地区	1,236,700	1,232,800	1,226,000	1,238,100	1,240,600	427,200	34.4%
乗鞍高原	安曇地区	500,700	470,500	480,800	469,800	452,600	310,700	68.6%
白骨温泉	安曇地区	261,300	244,200	231,000	219,500	241,300	137,300	56.9%
くだものと道祖神の里(梓水苑)	梓川地区	93,800	121,500	127,200	129,700	133,500	58,900	44.1%
竜島温泉 せせらぎの湯	波田地区	75,100	70,700	73,000	65,300	67,300	33,000	49.0%

※旧松本市：平成 17 年 3 月 31 日以前の松本市

資料：松本市の統計

第 2 章

環境の状況



1 地球環境

(1) 資源・エネルギー

ア 都市ガス

表 2-1 に示すとおり、近年、都市ガスの供給戸数は減少傾向にあり、需要量は横ばいの状態です。

表 2-1 都市ガス需要量の推移

年度		H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
供給戸数 (戸)	総数	23,014	22,811	22,663	22,588	22,583	22,303
	家庭用	20,724	20,551	20,378	20,290	20,286	20,063
	商業用	1,856	1,827	1,858	1,864	1,866	1,821
	工業用	65	63	63	63	64	63
	医療・官公用・その他	369	370	364	371	367	356
需要量 (千 m^3)	総数	86,402	84,696	85,461	86,230	85,862	80,876
	家庭用	7,032	6,614	6,813	6,491	6,532	6,724
	商業用	6,365	6,176	6,642	7,204	7,114	5,910
	工業用	65,526	64,435	64,434	64,848	64,677	60,764
	医療・官公用・その他	7,479	7,471	7,572	7,687	7,539	7,478

資料：松本市の統計

イ 再生可能エネルギー

近年の再生可能エネルギー（発電設備）の導入状況は、表 2-2 に示すとおり、太陽光発電が最も多くなっていますが、小水力発電や消化ガス発電の導入も進んでいます。

住宅用太陽光発電システムの導入を促進するため、平成 13 年度(2001 年度)から市の補助が開始されています。令和 2 年度(2020 年度)末までに、累計で 6,553 件に補助金を交付しています。申請件数は平成 24 年度(2012 年度)をピークに減少傾向にあります。図 2-1 に示すとおり、1 キロワット当たりの設置費用平均単価は年々減少し、現在は平成 13 年度(2001 年度)の半分以下となっています。また図 2-2 に示すとおり、設置費用回収期間も半分の 10 年以下になり、導入しやすい環境が整いつつあります。

本市における再生可能エネルギーの期待可採量の割合は、図 2-3 に示すとおり、太陽光発電が約 55 パーセントを占めていますが、地熱やバイオマスなど多様な再生可能エネルギーも多く存在しています。

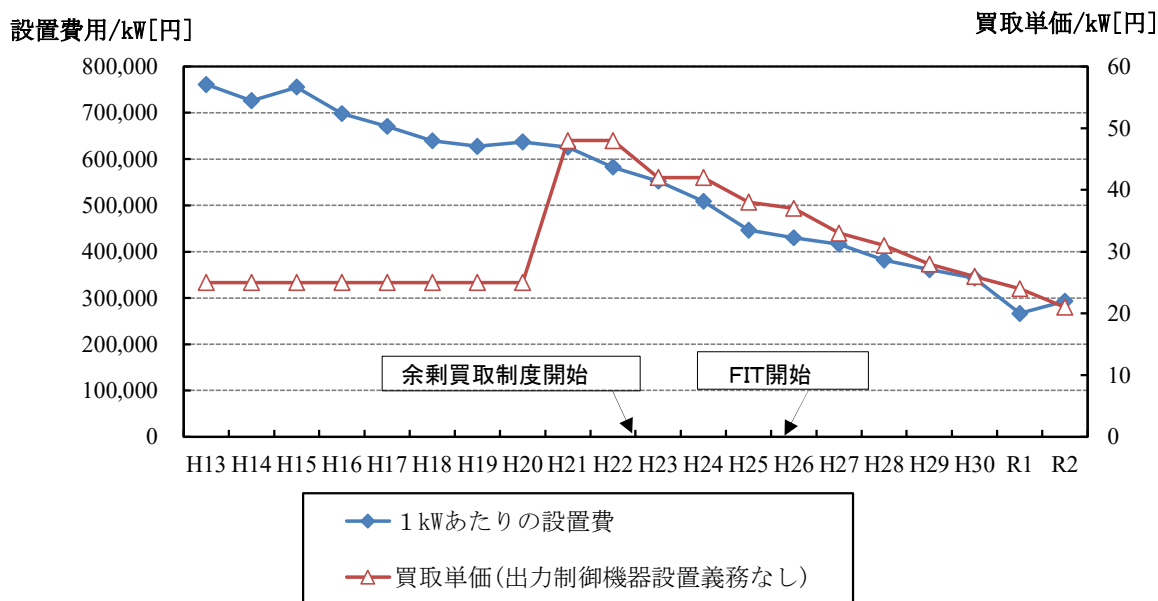
平成 28 年度(2016 年度)に松本市地球温暖化対策実行計画の下位計画として、松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画を策定しました。この中で、再生可能エネルギーの導入目標について、令和 12 年度(2030 年度)に再生可

能エネルギー自給率を 20 パーセント、令和 32 年度(2050 年度)に 69 パーセントとしているほか、再生可能エネルギーを活用して事業を興す事業者数を、令和 2 年度(2020 年度)までに 4 件としており、事業化を支援するため、平成 29 年度(2017 年度)に再生可能エネルギー導入支援事業補助金制度を創設し、同年度の 1 件及び令和元年度の 1 件について、それぞれ 1,000 万円を交付しました。

表 2-2 再生可能エネルギー（発電設備）導入状況

2020年12月末時点(最新値) (FIT法新制度以降の新規認定分及び移行認定分の合計)			導入件数 件	新規認定件数 件	導入容量 kW	新規認定容量 kW
太陽光発電設備	10kW未満		9,289	5,497	41,070	26,042
		うち自家発電設備併設	43	45	169	179
	10kW以上		2,234	2,405	67,297	76,964
		うち50kW未満	2,164	2,334	41,772	48,785
		うち50kW以上500kW未満	56	55	11,403	11,543
		うち500kW以上1,000kW未満	8	9	5,489	6,121
		うち1,000kW以上2,000kW未満	6	7	8,535	10,515
	うち2,000kW以上	0	0	0	0	
風力発電設備	20kW未満		0	0	0	0
	20kW以上		0	0	0	0
		うち洋上風力	0	0	0	0
水力発電設備	200kW未満		10	9	384	383
		うち特定水力	0	0	0	0
	200kW以上		1	2	499	1,199
		うち特定水力	0	0	0	0
	1,000kW以上		1	1	2,400	4,000
		うち特定水力	0	1	0	4,000
5,000kW以上		1	1	6,180	6,180	
	うち特定水力	0	0	0	0	
地熱発電設備	15,000kW未満		0	0	0	0
	15,000kW以上		0	0	0	0
バイオマス 発電設備	メタン発酵ガス		1	1	315	315
	未利用木質	2,000kW未満	0	0	0	0
		2,000kW以上	0	0	0	0
	一般木質・農作物残さ		0	0	0	0
	建設廃材		0	0	0	0
	一般廃棄物・木質以外		0	0	0	0
合計			11,537	7,916	118,146	115,082

資料：固定価格買取制度設備導入状況公表値



資料：環境・地域エネルギー課

図 2-1 1kW 当たりの設置費用単価と売電単価の推移

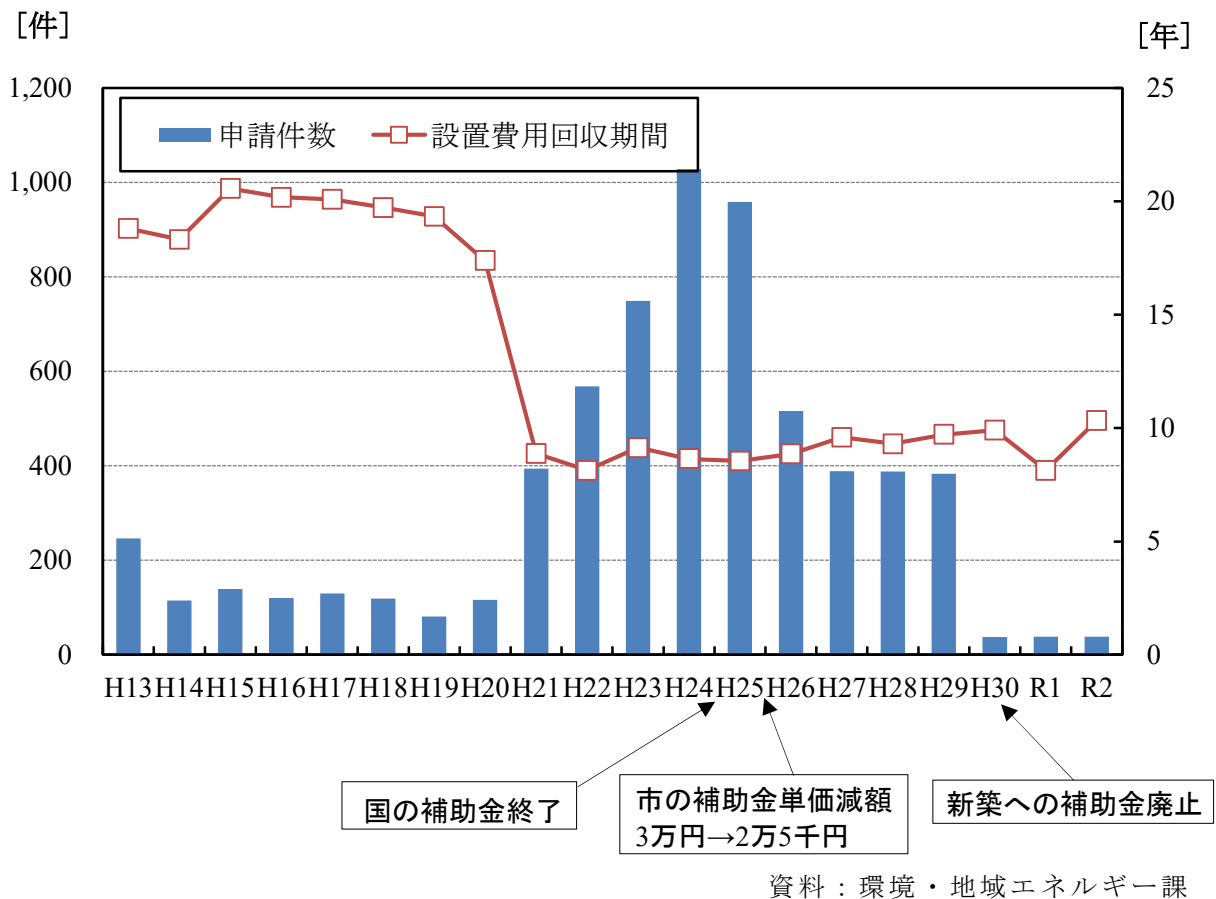
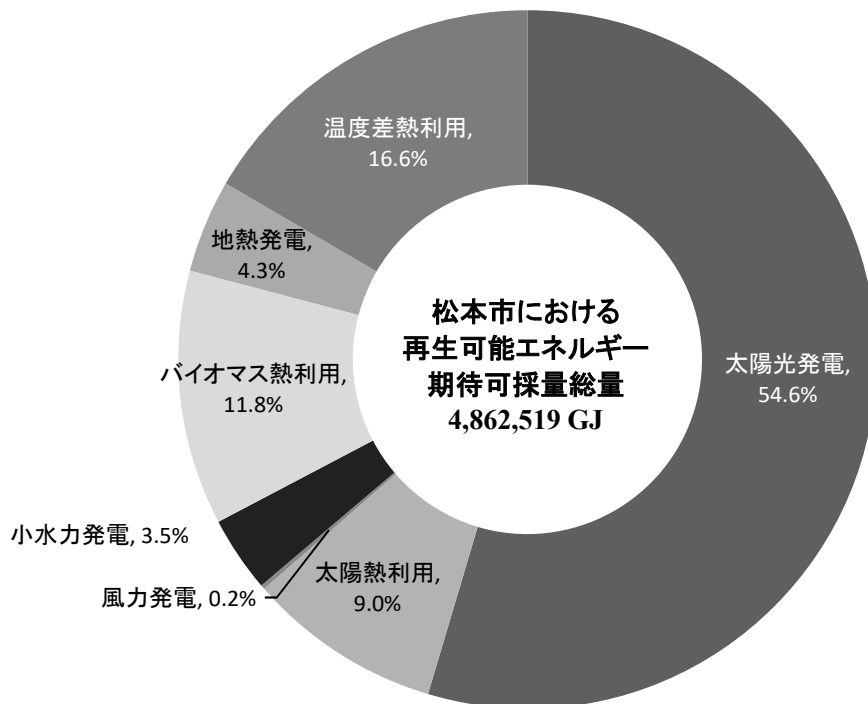


図 2-2 住宅用太陽光発電システム設置補助金の申請件数と設置費用回収期間の推移



資料：松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画

図 2-3 再生可能エネルギーの期待可採量の割合

(2) 交 通

本市には、県内唯一の空の玄関口となる「信州まつもと空港」があり、フジドリームエアラインズ（略称 FDA）がジェット機による毎日運航をしています。令和元年度から、神戸線が新規就航し、現在は、福岡線が 1 日 2 往復、札幌（新千歳）線が 1 日 1 往復、神戸線が 1 日 1 往復就航し、令和元年度（2019 年度）の利用者数は、157,036 人、令和 2 年度（2020 年度）の利用者数は、75,990 人となっています。また、平成 26 年度（2014 年度）から 8 月 1 日から 31 日までの限定で、日本航空（略称 JAL）の大阪（伊丹）線が運航、平成 30 年度（2018 年度）からは、夏季限定で、FDA の札幌（丘珠）線が運航し、令和元年度（2019 年度）は、合わせて 12,026 人、令和 2 年度（2020 年度）は、合わせて 4,027 人が利用しました。いずれも新型コロナウイルスの影響により前年に比べ半数以下となりました。

幹線道路網としては、南北に長野自動車道、国道 19 号が貫いており、インターチェンジとしては、松本インターチェンジ、梓川スマートインターチェンジ（下り線）があります。市中心部より岐阜県高山市に通じる国道 158 号、四賀地区を経て青木村、上田市に通じる国道 143 号、安曇野市、大町市に通じる国道 147 号、松本トンネル・三才山トンネルを経て佐久市に通じる国道 254 号があります。

鉄道網は、松本駅を中心に JR 大糸線、JR 篠ノ井線、アルピコ交通上高地線の 3 路線が通っており、松本駅の他、大糸線で 3 駅、篠ノ井線で 3 駅、上高地線で 13 駅あります。

バス網は、松本バスターミナルを主な拠点に一般生活バス路線や高速バス等が運行されています。一般生活バス路線としては、タウンスニーカー 4 路線や信大・横田循環線等 16 路線が運行されています。この他、南部循環線、西部地域コミュニティバス、市営バス四賀線・奈川線、地域バス等が運行されています。

主な利用状況としては、松本駅の 1 日当たりの乗車人員（JR 東日本公表値）は、令和元年度（2019 年度）が 16,182 人、令和 2 年度（2020 年度）が 11,315 人となっています。アルピコ交通路線バス利用状況は、令和元年度（2019 年度）が 2,528,000 人、令和 2 年度（2020 年度）が 1,635,000 人となっています。鉄道、バスにおいても新型コロナウイルスの影響により利用者数が激減しています。

公共交通の維持・活性化を進めるため、路線バスについては、公民連携による新しい運行制度及び事業スキームの設計を検討する公設民営化事業の取組みを進めています。

また、温室効果ガス等による環境負荷の軽減等を図るため、中心市街地において、自動車優先から歩行者や自転車、公共交通を優先する持続可能な新しい交通体系によるまちづくり（次世代交通政策）に取り組んでいます。自動車の利用を抑制しながら、公共交通ネットワークの充実や道路等の都市空間の再配分、まちなかの回遊性を高める施策により、住む、働く、憩う・楽しむなど様々な都市活動が営まれる集約型都市構造の実現を目指しています。



(3) 温室効果ガス

本市では、平成 23 年度(2011 年度)に「松本市地球温暖化対策実行計画」を策定しましたが、概ね 5 年毎に社会情勢等に応じた計画の見直しを行うこととしていることから、国の計画を踏まえ、「松本市地球温暖化対策実行計画(平成 28 年度改訂版)」を策定しました。また、令和 2 年(2020 年)1 月に世界首長誓約/日本に署名し、令和 2 年(2020 年)12 月には、気候非常事態を宣言するとともに、令和 42 年(2050 年)までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明しました。

本市の気温は、図 2-4 のとおり 2020 年度までの平均気温の推移から 100 年当たり 2.01 度の割合で上昇しています。松本市地球温暖化対策実行計画では、令和 12 年度(2030 年度)までに温室効果ガスを平成 19 年度(2007 年度)比で 30 パーセント削減するとともに、令和 32 年度(2050 年度)までに 80 パーセント以上削減する目標としています。

本市の温室効果ガス排出量の推計値については、基準年以降、平成 21 年度(2009 年度)までは減少傾向にありましたが、その後上昇し、平成 23 年度(2011 年度)でピークとなったあと、再び減少傾向となっています。直近値である平成 29 年度(2017 年度)は 1,706,037 トンとなっており、基準年を下回っています。また、目標値との比較では、全ての年度において目標値を上回っています。

部門別で見ると、運輸部門及び家庭部門は増加し、業務部門及び産業部門は減少しました。引き続き推移を見守る必要があります。

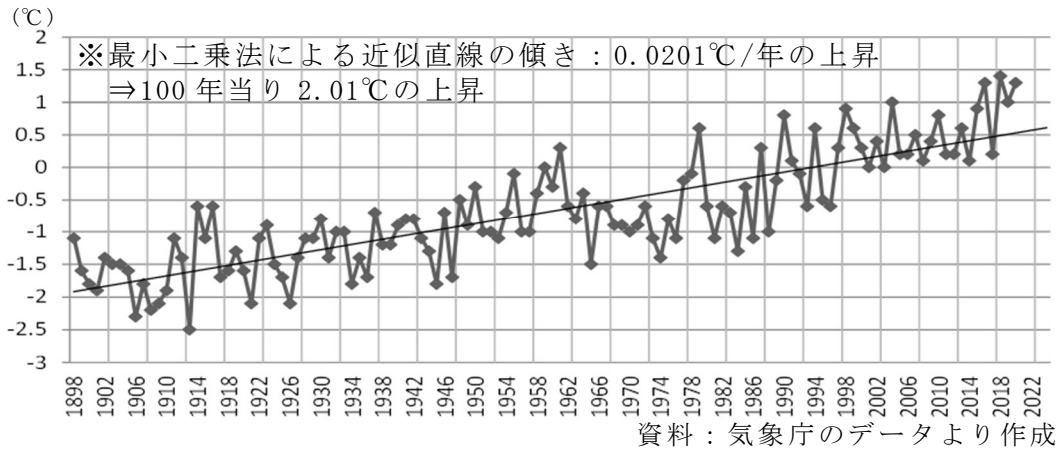


図 2-4 松本市の年平均気温偏差の推移

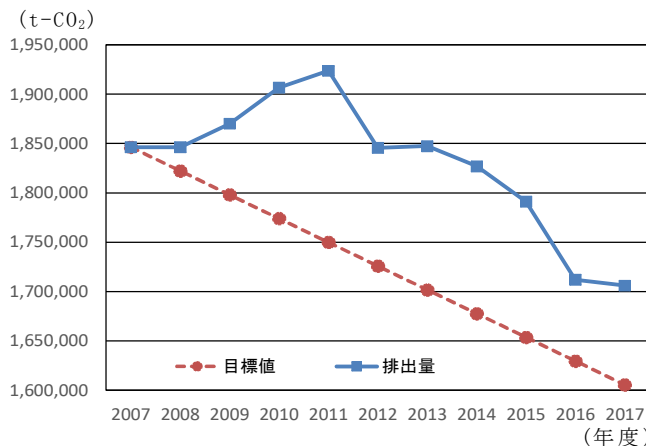


図 2-5 松本市の温室効果ガス排出量の推移

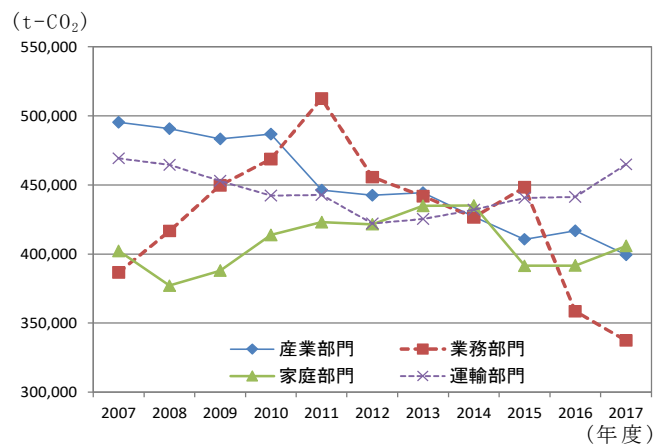


図 2-6 部門別温室効果ガス排出量の推移
(「廃棄物の焼却」及び「その他ガス」を除く)

2 循環型社会

(1) 廃棄物

ごみの収集は、ごみの減量化と資源化を推進するため、5分別（可燃、埋立、資源物、粗大、破砕）25区分（可燃、埋立、破砕、粗大、容器包装プラスチック、アルミ、スチール、その他金属、新聞、その他紙類（雑誌・本・チラシ等）、段ボール、紙パック、古布、ビール瓶、ジュース瓶、一升瓶、白瓶、茶瓶、その他瓶、ペットボトル、蛍光灯・体温計、乾電池、廃食用油、小型家電、スプレー缶・ライター）としています。

図 2-7 に示すとおり、令和 2 年度の総ごみ量は前年比で 2.5 パーセント減少しました。総ごみ量の減少は、主に事業系可燃ごみの減少によるもので、新型コロナウイルスの影響により経済活動が低調だったことに起因していると考えられます。対照的に、家庭系可燃ごみは 2 年連続で増加となりましたが、家庭で過ごす時間が長くなったことによるものと考えられます。

また、図 2-8 に示すとおり、灰の資源化を含むリサイクル率は、平成 24 年度は 18.4 パーセントでしたが、近年は減少傾向にあります。灰の資源化を除くリサイクル率も同様の傾向です。これは、事業者が紙類等の回収ボックスを独自に設置したことや、インターネットの普及により新聞・雑誌類の発行部数が減少して資源物回収量が減ったためと推測されます。市全体で見ると、民間業者も含めた資源物回収量は一定の水準となっているため、本市としても引き続き市民が資源物を出しやすい環境の整備を図ります。

今後は、平成 29 年度（2017 年度）末に策定した松本市一般廃棄物処理計画（平成 30 年度（2018 年度）～令和 9 年度（2027 年度）版）に基づき、ごみの減量及び適正処理等に取り組みます。

[万吨]

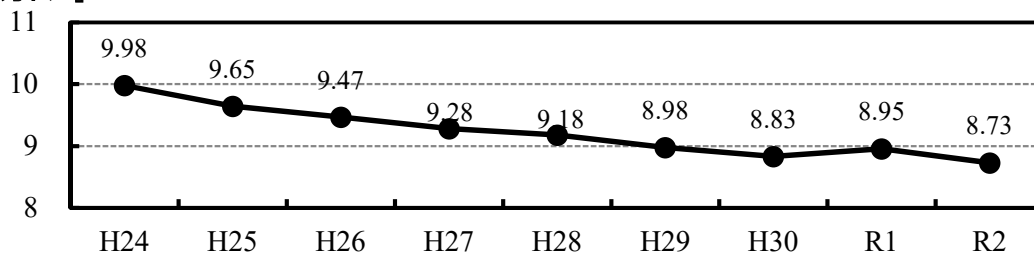


図 2-7 一般廃棄物処理量の推移

資料：環境業務課

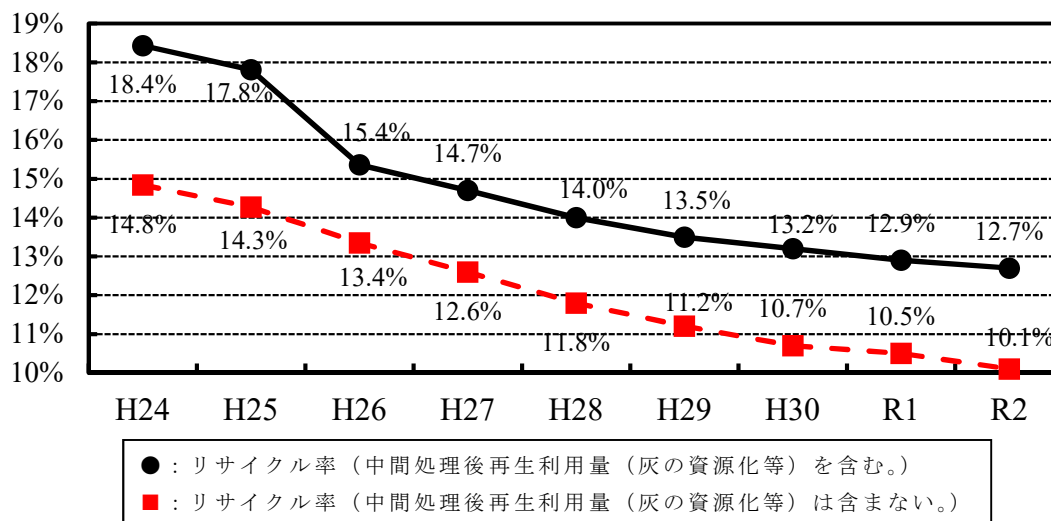


図 2-8 リサイクル率の推移

資料：環境業務課

3 生活環境

(1) 公害

図 2-9 に示した公害苦情件数の過去 5 年間の平均は 53 件です。大気汚染に関する苦情が最も多く、主な原因は野焼きです。続いて騒音、悪臭となっています。

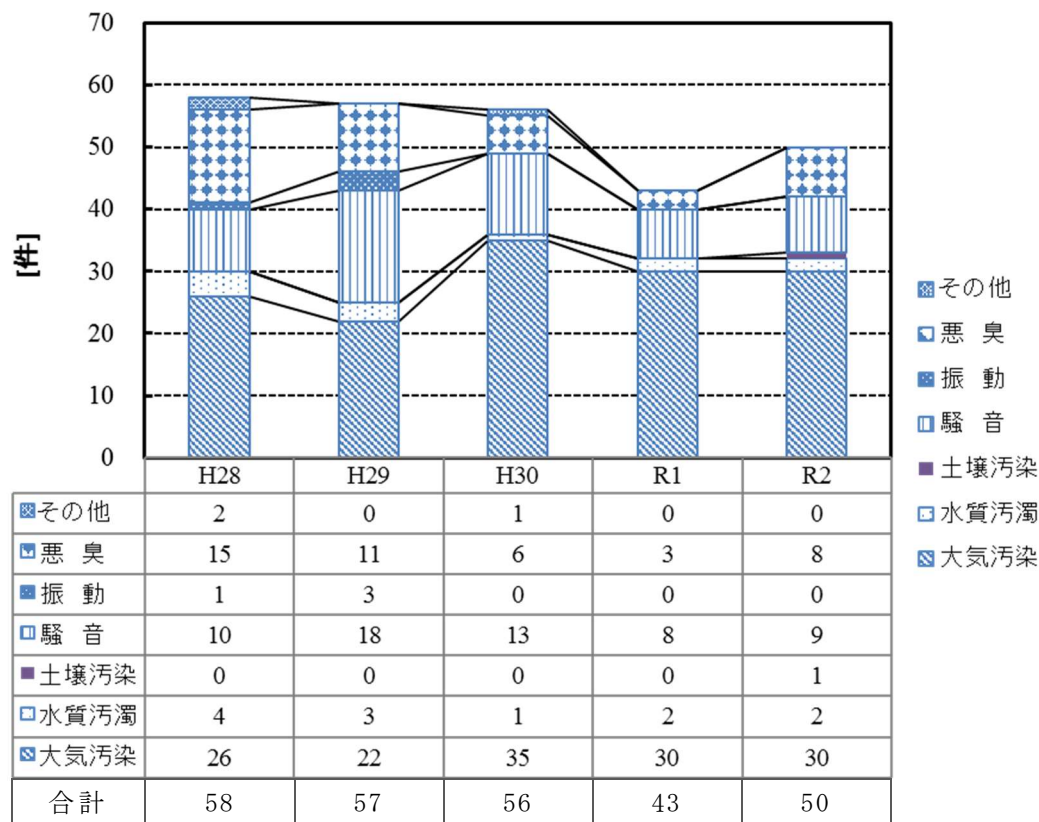


図 2-9 公害苦情件数の推移

資料：環境保全課

ア 大気汚染

表 2-3 に示すとおり、県が実施している大気環境測定車による測定結果は、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダントそれぞれ環境基準を達成しています。

平成 23 年(2011 年)3 月の福島第一原子力発電所の事故を受け、市内全 28 小学校校庭の土壌及び地下水 5 カ所の放射性物質（放射性ヨウ素（I-131）及び放射性セシウム（Cs-134・137））調査を行っていましたが、平成 26 年度以降不検出であったことから令和 2 年度で終了しました。

空間放射線量の測定については、国の観測網が整備されたことから、平成 28 年度で終了しました。

表 2-3 大気環境測定車による測定結果

測定項目	単位	区分	今井地点測定結果	
			測定値	環境基準達成状況
二酸化硫黄	ppm	1時間値の日平均値の最高値	0.000	○
		1時間値の最高値	0.002	
一酸化炭素	ppm	1時間値の日平均値の最高値	0.2	○
		1時間値の最高値	0.4	
浮遊粒子状物質	mg/m ³	1時間値の日平均値の最高値	0.022	○
		1時間値の最高値	0.043	
二酸化窒素	ppm	1時間値の日平均値の最高値	0.005	○
		1時間値の最高値	0.018	
一酸化窒素	ppm	1時間値の平均値	0.000	—
		1時間値の最高値	0.008	
光化学オキシダント	ppm	1時間値の平均値	0.049	×
		1時間値の最高値	0.079	

環境基準達成状況 ○:達成 ×:未達成 —:環境基準なし

資料：長野県

イ 水質汚濁

市内の類型指定されている河川・湖沼で行っている水質調査のうち、生活環境の保全に関する項目の測定結果は図 2-10、図 2-11 のとおりです。

河川では、水質汚濁の代表的な指標である BOD（生物化学的酸素要求量）が、奈良井川（島橋）で環境基準を超過しました。湖沼（美鈴湖）においては、COD（化学的酸素要求量）が環境基準を超過する傾向にあります。

また、類型指定されていない中小河川での水質調査では、大きな変化はありません。

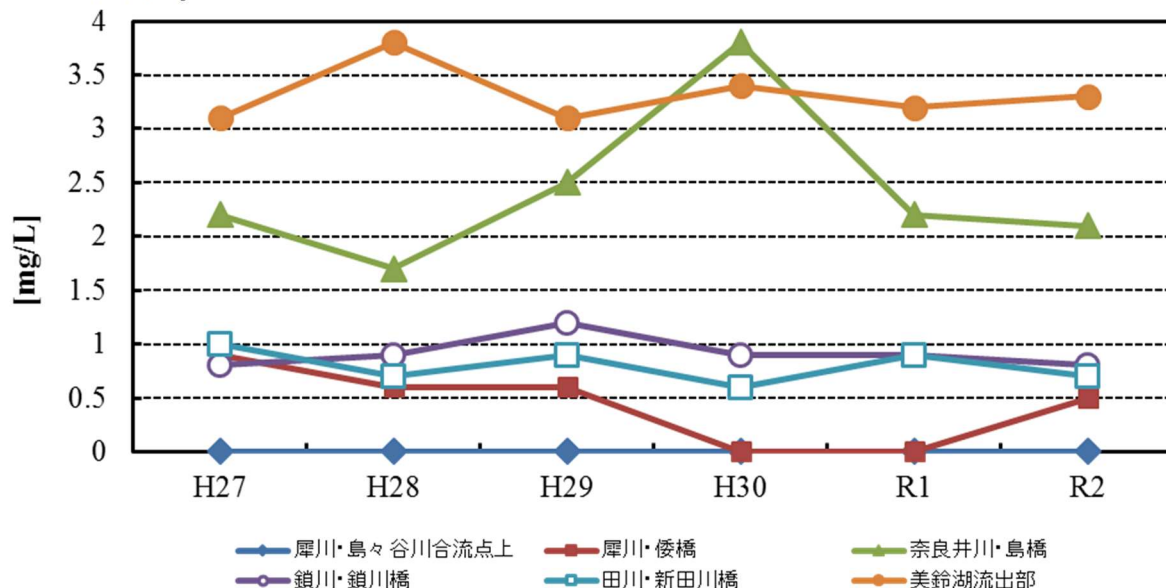


図 2-10 環境基準点の BOD 及び COD の推移

環境基準：犀川・島々谷川合流点上の BOD：1mg/L 以下
 その他の河川の BOD：2mg/L 以下
 湖沼の COD：3mg/L 以下

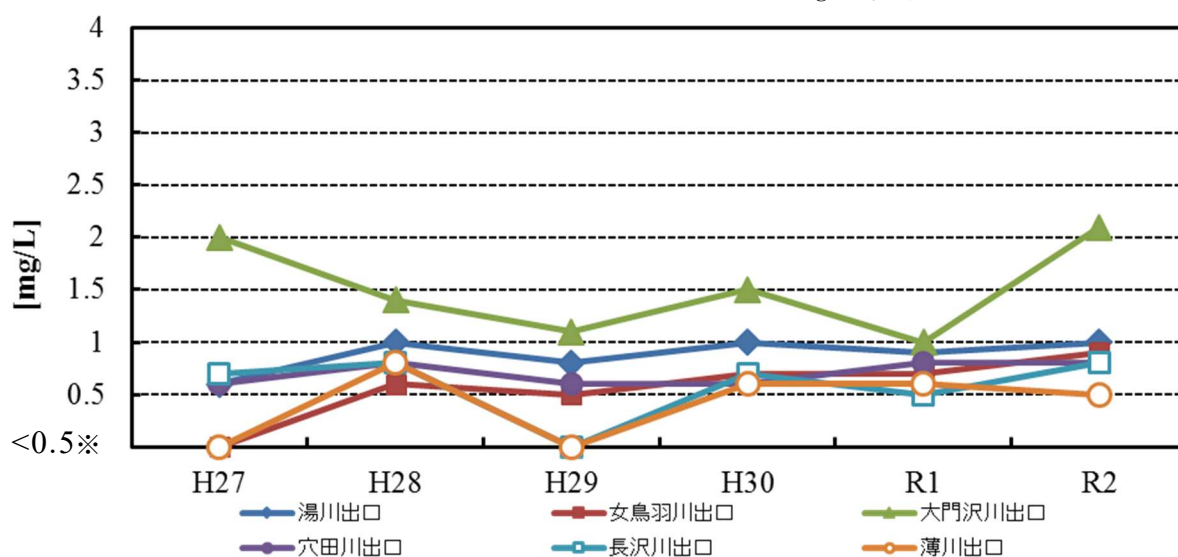


図 2-11 中小河川下流部 BOD の推移

環境基準：中小河川の BOD は、環境基準なし

※報告下限値未満の数値のため、「<0.5 (0.5 未満)」と標記しています。

ウ 騒音・振動

道路環境騒音、長野自動車道沿線騒音、道路環境振動及び一般環境騒音については、全ての調査地点において昼間、夜間ともに環境基準を達成しています。

表 2 - 5 道路環境騒音、道路環境振動

調査地点	時間区分	自動車騒音レベル			自動車振動レベル			一日車両合計 (台/日) 大型車混入率 (%)
		環境基準値 (dB)	測定値 Leq (dB)	判定	要請 限度値 (dB)	測定値 L10 (dB)	判定	
1 国道19号 芳野8-10 (準工業地域)	昼間	70	66	○	70	31	○	19,800
	夜間	65	65	○	65	30	○	7.2
2 国道143号 中央3丁目1-1 (商業地域)	昼間	70	64	○	70	37	○	16,032
	夜間	65	58	○	65	31	○	7.9
3 国道158号 島立304-7 (第二種住居地域)	昼間	70	69	○	65	34	○	21,591
	夜間	65	65	○	60	30	○	6.3
4 県道289号 寺村南松本停車場線 平田東1丁目3-4 (第二種住居地域)	昼間	70	65	○	65	37	○	16,564
	夜間	65	59	○	60	<31	○	2.5
5 県道295号 平田新橋線 出川2丁目11-7 (準工業地域)	昼間	70	63	○	70	38	○	3,528
	夜間	65	49	○	65	<26	○	5.7
6 県道320号 倭北松本停車場線 島立1141-3 (第二種住居地域)	昼間	70	67	○	65	32	○	12,992
	夜間	65	60	○	60	<28	○	3.3

資料：環境保全課

エ 悪臭

様々な悪臭苦情に対応するため、本市では平成15年(2003年)9月から悪臭防止法に基づく規制方式を「物質濃度規制」から、人の嗅覚を用いてにおいの程度を評価する「臭気指数規制」に変更しました。

オ 土壌汚染・地盤沈下

「土壌汚染対策法」は、有害物質使用特定事業場における有害物質使用特定施設の廃止時に、土壌汚染対策を義務付ける等、人への健康被害防止を目的に制定された法律です。

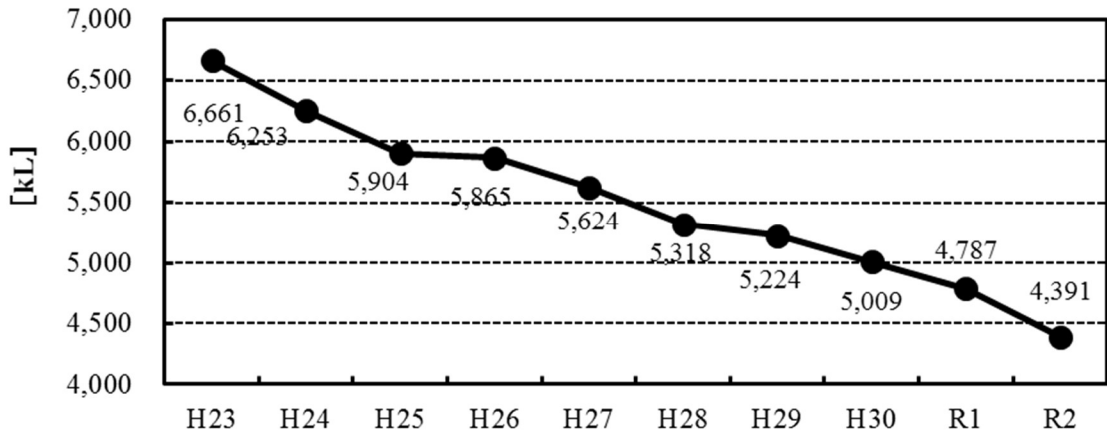
- ・要措置区域または形質変更時要届出区域の指定……2件
- ・土壌汚染状況調査結果の報告……3件
- ・土壌汚染状況調査の猶予に係る手続き……3件
- ・一定の規模以上の土地の形質変更に係る手続き……22件
- ・土壌汚染関連情報の照会に対する回答……56件

現在、地盤沈下については認められていません。

(2) 廃棄物の適正処理

ア し尿処理

令和2年度(2020年度)のし尿処理量は4,391キロリットルとなりました。図2-12に示すとおり、下水道等の普及により、し尿処理施設での処理量は減少し続けています。



資料：環境保全課

図 2-12 し尿処理量の推移

イ 不法投棄

図2-13に示すとおり、不法投棄量は減少傾向にあり、前年度比12.5パーセント増の9トンが回収・処理されています。

本市では、不法投棄防止啓発用立て看板や不法投棄防止用フェンスを設置するとともに、不法投棄パトロール、環境美化巡視員、環境指導員による巡回清掃指導等を実施しています。また、駅前等においてポケットティッシュを配布し、ポイ捨てや不法投棄に対する啓発活動を実施するなど、不法投棄の削減に努めています。

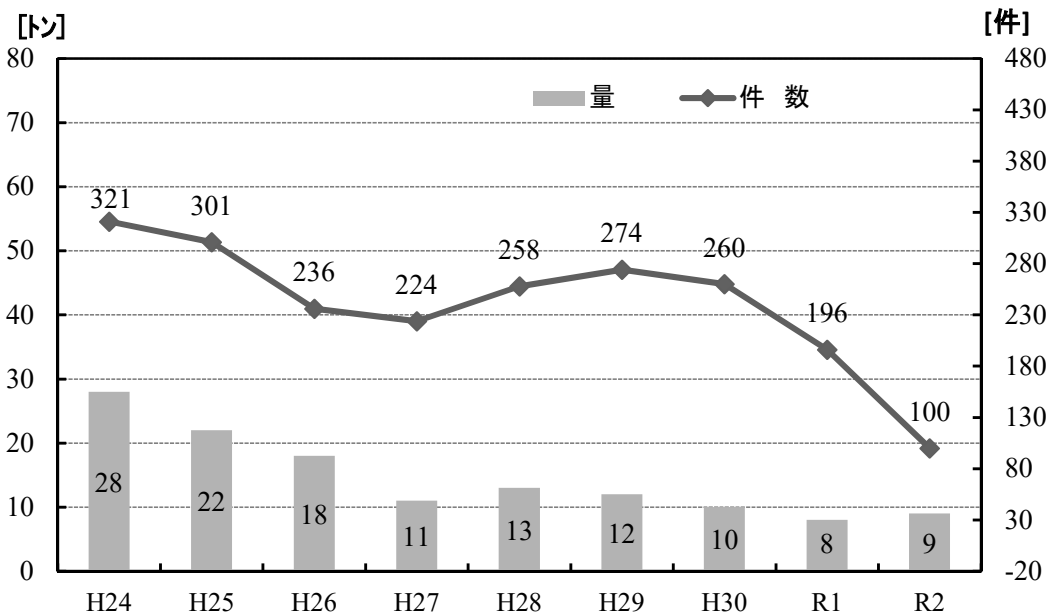


図 2-13 不法投棄の件数と投棄量の推移

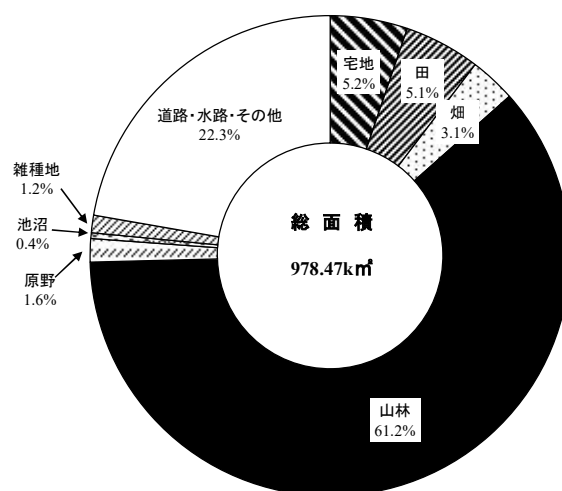
資料：環境業務課

(3) 土地利用

ア 土地利用の状況

本市の地目別土地利用状況は、令和2年(2021年)1月1日現在で図2-14のとおりです。

山林が61.2パーセントを占め、宅地、田、畑がほぼ同じ割合となっています。



(注)保安林はその他に含む。

資料：松本市の統計

図 2-14 地目別土地面積

イ 都市計画区域

表2-6に示すとおり、都市計画区域は、市域の約31パーセントが指定されており、居住人口は約97パーセントを占めています。

表2-7に示すとおり、都市計画区域内の市街化区域は約13パーセント、市街化調整区域は約87パーセントとなっています。

表 2-6 都市計画区域

名称	都市計画区域		行政区域	
	面積(ha)	人口(人)	面積(ha)	人口(人)
松本都市計画	30,191	236,047	97,847	243,293

令和3年4月1日現在

人口は平成27年国勢調査

資料：松本市の都市計画（資料編）

表 2-7 市街化区域及び市街化調整区域（松本都市計画区域）

都市計画区域 (ha)	市街化区域		市街化調整区域 (ha)
	面積(ha)	人口(人)	
30,191	4,008	172,952	26,183

令和3年4月1日現在

人口は平成27年国勢調査

資料：松本市の都市計画（資料編）

(4) 上下水道

表 2-8 に示すとおり、水道普及率は飲料水供給施設等と合せて 99.7 パーセントであり、合併地区を含めほぼ市内全域に上水道が普及しています。

今後は、人口の減少が予想されており、普及率の動きは非常に小さいと考えられます。普及促進からライフラインの基盤強化に転換していくことが求められます。

表 2-9 に示すとおり、下水道等普及率(汚水人口普及率)は令和元年度末に 99.7 パーセントと平成 24 年度(2012 年度)以降はほぼ横ばいです。これは、下水道計画区域内の整備がほぼ完了しているためです。

今後は、公共下水道未接続の解消や浄化槽設置促進に向けて、情報提供を通じ啓発を行い、水洗化率及び普及率の向上に努めます。

市内には、松本地区の宮渕・両島浄化センターのほか、波田浄化センター(波田地区)、四賀浄化センター(四賀地区)、上高地浄化センター(安曇地区)の 5 つの終末処理施設があり、汚水処理を行っています。また、梓川地区においては、安曇野市にある犀川安曇野流域下水道安曇野終末処理場で汚水処理を行っています。

表 2-8 水道普及率

行政区域内総人口	上 水 道			飲 料 水 供 給 施 設			簡 易 給 水 施 設			合 計			普及率
	箇所数	計 画 給水人口	現 在 給水人口	箇所数	計 画 給水人口	現 在 給水人口	箇所数	計 画 給水人口	現 在 給水人口	箇所数	計 画 給水人口	現 在 給水人口	
① 人	② カ所	③ 人	④ 人	⑤ カ所	⑥ 人	⑦ 人	⑧ カ所	⑨ 人	⑩ 人	②+⑤+⑧ カ所	③+⑥+⑨ 人	④+⑦+⑩ = ⑪ 人	⑪/① ×100%
237,484	4	241,750	236,446	5	354	235	1	26	21	10	242,130	236,702	99.7%

令和 3 年 3 月 31 日現在

上水道事業単独では普及率 99.6%である。

資料：上水道課・食品・生活衛生課

表 2-9 下水道等普及率の推移

【単位：%】

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
下水道	95.7	96.3	96.4	96.4	96.5	96.6	96.6	96.8	96.9	97.1
農業集落排水施設	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3
浄化槽	2.8	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.4	2.5	2.5
計	99.0	99.6	99.7	99.8	99.7	99.7	99.8	99.6	99.7	99.9

各年度末の状況

四捨五入をしているため、合計が合わないことがある。

資料：下水道課・耕地課・環境保全課

4 自然環境

(1) 気象

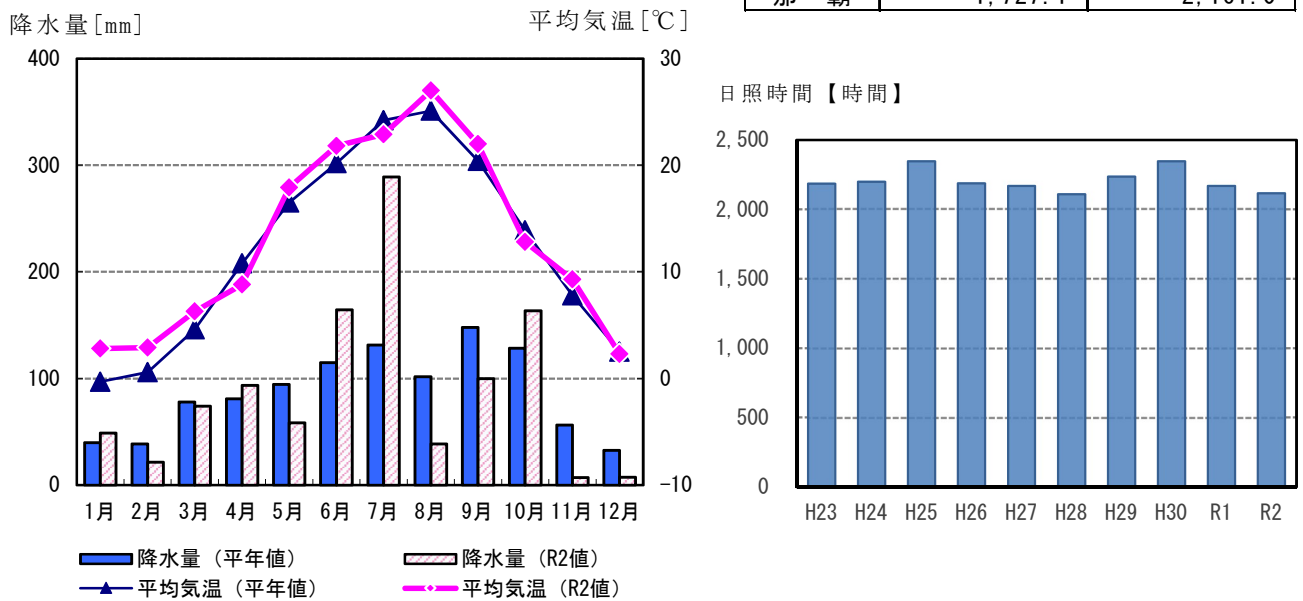
本市は内陸性気候であり、気温は日較差や年較差が大きいことが特徴です。また、表 2-10 や図 2-15 に示すとおり、降水量が少なく日照時間が長いことが特徴です。奈川や上高地は山岳地域になり、松本に比べると気温が低く、降水量が多くなっています。

令和 2 年(2020 年)は、7 月において、梅雨前線の影響で降水量が多くなっています。

※平年値の統計期間は、平成 3 年(1991 年)から令和 2 年(2020 年)です。

表 2-10 日照時間、降水量の比較（平年値）

観測所	日照時間(時間)	降水量(mm)
松本	2,134.7	1,045.1
奈川	1,759.5	1,946.8
長野	1,969.9	965.1
諏訪	2,164.8	1,301.5
飯田	2,074.5	1,688.1
札幌	1,718.0	1,146.1
東京	1,926.7	1,598.2
名古屋	2,141.0	1,578.9
大阪	2,048.6	1,338.3
福岡	1,889.4	1,686.9
那覇	1,727.1	2,161.0

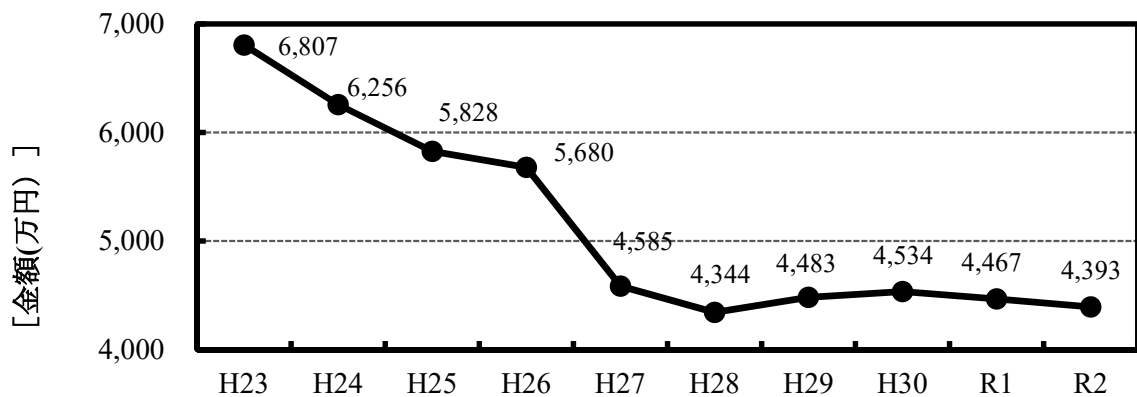


資料：気象庁

図 2-15 松本測候所における平均気温・降水量（左）及び日照時間（右）

(2) 野生鳥獣害

野生鳥獣による農作物への被害状況は図 2-16 のとおりです。動植物の生息、生育状況を把握することにより、適切な保全対策が必要です。



資料：農政課

図 2-16 野生鳥獣による農作物への被害額の推移

(3) 自然公園

表 2-11 に自然公園の面積を示します。自然公園法に基づき、国立公園・国定公園が指定され、自然環境の保護と快適な利用の推進が図られています。

表 2-11 自然公園地種区分別面積

[単位：ha]

公園名	特別地域					普通地域	合計
	特別保護地区	第1種特別地域	第2種特別地域	第3種特別地域	小計		
中部山岳国立公園	11,802	1,000	6,360	936	20,098	4,147	24,245.0
八ヶ岳中信高原国定公園		463.20	1,158.22	3,830.77	5,452.2		5,452.2
計	11,802	1,463	7,518	4,767	25,550	4,147	29,697.2

令和 3 年 4 月 1 日現在

※ 公園面積のうち本市内分の面積

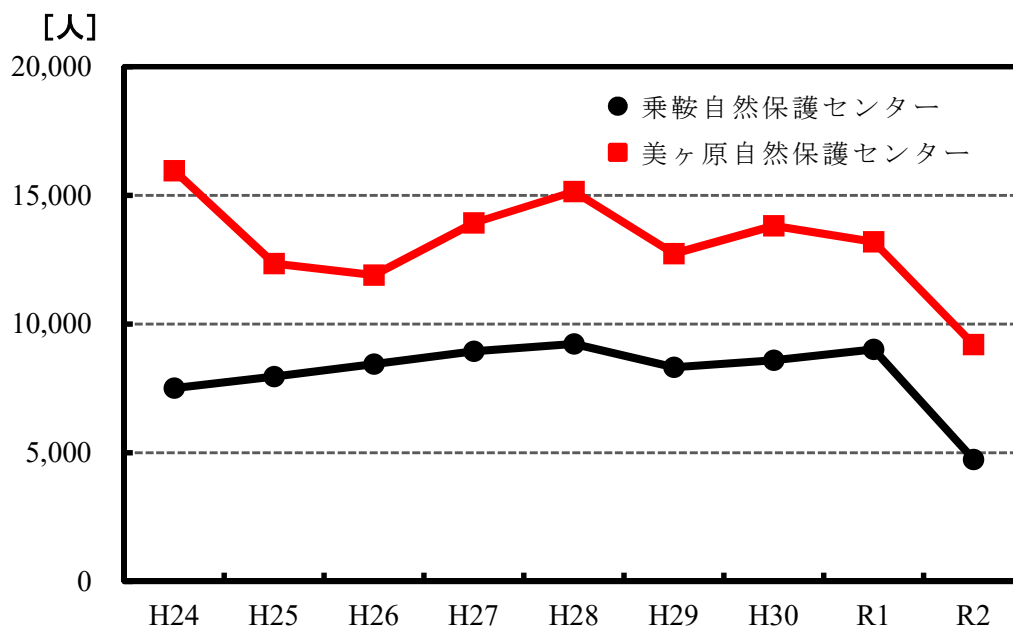
資料：中部山岳国立公園公園計画書（平成 18 年 1 月 19 日環境省）

八ヶ岳中信高原国定公園公園区域及び公園計画（昭和 39 年 6 月厚生省）

(4) 自然とのふれあい

松本市には、上高地や乗鞍高原、美ヶ原高原など身近に多くの自然があります。各地域周辺の自然や歴史を学習したり、利用者に国立・国定公園を適切に利用していただくための指導や情報提供をしたりする施設として自然保護センターなどがあります。

今後も施設の所有者である長野県の協力を得ながら、自然体験や学びをとおして、地域の魅力を伝えるとともに、その価値や大切さが理解され、自然保護につながっていく役割を果たす施設として、維持管理及び展示内容の充実を図っていきます。



資料：観光プロモーション課、アルプスリゾート整備本部

図 2-17 美ヶ原自然保護センター及び乗鞍自然保護センターの入館者数

5 快適環境

(1) 文化財

表 2-12 に示すとおり、文化財の指定等件数は、国指定等が 83 件、県指定等が 37 件、市指定が 225 件の計 345 件となっています。

表 2-12 指定等文化財件数一覧

指定別	区分	件数	種別内訳
国指定	国宝	2	建造物 2
	重要文化財	16	建造物 9 彫刻 5 工芸品 1 典籍 1
	重要有形民俗文化財	3	年中行事 1 信仰 1 生産生業 1
	史跡	3	史跡 3
	名勝	1	特別名勝 1
	天然記念物	2	特別天然記念物 2
	重要美術品	2	工芸品 1 書跡 1
国登録	登録有形文化財(建造物)	52	住宅 19 治山治水 1 学校 5 生活関連 6 産業 1 次 3 産業 2 次 1 産業 3 次 6 宗教 10 その他 1
国選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	2	風俗慣習 2
国 小計		83	
県指定	県宝	20	建造物 5 絵画 1 彫刻 9 考古資料 3 歴史資料 1 工芸品 1
	無形民俗文化財	1	無形民俗文化財 1
	史跡	4	史跡 4
	名勝	2	名勝 2
	天然記念物	9	天然記念物 9
県選択	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	1	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財 1
県 小計		37	
市指定	重要文化財	126	建造物 26 絵画 6 彫刻 34 工芸品 12 書跡 3 典籍 1 古文書 2 考古資料 11 歴史資料 31
	重要有形民俗文化財	5	有形民俗文化財 5
	重要無形民俗文化財	25	無形民俗文化財 25
	特別史跡	19	特別史跡 19
	特別名勝	10	特別名勝 10
	特別天然記念物	39	特別天然記念物 39
市登録	登録文化財	1	建造物 1
市 小計		225	
合計(国+県+市)		345	

令和 3 年 8 月 1 日現在（複数の種別で指定されている文化財は、それぞれの種別で 1 件ずつ数える。）

資料：文化財課

(2) 公園等

表 2-13 に示すとおり、令和 3 年(2021 年)4 月 1 日現在、49 カ所 289.69 ヘクタールの都市公園が開設されています。また、都市計画決定していない条例公園が 113 カ所、56.26 ヘクタールあります。

表 2-13 都市計画公園の概要

種 類	区 分	計 画		開 設 済		備 考
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)	
住 区 基 幹 公 園	街区公園	27	6.57	27	6.57	(61カ所 10.49ha)
	近隣公園	7	12.5	7	12.5	(4カ所 4.27ha)
	地区公園	3	16.1	3	16.1	(1カ所 18.80ha)
	小 計	37	35.17	37	35.17	(66カ所 33.56ha)
都 市 基 幹 公 園	総合公園	2	84.5	2	81.61	
	運動公園					
	小 計	2	84.5	2	81.61	
大 規 模	広域公園	1	100.9	1	100.9	全体 内訳 松本 149.9ha 100.9ha (0.40ha) 塩尻 49.0ha
	緩衝緑地					
	都市緑地	8	25.81	8	25.01	(46カ所 15.50ha)
特 殊	墓 園	1	47.0	1	47.0	(1カ所 6.8ha)
	合 計	49	293.38	49	289.69	(113カ所 56.26ha)

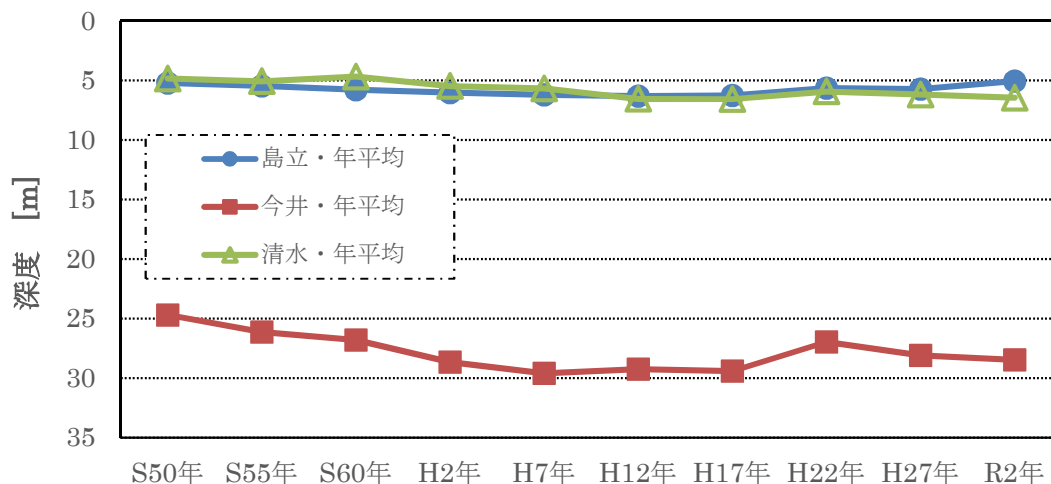
令和 3 年 4 月 1 日現在

資料：松本市の都市計画（資料編）

() は都市計画決定していない条例公園

(3) 地下水

市街地に井戸が数多くあり、盆地特有の豊富な地下水に恵まれています。水田面積の減少によるかん養量の変化に伴い、地下水位の低下が懸念されています。



資料：環境保全課

図 2-18 地下水水位の経年変化

6 環境教育

(1) エコスクール

市民の環境保全意識の醸成を図るため、自然観察会、環境学習講座など、様々な環境学習に関する機会の提供を行っています。また、市ホームページ内に環境教育情報サイトを作成し、行政だけではなく環境教育に関連する機関の情報を発信しています。

表 2-14 令和 2 年度エコスクール（環境・地域エネルギー課主催）実施状況

No.	名称	実施日	実施場所	参加人数	募集対象	環境基本計画の5つの柱の該当分野	講師	内容等
1	ニツ山・鉢伏山でシカの角を探そう！ （第1回：事前学習会）	4/19(日)	なんなんひろば 大会議室、調理実習室	中止 （コロナウイルス対策のため）	小3～中学生親子	循環型社会 自然環境	石塚聡美（山と自然の案内人事務所）、鈴木善一郎	野生生物の生態系バランスについて、体を使ったゲームをおこなって学び、ジビエを食べる事前学習と、鉢伏山とニツ山の間でシカの角を探しながら、フィールドトレッキングをする現地学習会の2日間の講座
2	ニツ山・鉢伏山でシカの角を探そう！ （第2回：現地学習会）	5/9(土)	鉢伏山～ニツ山周辺 （美ヶ原高原ロングトレイル内）	中止 （コロナウイルス対策のため）	小中学生親子	循環型社会 自然環境	石塚聡美（山と自然の案内人事務所）	
3	アルプスへ『ライチョウ』に会いに行こう！ （第1回：事前学習会）	6/27(土)	なんなんひろば 大会議室	中止 （コロナウイルス対策のため）	小中学生親子	循環型社会 自然環境	松陽省吾（認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまのみ）	長野県のシンボル『ライチョウ』を通じて地球温暖化や植生への影響について学び、実際に現地見学（乗鞍岳）を行う2日間の講座
4	アルプスへ『ライチョウ』に会いに行こう！ （第2回：現地学習会）	7/4(土)	乗鞍岳周辺	中止 （コロナウイルス対策のため）	小中学生親子	循環型社会 自然環境	松陽省吾（認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまのみ）	
5	夏休みエコスクール 「森の自然たいけん」	7/26(日)	長野県林業総合センター （塩尻市片丘）	中止 （コロナウイルス対策のため）	小中学生親子	循環型社会 自然環境	NPO法人わおん寿さと山くらぶ 長野県林業総合センター	林業センターで自然観察、木工教室、バウムクーヘン作りを通して、森林及び木の良さや特徴について学習する講座
6	夏休みエコスクール 「ペットボトルから繊維を作ろう！」	8/2(日)	御環境技術センター （松本市笠賀）	10	小中学生親子	循環型社会 生活環境	御環境技術センター	ペットボトルから繊維を作る実験を行い、ペットボトルのリサイクルの仕組みを学ぶ講座
7	ワシ・タカウォッチング	9/19(土)	奈川地区白樺峠	15	一般 （小中学校は保護者同伴）	地球環境 自然環境	上條 恒嗣（信州野鳥の会）	渡りの季節に見られるワシ・タカの姿を観察することを通じて松本市の自然環境について理解を深める講座
8	星空観察会	9/24(木)	梓川ふるさと公園	中止 （天候不良）	一般 （小中学校は保護者同伴）	生活環境 快速環境	百瀬淳一（スターウォッチングクラブ北斗）	上弦の月や惑星を中心とした星空観察を行いながら、光害（ひかりがい）について学習する講座
9	牛伏川砂防えん堤めぐり （現地学習会）	10/11(日)	牛伏川砂防えん堤から 鉢伏山麓	14	一般 （小中学校は保護者同伴）	快速環境	寿さと山くらぶ	牛伏川砂防えん堤事業および秋の植生・キノコについて、牛伏川を上流の鉢伏山麓まで砂防えん堤の見学と秋の自然を感じる講座
10	ロケットストーブを作ってみよう！	11/7(土)	中山公民館駐車場	18	小5以上 （小中学校は保護者同伴）	地球環境	エコネットまつもと	再生可能エネルギーについて学習した後、ロケットストーブを実際に作りながら、自然エネルギーについて学習する講座
11	化石を通して地球を学ぼう！	11/14(土)	四賀化石館、四賀地区 周辺寺	20	小4以上 （小中学校は保護者同伴）	快速環境	化石館	化石発掘体験等を通じて、地域の歴史文化の保全、地球環境の過去や未来について学習する講座
12	冬の自然観察会「小さな春を見つけよう！」	2/23(火)	アルプス公園	16	年中以上 （小中学校は保護者同伴）	地球環境 自然環境	自然観察の会 ひこばえ	冬のアルプス公園の散策を行いながら、動植物の観察を通じて身近な自然環境への理解を深める講座
13	夏休みエコスクール 「ペットボトルから繊維を作ろう！」	3/19(金)	御環境技術センター （松本市笠賀）	7	小中学生親子	循環型社会 生活環境	御環境技術センター	ペットボトルから繊維を作る実験を行い、ペットボトルのリサイクルの仕組みを学ぶ講座

表 2-15 令和 2 年度エコスクール（環境保全課主催）実施状況

No.	名称	実施日	実施場所	参加人数	募集対象	環境基本計画の5つの柱の該当分野	講師	内容等
1	生物多様性エコスクール 「塩沢川ホテル観察会」	7/1(木)	内田公民館 塩沢川	22	一般 （小中学校は保護者同伴）	地球環境 自然環境	藤山静雄（信州大学理学部名誉教授 / 松本ホテル学会）	ホテルの一生や生活のようす、地域における保全活動等についての講義の後、塩沢川でホテルを観察する講座
3	生物多様性エコスクール 「川の生きものを観察しよう！」	7/25(土)	鳥内地区草屋堤	中止 （天候不良）	小中学生親子	自然環境	御環境技術センター	鳥内地区草屋堤で水生生物の観察会を行い、自然環境の保全に関する理解を深めることを目的とする講座
4	生物多様性エコスクール 「ゴマシジミ観察会」	8/8(土)	奈川文化センター夢の森、古宿地区	8	小中学生親子	自然環境	松本むしの会	絶滅危惧種に指定されている国内でも貴重な奈川地区のゴマシジミに関する観察会を行い、動植物の保全に関する理解を深める講座
5	生物多様性エコスクール 「上高地自然観察会」 （第1回：事前学習会）	8/12(水)	なんなんひろば大会議室	中止 （天候不良）	小中学生親子	快速環境 自然環境	石塚聡美（山と自然の案内人事務所）	上高地の自然をより深く理解するための事前学習会と、上高地バスターミナルから明神池周辺まで歩きながら、上高地の自然を体感する現地学習会の2日間の講座
6	生物多様性エコスクール 「上高地自然観察会」 （第2回：現地学習会）	8/20(木)	上高地河童橋～明神池	中止 （天候不良）	小中学生親子	快速環境 自然環境	石塚聡美（山と自然の案内人事務所）	
7	生物多様性エコスクール 「トンボ観察会」	8/29(土)	アルプス公園	15	小中学生以上親子	地球環境 自然環境	福本匡志（松本むしの会、信州昆虫会員）	アルプス公園のトンボの生態や植物観察を通じて、自然環境についての理解を深める講座

エコスクール参加人数計 145 名

(2) 小中学校環境教育支援事業

平成 22 年度(2010 年度)から、学校内における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を学校へ紹介しています。

表 2-16 小中学校教育支援事業実施状況

	実施小中学校数	参加延べ人数	実施プログラム数
平成 28 年度	17	1,985	19
平成 29 年度	18	1,856	18
平成 30 年度	17	1,447	13
令和元年度	17	2,365	22
令和 2 年度	20	2,512	25



<小中学校環境教育支援事業の様子>

(3) 園児を対象とした環境教育

幼少期から、「もったいない」の気持ちを育み、環境に対する意識を高めるため、保育園・幼稚園の年長児童を対象に「ごみの分別と食べ残し」をテーマにした参加型環境教育を平成 24 年度(2012 年度)から実施しています。平成 29 年度(2017 年度)からは希望のある私立園等でも実施しており、令和 2 年度(2020 年度)は、計 53 園で実施しました。

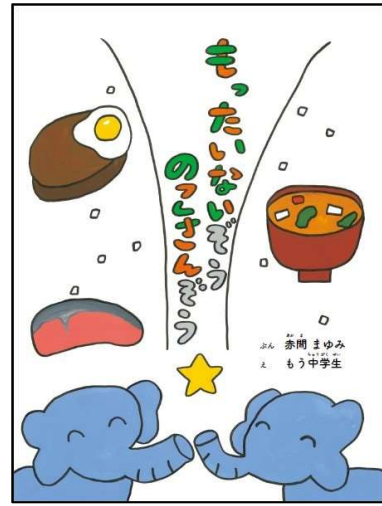
環境教育の効果を家庭で持続させるため、平成 26 年度(2014 年度)からペットボトルをリサイクルして作られたエコグッズや、再生紙で作成した塗り絵の絵本を配布しています。また、環境教育の効果を園で持続させるため、平成 26 年度(2014 年度)に紙芝居「みんなでおいしくいただきます！おさらピカピカだいさくせん」を、平成 30 年度(2018 年度)に絵本「もったいないぞう のこさんぞう」を作成しました。それぞれ各園で活用してもらい、環境教育による園児の気づきの持続を図っています。紙芝居は「消費者教育教材表彰 2017」で優秀賞を受賞しました。それぞれ市ホームページに掲載し、他自治体でも活用できるように全国展開しています。



<保育園における環境教育の様子>



<紙芝居「みんなでおいしくいただきます！おさらピカピカだいさくせん」>



<絵本「もったいないぞう のこさんぞう」>

(4) 小学校環境教育事業

平成 27 年度(2015 年度)に環境省のモデル事業として、「環境教育の実施に伴う効果測定事業」を行い、給食の食べ残し量及び児童とその保護者の意識がどのように変化するかを調査しました。

モデル事業の結果から、児童及び保護者への高い効果が得られた小学 3 年生を対象とし、平成 28 年度(2016 年度)から市内小学校で環境教育を実施しています。職員が講師となって各校を訪問し、食べものを食べるまでに、たくさんの人の手間やエネルギーが費やされていること、世界には食べたくても食べられない人がいること、日本は多くの食べものを世界から買っていること、それでも食べものを捨てていることなどの話を中心に行っています。



<小学校における環境教育の様子>



<環境教育の教材（スライド資料）>

また、環境教育の実施後、保護者を対象としたアンケート調査を行っています。児童に対する環境教育の効果を検証するとともに、保護者の意識や行動の変化の有無についても聞き取り、環境教育の家庭への波及効果についても検証しています。



第 3 章

施策の展開



◎施策の展開について

環境基本計画の推進を確かなものとするために、各年度において、それぞれの施策の実施状況を把握します。

数値目標の設定のあるものについては、目標に対しての実績を、状況に応じて「A～D」評価で判定し、課題と見直方針を設定しました。

また、数値目標の設定のないものについても具体的な事業の内容等を把握し、計画の適正な進行管理を行います。

評価基準

「A：達成 B：70%以上達成 C：40%以上達成 D：40%未満達成」

指標・目標値の達成状況

1 把握及び進行方法

- (1) 各課に担当項目一覧表及び記載表を送付し、該当項目を記載依頼することにより、実施状況等を把握しました。
- (2) 目標値に達していないものについては、課題及び見直し方針を整理しました。
- (3) 集計後、環境保全施策庁内推進会議に報告し、達成状況について把握してもらうとともに、令和4年度の実施計画への計上を依頼しました。

2 指標・目標値の評価状況

評価基準(達成度)	R元		R2		前年度比
A (100%以上)	34	55.7%	33	54.1%	-1
B (70%以上)	21	34.4%	17	27.9%	-4
C (40%以上)	5	8.2%	8	13.1%	3
D (40%未満)	1	1.6%	3	4.9%	2
(評価できない項目)	0	0.0%	0	0.0%	0
計	61	100%	61	100%	

令和2年度における指標・目標値の設定のある項目(全61項目)の評価結果は、A評価が33項目(54.1%)、B評価が17項目(27.9%)、C評価が8項目(13.1%)、D評価が3項目(4.9%)、評価できない項目が0項目(0%)となりました。

3 変動のあった項目

○柱一項	設定項目	R1	R2	変化	所管課
○1-1	下水道施設の購入電力量 (消化ガス[メタンガス]発電の実施)	B	A	↑	下水道課
○1-2	公共交通乗車数	A	B	↓	公共交通課
○2-2	遊休荒廃農地解消面積	A	B	↓	農政課
○2-2	地産地消の店登録件数	B	C	↓	農政課
○2-2	間伐実施面積(年間)	C	D	↓	森林環境課
○2-2	林道整備延長	B	A	↑	森林環境課
○3-1	騒音環境基準達成率 道路沿線	B	A	↑	環境保全課
○3-3	中小土地区画整理事業整備済み面積	A	B	↓	都市計画課
○4-1	美ヶ原パークボランティア登録者数	B	A	↑	観光プロモーション課
○4-1	外来生物駆除活動への参加人数	A	C	↓	環境・地域エネルギー課
○4-1	モニタリング調査箇所数	A	B	↓	環境・地域エネルギー課
○4-2	美ヶ原自然保護センター入館者数	B	C	↓	観光プロモーション課
○4-2	乗鞍自然保護センター入館者数	B	C	↓	アルプスリゾート整備本部
○4-2	親子自然観察会(公民館活動)実施地区数	C	A	↑	生涯学習課
○4-2	美ヶ原自然観察会実施回数	A	D	↓	観光プロモーション課
○5-3	河川美化活動 (清掃、特定外来生物駆除)参加人数	A	C	↓	環境保全課
環境教育	自然観察会(エコスクール)参加者数	B	C	↓	環境・地域エネルギー課
環境教育	環境教育講座 (出前講座+地区公民館環境教育)数	C	A	↑	生涯学習課

昨年度と比較し、評価が上がった項目は6項目、評価が下がった項目は12項目となりました。

指標・目標値に対する実績

第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)

第1項 低炭素型地域づくりの推進

○評価の基準
 100%以上 → 「A」
 70%以上 → 「B」
 40%以上 → 「C」
 40%未満 → 「D」

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
太陽光発電の固定価格買取制度における認定容量	H27	74,593kW(累計)	R2	112,000kW(累計)	B	112,000kW(累計)	101,969kW(R2年9月時点)	B	前年度比較では増加しているが、固定価格買取制度に基づく売電価格が下がっているため、伸び率が下がっている。	再生可能エネルギー地産地消推進計画の内容を踏まえ検討していく。	環境・地域エネルギー課
市施設における再生可能エネルギー設置件数	H27	71施設(累計)	R2	76施設(累計)	A	76施設(累計)	80施設(累計)	A	—	—	環境・地域エネルギー課
市施設における温室効果ガス排出量	H22	42,408 t-CO ₂	R2	37,016 t-CO ₂ (H22年比13%削減)	A	37,016 t-CO ₂ (H22年比13%削減)	31,501 t-CO ₂	A	—	—	環境・地域エネルギー課
下水道施設の購入電力量(消化ガス[メタンガス]発電の実施)	H22	11,805,787 kWh	R2	8,620,000 kWh	B	8,620,000 kWh	8,552,730 kWh	A	—	—	下水道課
住宅用省エネルギーフォーム申請件数	H26	0件(累計)	R2	1,800件(累計)	A	1,800件(累計)	3,587件(累計)	A	—	—	環境・地域エネルギー課
再生エネルギーで事業を興す事業者数	H26	0件(累計)	R2	4件(累計)	D	4件(累計)	1件(累計)	D	建設中の案件が1件、また松本市が補助金を交付した計画・設計中の案件が2件あるが、着工に至っていない。	再生可能エネルギー地産地消推進計画の内容を踏まえ検討していく。	環境・地域エネルギー課

第2項 車優先社会からの転換

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
ノーマイカーデー運動実施団体数	H22	38団体	R2	42団体	B	42団体	40団体	B	公共交通機関の充実	今後は、中心市街地での通過交通抑制により歩行者等を優先する空間を創出するとともに、人の回遊性を確保し、地元が主体となったまちの賑わいの創出につなげる。	交通ネットワーク課
公共交通乗車数	H26	24,000人/日	R2	25,900人/日	A	25,900人/日	19,159	B	新型コロナウイルス感染症の影響による外出機会の減、観光客の減により目標値には達しなかった。	アフターコロナを見据え、公共交通利用者増への取組み内容を検討していく。	公共交通課

第3項 松本市地球温暖化対策実行計画の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
市全域から排出される温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)	H19	1,858,975 t-CO ₂	R2	1,301,283 t-CO ₂	B	1,616,500 t-CO ₂	1,705,161 t-CO ₂	B	昨年度から約100,000t-CO ₂ 減少した。業務部門が大きく削減したが、運輸部門が微増した。	温暖化対策実行計画の内容を踏まえ検討していく。	環境・地域エネルギー課

第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち(循環型社会)

第1項 ごみ減量の推進

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
ごみ排出量	H22	99,007t	R2	84,618t	B	84,618t	87,292t	B	前年度に比べ排出量は約2,246トン減少したが、目標値からは3パーセント以上超過する結果となった。 事業系ごみの排出量が依然として多いこと及び近2年は家庭系ごみが増加していることが課題となっている。	松本市一般廃棄物処理計画(平成30年度～令和9年度版)に基づき、ごみの減量を推進する。	環境業務課
可燃ごみの紙の組成量	H27	16,056t	R2	13,556t	B	13,556t	16,855t	B	可燃ごみの中には、依然として資源となる紙類が多量に混入している。	組成調査を継続的に実施し、排出状況を的確に把握するとともに、資源となる紙類の分別について更なる周知を図る。	環境業務課
ごみ減量器機等購入補助件数	H22	21,463件(累計) ^{※1}	R2	23,315件(累計) ^{※2}	B	23,315件	22,889件	B	ほぼ目標値に迫っている。	補助制度の周知・啓発に努め、更にごみ減量に資する市民意識の高揚を図る。	環境業務課
30・10運動等協力店数	H26	87店(累計)	R2	225店(累計)	A	225店	330店	A	—	—	環境・地域 EILK [*] 課

※1・※2 S61年度からの累計数値

第2項 農林業の推進

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
認定農業者数	H22	476人(累計)	R2	530人(累計)	A	530人(累計)	544人(累計)	A	—	—	農政課
エコファーマー登録数	H27	329人(累計)	R2	350人(累計)	A	350人(累計)	366人(累計)	A	—	—	農政課
遊休荒廃農地解消面積	H22	8.7ha(累計)	R2	67.0ha(累計)	A	2ha(単年) 67ha(H16～R2累計)	1.95ha(単年) 63.95ha(H16～R2累計)	B	耕作者の高齢化による耕作者不足により、立地場所等耕作しにくい荒廃地の積極的な解消の推進ができなかった。	再生利用が可能な荒廃農地について積極的な利用促進を推進する。	農政課
地産地消の店登録件数	H22	84件(累計)	R2	140件(累計)	B	140件(累計)	90件(累計)	C	新規登録者はあるものの、差引減となっている。地産地消の推進＝選ばれる店に繋がっていない状況である。	登録件数増＝地産地消が進むではない点も踏まえ、それが進む仕掛けそのものを検討する。	農政課
間伐実施面積(年間)	H26	239ha	R2	280ha	C	280ha	63.5ha	D	森林所有者を把握し、同意書を得るための事務及び奥地での木材搬出が非常に困難である。	国・県補助金に加え、市でも嵩上げ補助を実施し、森林所有者の負担軽減を図ることで、間伐実施率の向上を図っている。	森林環境課
林道整備延長	H22	285,846m(累計)	R2	288,402m(累計)	B	288,402m	288,402m	A	—	—	森林環境課
森林作業道の開設延長(年間)	H26	8km	R2	10km	A	10km	10km	A	—	—	森林環境課
森林の里親促進事業実施箇所数	H27	4カ所(累計)	R2	現状維持/増加	A	現状維持/増加	5カ所(累計)	A	—	—	森林環境課

第3の柱 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)

第1項 公害の防止と対策

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
事業場立入検査における指導に対する改善達成率	H22	100%	R2	100%	A	100%	100% (1事業場/1事業場)	A	—	—	環境保全課
河川BOD(湖沼COD)水質環境基準達成率	H22	83.3% (5地点/6地点)	R2	100% (4地点/4地点)	B	100% (4地点/4地点)	75% (3地点/4地点)	B	自然由来と考えられる基準超過があった。	調査を継続実施し、監視体制を維持する。	環境保全課
地下水水質環境基準達成率	H22	100%	R2	100%	A	100%	100%	A	—	—	環境保全課
騒音環境基準達成率 道路沿線	H22	83.3% (5箇所/6箇所)	R2	100% (6箇所/6箇所)	B	100% (6箇所/6箇所)	100% (6箇所/6箇所)	A	—	—	環境保全課
騒音環境基準達成率 一般環境	H22	100% (3地点/3地点)	R2	100% (3地点/3地点)	A	100% (3地点/3地点)	100% (3地点/3地点)	A	—	—	環境保全課

第2項 廃棄物の適正処理の推進

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
発生源周辺大気ダイオキシン類濃度・地区別年平均値	H22	0.035 pg-TEQ/m ³ (全国平均0.036)	R2	全国平均以下	A	0.035 pg-TEQ/m ³ (R1全国平均0.019)	0.015 pg-TEQ/m ³	A	—	—	環境保全課

第3項 生活環境基盤の整備

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
中小土地区画整理事業整備済み面積	H26	219.7ha (累計)	R2	233.2ha (累計)	A	233.2ha	232.6ha	B	地権者の合意形成等で事業化が難しい地区がある。	新規事業化を見込める地区が無い場合、区画整理事業の取組みを終了する。	都市計画課
地区計画策定面積	H22	265.1ha (累計)	R2	291.0ha (累計)	A	295.2ha	295.2ha	A	—	—	都市計画課
水道水有効率	H22	89.0%	R2	95.0%	B	95.0%	88.1%	B	老朽給・配水管の更新・解消には、多額の費用と期間を要する。	老朽給水管取替事業及び松本地区老朽配水管改良事業を計画的に推進する。	上水道課
下水道普及率	H22	95.7%	R2	96.7%	A	96.7%	97.1%	A	—	—	下水道課

第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち(自然環境)

第1項 野生動植物の保全と対策

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
美ヶ原パークボランティア登録者数	H22	33人	R2	48人	B	48人	54人	A	—	—	観光 プロモーション課
希少種保護活動への支援箇所数	H27	0カ所	R2	1カ所	A	1カ所	1カ所	A	—	—	環境・地域 課
外来生物駆除活動への参加人数	H26	5,976人	R2	6,100人	A	6,100人	3,329人	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数、参加人数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、活動を促す。	環境・地域 課
モニタリング調査箇所数	H26	0カ所	R2	5カ所	A	5カ所	4カ所	B	平成29年から調査を開始し、毎年1カ所ペースで調査を実施したため、目標に到達しなかった。	今後も毎年1カ所のペースで調査を継続する予定。	環境・地域 課
市民参加型環境調査への延べ参加人数	H27	43人	R2	150人	A	280人	369人	A	—	—	環境・地域 課
ニホンジカの駆除頭数	H26	2,107頭	R2	取り組みの継続	B	1,695頭	1,691頭	B	駆除の強化、継続により、捕獲頭数が減少傾向にある。	生息区域の拡大等もあり、継続した捕獲により被害減少に努める。	森林環境課

第2項 自然とのふれあいの推進

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1 評価	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
						目標値	実績値	評価			
美ヶ原自然保護センター入館者数	H22	16,120人	R2	22,000人	B	22,000人	9,205人	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、入館者数が伸び悩んでしまった。	アフターコロナの観光客受入に向けた自然保護センターの魅力向上を図りたい。	観光 プロモーション課
乗鞍自然保護センター入館者数	H22	6,220人	R2	10,000人	B	10,000人	4,736人	C	維持管理体制の強化と施設の老朽化。 新型コロナウイルス感染症の影響により4/14～5/31休館。	維持管理体制の見直し及び施設整備に向け関係機関と協議を進める。	アルプスリゾート 整備本部
親子自然観察会（公民館活動）実施地区数	H22	28地区	R2	35地区	C	15地区	18地区	A	—	—	生涯学習課
美ヶ原自然観察会実施回数	H22	4回	R2	6回	A	6回	0回	D	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全会中止とした。	感染防止対策を講じて実施できる体制を整えたい。	観光 プロモーション課

第5の柱 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)

第1項 松本らしい景観・文化の保全と創出

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
違反広告物簡易除却件数	H22	279件	R2	発見数全て	A	発見数全て	0件	A	—	—	都市計画課
景観計画で建築物の高さの制限を定めている区域の割合	H22	27.1%	R2	現状維持※1	A	現状維持	現状維持	A	—	—	都市計画課
中心市街地の主な通りの歩行者数	H22	80,144人	R2	90,100人	B	90,100人	65,711人	B	新型コロナウイルス感染症の影響があり、目標値には達しなかった。 また、調査日が1日であり、指標が天候に左右されてしまう問題もある。	歩行者主体の道路の活用を引き続き進めて行く。 なお、歩行者通行量は天候により増減が見られるため、設定項目については見直しを行いたい。	お城 まちなみ 創造本部

※1 H27年度に100%となっているため、現状維持を目標とする。

第2項 緑化と美化の推進

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
生垣設置補助延長	H22	578.8m (単年)	R2	13720m以上 (累計)※1	C	780m (単年) 13720m以上 (累計)	434.9m (単年) 8198m (累計)	C	1件あたりの生垣延長が短くなっている。	市民への周知を図るとともに、業者への周知を行う。今後も継続して実施する。	公園緑地課
家屋新築記念樹交付件数	H22	481件 (単年)	R2	8190件以上 (累計)※2	A	1000件 (単年) 8190件以上 (累計)	918件 (単年) 11941件 (累計)	A	—	—	公園緑地課
誕生記念樹公布件数	H26	445件 (単年)	R2	5114件 (累計)※3	B	600件 (単年) 5114件以上 (累計)	608件 (単年) 4392件 (累計)	B	令和2年度は増加したが、少子化の影響から累計では目標を下回る結果となった。	関係課と連携しながら、新生児が誕生した保護者へ申請書の配布を引き続き行っていく。	公園緑地課
都市計画区域人口1人当たりの都市公園面積	H22	14.74㎡	R2	20.00㎡	B	20㎡	14.66㎡	B	新たな都市公園の増加は、開発行為(区画整理等)によるもののみとなっている。	都市公園の機能を保ち、市民一人当たりの公園面積を維持する。	公園緑地課
花壇づくりに取り組む学校の割合	H22	100%	R2	100%	A	100%	100%	A	—	—	教育政策課
大型花壇の設置数	H22	0カ所 (単年)	R2	4カ所以上 (累計)※4	A	4カ所以上 (累計)※4	1カ所 (単年) 4カ所 (累計)	A	—	—	公園緑地課
オープンガーデン事業の参加箇所数	H22	77件 (単年)	R2	782件 以上 (累計)※5	C	73件 (単年)※6	34件 (単年)	C	令和元年度より公共施設(34件)を対象外とした。	オープンガーデン制度の周知を図り、新規オーナーの増加につなげていく。	公園緑地課
緑被面積(中心部地域)	H24	424ha	R2	現状+390本	A	現状+390本	現状+636本	A	—	—	都市計画課

※1 H18年度からの累計数値

※2 H17年度からの累計数値

※3 H26年度からの累計数値

※4・※5 H22年度からの累計数値

※6 事業内容の性質から、累計の目標設定は行わないこととした

第3項 親しめる水辺の創出

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
湧水と緑陰の一体整備の箇所数	H26	9カ所	R2	15カ所	A	15カ所	16カ所	A	—	—	都市計画課
河川美化活動（清掃、特定外来生物駆除）参加人数	H26	32,193人	R2	32,300人	A	32,300人	15,013人	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数、参加人数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら、活動を促す。	環境保全課

計画推進のために共通する取組み ～環境教育の充実～

設定項目	基準年	実績値	目標年度	目標値	R1	R2			課題・問題点	次期計画に向けた見直し方針	所管課
					評価	目標値	実績値	評価			
自然観察会（エコスクール）参加者数	H22	240人	R2	330人	B	330人	145人	C	天候及び新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模を縮小した事業が複数あったことが影響した。	実績は減少したが、全ての講座で定員以上の申込みがあり、コロナ禍において市民のニーズは高まっていることから、環境団体等と連携を図りつつ継続実施していく。	環境・地域課
トライやるエコスクール事業に取り組む学校の割合	H22	100%	R2	100%	A	100%	100%	A	—	—	学校教育課
民間団体、事業所等による環境学習の取組数	H30	200講座	R2	200講座	A	200講座	229講座	A	—	—	環境・地域課
環境教育講座（出前講座＋地区公民館環境教育）数	H22	2回 ^{※1}	R2	70回	C	70回	83回	A	—	—	生涯学習課
松本市公式ホームページ「環境教育情報」への年間アクセス数	H26	1,267回	R2	2,000回	A	2,000回	6,252回	A	—	—	環境・地域課
園児を対象とした参加型環境教育実施園数	H27	46園	R2	64園	B	64園	53園	B	私立園の実施数が伸び悩んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、2園は中止となった。	未実施の私立園や保育施設等へ積極的に案内し、実施につなげる。	環境・地域課
小中学校環境教育支援事業実施講座数	H26	29講座	R2	30講座	A	30講座	50講座	A	—	—	環境・地域課

※1 環境教育講座（出前講座）数のみの数値

指標・目標値の総合評価結果

1 総合評価の方法

各年度の評価において、A評価を4点、B評価を3点、C評価を2点、D評価を1点とし、5年間（もしくは実施年数）の平均値を算出しました。得られた平均点が4点（100%）以上はA評価、2.8点（70%）以上はB評価、1.6点（40%）以上はC評価、1.6点（40%）未満はD評価としました。

達成度	4点以上	2.8点以上	1.6点以上	1.6点未満
評価	A	B	C	D

2 指標・目標値の評価状況

指標・目標値の設定のある項目（全61項目）の総合評価結果は、A評価が19項目（31.1%）B評価が36項目（59.0%）、C評価が6項目（9.8%）、D評価が0項目（0%）、評価できない項目が0項目（0%）となりました。

評価基準(達成度)	総合評価	
A (100%)	19	31.1%
B (70%以上)	36	59.0%
C (40%以上)	6	9.8%
D (40%未満)	0	0%
(評価できない項目)	0	0%
計	61	100%

3 柱ごとの総合評価状況

指標・目標値の設定のある項目（全61項目）の総合評価結果を取組みの柱ごとに比較すると、評価の平均値が最も高いものは第3の柱（生活環境）の3.56点、最も低いものは第2の柱（循環型社会）の3.27点となりました。

評価項目	A	B	C	D	評価の平均値
第1の柱（地球環境）	2	6	1	0	3.44
第2の柱（循環型社会）	3	8	1	0	3.27
第3の柱（生活環境）	4	6	0	0	3.56
第4の柱（自然環境）	2	7	1	0	3.35
第5の柱（快適環境）	4	7	2	0	3.28
共通する取組み	4	2	1	0	3.60
計	19	36	6	0	61

指標・目標値に対する各年度の評価及び総合評価

第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)

第1項 低炭素型地域づくりの推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
太陽光発電の固定価格買取制度における認定容量	H27	74,593 kW (累計)	R2	112,000 kW (累計)	目標値	82,074	89,556	97,036	104,519	112,000	B	環境・地域エネルギー課
					実績値	85,603	85,285	102,728	98,136	101,969		
					評価	A	B	A	B	B		
市施設における再生可能エネルギー設置件数	H27	71施設 (累計)	R2	76施設 (累計)	目標値	72	73	74	75	76	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	74	76	78	78	80		
					評価	A	A	A	A	A		
市施設における温室効果ガス排出量	H22	42,359 t-CO ₂	R2	36,852 t-CO ₂ (H22年比13%削減)	目標値	37,148	38,633	38,084	37,522	36,852	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	37,258	37,250	35,249	33,679	31,501		
					評価	B	A	A	A	A		
下水道施設の電気使用量(消化ガス[メタンガス]発電の実施)	H22	11,805,787 kWh	R2	8,620,000 kWh	目標値	9,719,600	9,394,200	8,620,000	8,620,000	8,620,000	B	下水道課
					実績値	9,394,200	8,410,189	8,618,076	8,661,092	8,552,730		
					評価	A	A	A	B	A		
住宅用省エネルギーフォーム申請件数	H26	0件 (累計)	R2	1,800件 (累計)	目標値	—	450	900	1,350	1,800	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	—	573	1,688	2,683	3,587		
					評価	—	A	A	A	A		
再生エネルギーで事業を興す事業者数	H26	0件 (累計)	R2	4件 (累計)	目標値	—	1	2	3	4	C	環境・地域エネルギー課
					実績値	0	1	1	1	1		
					評価	—	A	C	D	D		

第2項 車優先社会からの転換

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
ノーマイカーデー運動実施企業数	H22	38団体	R2	42団体	目標値	42	42	42	42	42	B	交通ネットワーク課
					実績値	39	40	41	40	40		
					評価	B	B	B	B	B		
公共交通乗車数	H26	24,000人/日	R2	25,900人/日	目標値	31,031	25,900	25,900	25,900	25,900	B	公共交通課
					実績値	32,674	33,392	33,967	28,243	19,159		
					評価	A	A	A	A	B		

第3項 松本市地球温暖化対策実行計画の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
市全域から排出される温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）	H19	1,858,975 t-CO2	R2	1,677,000 t-CO2	目標値	1,713,490	1,689,243	1,664,995	1,640,748	1,616,500	B	環境・地域エネルギー課
					実績値	1,890,431	1,870,920	1,789,775	1,804,128	1,705,161		
					評価	B	B	B	B	B		

第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち（循環型社会）

第1項 ごみ減量の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
ごみ排出量	H22	99,007t	R2	84,618t	目標値	89,577	86,829	88,277	86,677	84,618	B	環境業務課
					実績値	91,793	89,793	88,318	89,538	87,292		
					評価	B	B	B	B	B		
可燃ごみの紙の組成量	H27	16,056t	R2	13,556t	目標値	15,555	15,056	14,556	14,056	13,556	B	環境業務課
					実績値	16,553	17,210	15,951	15,894	16,855		
					評価	B	B	B	B	B		
ごみ減量器機等購入補助件数	H22	21,463件 ※1	R2	23,315件 ※2	目標値	22,626	22,710	22,794	23,054	23,315	B	環境業務課
					実績値	22,441	22,547	22,653	22,759	22,889		
					評価	B	B	B	B	B		
30・10運動等協力店数	H26	87店 (累計)	R2	225店 (累計)	目標値	100	150	200	213	225	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	112	177	246	270	330		
					評価	A	A	A	A	A		

※1・※2 S61年度からの累計数値

第2項 農林業の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
認定農業者数	H22	476人 (累計)	R2	530人 (累計)	目標値	510	515	520	525	530	B	農政課
					実績値	491	511	522	533	544		
					評価	B	B	A	A	A		
エコファーマー登録数	H27	329人 (累計)	R2	350人 (累計)	目標値	340	350	350	350	350	A	農政課
					実績値	340	351	357	358	366		
					評価	A	A	A	A	A		

遊休荒廃農地解消面積	H22	8.7ha	R2	67.0ha (累計)	目標値	2 (単年) 59.2 (累計)	2 (単年) 60 (累計)	2 (単年) 62 (累計)	2 (単年) 67.0 (累計)	B	農政課	
					実績値	1.7 (単年) 59.2 (累計)	1.49 (単年) 60.7 (累計)	0.26 (単年) 61 (累計)	2 (単年) 64 (累計)			1.95 (単年) 63.95 (累計)
					評価	B	B	D	A			B
地産地消の店登録件数	H22	84件 (累計)	R2	140件 (累計)	目標値	108	117	124	132	140	B	農政課
					実績値	113	109	106	99	90		
					評価	A	B	B	B	C		
間伐実施面積 (年間)	H26	239ha	R2	280ha	目標値	234	280	280	280	280	C	森林環境課
					実績値	98	117	129	131	63.5		
					評価	C	C	C	C	D		
林道整備延長	H22	285,846m (累計)	R2	288,402m (累計)	目標値	287,380	287,635	287,890	288,146	288,402	B	森林環境課
					実績値	287,425	287,431	287,431	287,803	288,402		
					評価	A	B	B	B	A		
森林作業道の開設延長 (年間)	H26	8km	R2	10km	目標値	10	10	10	10	10	B	森林環境課
					実績値	10.4	5.5	13.7	11.1	10.0		
					評価	A	C	A	A	A		
森林の里親促進事業 実施箇所数	H27	4ヶ所 (累計)	R2	現状維持 /増加	目標値	現状維持 /増加	4	4	4	4	A	森林環境課
					実績値	4	5	5	5	5		
					評価	A	A	A	A	A		

第3の柱 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)

第1項 公害の防止と対策

設定項目	現況 年度	実績値	目標 年度	目標値	5年間の実績					総合 評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
事業場立入検査における指導に対する改善達成率	H22	100%	R2	100%	目標値	100	100	100	100	100	B	環境 保全課
					実績値	0	100	0	100	100		
					評価	D	A	D	A	A		
河川BOD(湖沼COD)水質環境基準達成率	H22	83.3% (5地点/ 6地点)	R2	100% (4地点/ 4地点)	目標値	100	100	100	100	100	B	環境 保全課
					実績値	75 (3/4)	75 (3/4)	75 (3/4)	75 (3/4)	75 (3/4)		
					評価	B	B	B	B	B		

地下水水質環境基準達成率	H22	100%	R2	100%	目標値	100	100	100	100	100	A	環境保全課
					実績値	100	100	100	100	100		
					評価	A	A	A	A	A		
騒音環境基準達成率道路沿線	H22	83.3% (5箇所/ 6箇所)	R2	100% (6箇所/ 6箇所)	目標値	100	100	100	100	100	B	環境保全課
					実績値	66.6 (4/6)	100 (6/6)	100 (6/6)	83.3 (5/6)	100 (6/6)		
					評価	C	A	A	B	A		
騒音環境基準達成率一般環境	H22	100% (3地点/ 3地点)	R2	100% (3地点/ 3地点)	目標値	100	100	100	100	100	B	環境保全課
					実績値	66.6 (2/3)	100 (3/3)	100 (3/3)	100 (3/3)	100 (3/3)		
					評価	C	A	A	A	A		

第2項 廃棄物の適正処理の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
発生源周辺大気ダイオキシン類濃度・地区別年平均値	H22	0.035pg-TEQ/m ³ (H22年度 全国平均 0.036)	R2	全国平均以下	目標値	全国平均以下 (H27全国平均 0.028)	0.035 ^{※1} (H28全国平均 0.021)	0.035 ^{※1} (H29全国平均 0.022)	0.035 ^{※1} (H30全国平均 0.018)	0.035 ^{※1} (R1全国平均 0.019)	A	環境保全課
					実績値	0.020	0.011	0.011	0.021	0.015		
					評価	A	A	A	A	A		

※1 全国平均の公表が翌年度のため、H22年度の実績値0.035pg-TEQ/m³を目標値として評価

第3項 生活環境基盤の整備

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
中小土地区画整理事業整備済み面積	H26	219.7ha (累計)	R2	233.2ha (累計)	目標値	221.6	221.6	221.6	232.1	233.2	B	都市計画課
					実績値	221.6	221.6	221.6	232.6	232.6		
					評価	A	A	A	A	B		
地区計画策定面積	H22	265.1ha (累計)	R2	291.0ha (累計)	目標値	286.0	290.9	293.8	295	295.2	A	都市計画課
					実績値	286.0	290.9	293.8	295	295.2		
					評価	A	A	A	A	A		
水道水有効率	H22	89.0%	R2	93.0%	目標値	93.0	93.4	93.9	94.4	95.0	B	上水道課
					実績値	90.7	88.7	87.9	87.5	88.1		
					評価	B	B	B	B	B		
下水道普及率	H22	95.7%	R2	96.7%	目標値	96.5	96.6	96.6	96.9	96.7	A	下水道課
					実績値	96.6	96.6	96.8	96.9	97.1		
					評価	A	A	A	A	A		

第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち(自然環境)

第1項 野生動植物の保全と対策

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
美ヶ原パークボランティア登録者数	H22	33人	R2	48人	目標値	40	42	44	46	48	B	観光 プロモーション課
					実績値	42	43	38	37	54		
					評価	A	A	B	B	A		
希少種保護活動への支援箇所数	H27	0カ所	R2	1カ所	目標値	1	1	1	1	1	A	環境・地域 エネルギー課
					実績値	1	1	1	1	1		
					評価	A	A	A	A	A		
外来生物駆除活動への参加人数	H26	5,976人	R2	6,100人	目標値	6,020	6,040	6,978	6,100	6,100	B	環境・地域 エネルギー課
					実績値	7,250	6,978	7,369	9,414	3,329		
					評価	A	A	A	A	C		
モニタリング調査箇所数	H26	0カ所	R2	5カ所	目標値	—	1	1	3	5	B	環境・地域 エネルギー課
					実績値	0	1	1	3	4		
					評価	—	A	A	A	B		
市民参加型環境調査への延べ参加人数	H27	43人	R2	150人	目標値	70	90	110	150	280	A	環境・地域 エネルギー課
					実績値	115	163	166	233	369		
					評価	A	A	A	A	A		
ニホンジカの駆除頭数	H26	2,107頭	R2	取り組みの継続	目標値	1,400	1,400	1,400	1,695	1,695	B	森林 環境課
					実績値	1,377	1,656	1,214	1,243	1,691		
					評価	B	A	B	B	B		

第2項 自然とのふれあいの推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
美ヶ原自然保護センター入館者数	H22	16,120人	R2	22,000人	目標値	15,800	15,800	15,800	15,800	22,000	B	観光 プロモーション課
					実績値	15,144	12,741	13,815	13,233	9,205		
					評価	B	B	B	B	C		
乗鞍自然保護センター入館者数	H22	6,220人	R2	10,000人	目標値	10,000	8,800	9,200	9,600	10,000	B	アルプス リゾート整備本部
					実績値	9,230	8,326	8,602	9,024	4,736		
					評価	B	B	B	B	C		

親子自然観察会（公民館活動）実施地区数	H22	28地区	R2	35地区	目標値	31	15	15	15	15	C	生涯学習課
					実績値	14	8	8	8	18		
					評価	C	C	C	C	A		
美ヶ原自然観察会実施回数	H22	4回	R2	6回	目標値	5	5	5	5	6	B	観光プロモーション課
					実績値	5	5	5	5	0		
					評価	A	A	A	A	D		

第5の柱 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)

第1項 松本らしい景観・文化の保全と創出

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
違反広告物簡易除却件数	H22	279件	R2	発見数全て	目標値	発見数全て	発見数全て	発見数全て	発見数全て	発見数全て	A	都市計画課
					実績値	9	違反広告物無し	違反広告物無し	29	0		
					評価	A	A	A	A	A		
景観計画で建築物の高さの制限を定めている区域の割合	H22	27.1%	R2	現状維持※1	目標値	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	A	都市計画課
					実績値	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持		
					評価	A	A	A	A	A		
中心市街地の主な通りの歩行者数	H22	80,144人	R2	90,100人	目標値	83,900	88,100	82,000	82,000	90,100	B	お城まちなみ創造本部
					実績値	89,235	56,090	77,263	68,016	65,711		
					評価	A	C	B	B	B		

※1 H27年度に100%となっているため、現状維持を目標とする。

第2項 緑化と美化の推進

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値	5年間の実績					総合評価	所管課	
					H28	H29	H30	R1	R2			
生垣設置補助延長	H22	578.8m (単年)	R2	13,720m 以上 (累計) ※1	目標値	920 (単年)	920 (単年)	780 (単年)	780 (単年)	780 (単年) 13,720 以上 (累計)	B	公園緑地課
					実績値	778.8 (単年) 9737.4 (累計)	248.7 (単年) 9986.1 (累計)	515.8 (単年) 10501.9 (累計)	477.5 (単年) 10979.4 (累計)	434.9 (単年) 11414.3 (累計)		
					評価	B	D	C	C	C		
家屋新築記念樹交付件数	H22	481件 (単年)	R2	8,190件 以上 (累計) ※2	目標値	530 (単年)	530 (単年)	1,000 (単年)	1,000 (単年)	1,000 (単年) 8190以上 (累計)	B	公園緑地課
					実績値	459 (単年) 6,052 (累計)	363 (単年) 6,415 (累計)	821 (単年) 7,236 (累計)	1,067 (単年) 8,303 (累計)	918 (単年) 9,221 (累計)		
					評価	B	C	B	A	A		

誕生記念樹公布件数	H26	445件 (単年)	R2	5,114件 (累計) ※3	目標値	775 (単年)	600 (単年)	600 (単年)	600 (単年)	600 (単年) 5114以上 (累計)	B	公園緑地課
					実績値	741 (単年) 1980 (累計)	623 (単年) 2603 (累計)	604 (単年) 3207 (累計)	579 (単年) 3786 (累計)	608 (単年) 4394 (累計)		
					評価	B	A	A	B	B		
都市計画区域人口1人当りの都市公園面積	H22	14.74㎡	R2	20.00㎡	目標値	20	20	20	20	20	B	公園緑地課
					実績値	14.65	14.65	14.66	14.66	14.66		
					評価	B	B	B	B	B		
花壇づくりに取り組む学校の割合	H22	100%	R2	100%	目標値	100	100	100	100	100	A	教育政策課
					実績値	100	100	100	100	100		
					評価	A	A	A	A	A		
大型花壇の設置数	H22	0箇所 (単年)	R2	4箇所以上 (累計) ※4	目標値	1	1	1	1	4力所以上 (累計) ※4	B	公園緑地課
					実績値	0	0	1	1	1力所 (単年) 4力所 (累計)		
					評価	D	D	A	A	A		
オープンガーデン事業の参加箇所数	H22	77件 (単年)	R2	782件以上 (累計) ※5	目標値	73 (単年)	73 (単年)	73 (単年)	73 (単年) ※6	73 (単年) ※6	C	公園緑地課
					実績値	70 (単年) 510 (累計)	67 (単年) 577 (累計)	69 (単年) 646 (累計)	35 (単年)	34 (単年)		
					評価	B	B	B	C	C		
緑被面積(中心部地域)	H24	424ha	R2	現状+390本	目標値	78本 (単年)	78本 (単年)	110本 (単年)	現状+390本 (累計)	現状+390本 (累計)	B	都市計画課
					実績値	84本 (単年)	67本 (単年)	105本 (単年) 現状+256 本 (累計)	現状+636本 (累計)	現状+636本 (累計)		
					評価	A	B	B	A	A		

※1 H18年度からの累計数値

※2 H17年度からの累計数値

※3 H26年度からの累計数値

※4・※5 H22年度からの累計数値

※6 事業内容の性質から、累計の目標設定は行わないこととした

第3項 親しめる水辺の創出

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
湧水と緑陰の一体整備の箇所数	H26	9カ所	R2	15カ所	目標値	11	12	12	15	15	A	都市計画課
					実績値	12	12	12	16	16		
					評価	A	A	A	A	A		
河川美化活動（清掃、特定外来生物駆除）参加人数	H26	32,193人	R2	32,300人	目標値	32,214	30,000	31,000	32,000	32,300	B	環境保全課
					実績値	28,920	24,723	25,981	33,870	15,013		
					評価	B	B	B	A	C		

計画推進のために共通する取組み ～環境教育の充実～

設定項目	現況年度	実績値	目標年度	目標値		5年間の実績					総合評価	所管課
						H28	H29	H30	R1	R2		
自然観察会（エコスクール）参加者数	H22	240人	R2	330人	目標値	330	330	330	330	330	B	環境・地域エネルギー課
					実績値	367	322	410	294	145		
					評価	A	B	A	B	C		
トライやるエコスクール事業に取り組む学校の割合	H22	100%	R2	100%	目標値	100	100	100	100	100	A	学校教育課
					実績値	100	100	100	100	100		
					評価	A	A	A	A	A		
民間団体、事業所等による環境学習の取組数	H30	200講座	R2	200講座	目標値	200	200	200	200	200	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	200	207	217	319	229		
					評価	A	A	A	A	A		
環境教育講座（出前講座＋地区公民館環境教育）数	H22	2回※1	R2	70回	目標値	70	70	70	70	70	C	生涯学習課
					実績値	40	47	43	45	83		
					評価	C	C	C	C	A		
松本市公式ホームページ「環境教育情報」への年間アクセス数	H26	1,267回	R2	2,000回	目標値	1,550	1,700	2,000	2,000	2,000	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	1,843	1,997	2,264	4,690	6,252		
					評価	A	A	A	A	A		
園児を対象とした参加型環境教育実施園数	H27	46園	R2	64園	目標値	46	46	52	58	64	B	環境・地域エネルギー課
					実績値	46	50	53	53	53		
					評価	A	A	A	B	B		
小中学校環境教育支援事業実施講座数	H26	29講座	R2	30講座	目標値	29	30	30	30	30	A	環境・地域エネルギー課
					実績値	33	36	31	42	50		
					評価	A	A	A	A	A		

※1 環境教育講座（出前講座）数のみの数値

指標・目標値の設定のない事業の把握

◎記入方法

どんな成果を目的に、どんな事業を実施しているのかを記入。

事業を実施したことによる成果に対する指標を記入。指標化することが困難または不適當である場合はその理由を記入。

昨年度の取組みに対して、評価および検証した結果を記入。

今年度以降、どのような取組みを行っていくのかを記入。

実施内容	成果指標		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<環境管理推進業務> 全市施設に関わる全般的な省エネ対策の進行管理を行い、地球温暖化対策(温室効果ガス排出量の削減)を図る。(1-3-2に同項目有)	H22年度比 温室効果ガス排出量(%)		温室効果ガスの排出状況は目標削減量を上回る結果となった。8月の平均気温が前年度より下がり、冷房の使用量が減少したことや、コロナ禍によるイベント等の中止などが要因の一つと考えらる。	今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、2050年ゼロカーボンに向けた2030年までの削減目標を設定し、より一層温室効果ガスの排出削減に努める。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	-11.7 -13.0			
実績値	-20.5 -25.7				

※ 実施内容の欄において十分述べられている事業については記入を省略してある場合があります。

◎市が行う取組み項目数及び実施事業

5つの柱	R1					R2				
	市が行う取組み	完了項目	未実施項目	実施項目	実施事業数(延べ数)	市が行う取組み	完了項目	未実施項目	実施項目	実施事業数(延べ数)
1 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)	39項目	1項目	0項目	38項目	87事業	39項目	1項目	0項目	38項目	86事業
2 環境への配慮が少なく、資源が循環するまち(循環型社会)	29項目	1項目	1項目	27項目	74事業	29項目	1項目	1項目	27項目	74事業
3 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)	31項目	1項目	0項目	30項目	90事業	31項目	1項目	0項目	30項目	90事業
4 自然の恵みを大切に受けつぐまち(自然環境)	19項目	0項目	0項目	19項目	45事業	19項目	1項目	0項目	18項目	45事業
5 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)	34項目	1項目	0項目	33項目	99事業	34項目	1項目	0項目	33項目	98事業
計	152項目	4項目	1項目	147項目	395事業	152項目	5項目	1項目	146項目	393事業

◎記載に関する特記事項

同一項目が他の柱や項等にある場合には、「実施内容」の最終行に記載場所を明記しています。
 例：(1-3-2に同項目有)
 → 「第1の柱 第3項 2 温室効果ガス排出量・削減効果等の見える化を図り、問題意識の共有・計画推進の啓発を行う。」に同一項目が記載されていることを表します。

指標・目標値の設定のない項目(市が行う取組み)

第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)

第1項 低炭素型地域づくりの推進

1 公共施設等でのESCO事業の導入検討を進めるとともに、民間への導入促進を図る。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<ESCO事業調査> 市施設の中でエネルギー使用量が多い施設を対象とし、ESCO事業導入可否について検討する。	評価施設数(施設)		令和元年当初に城山介護老人保健施設へのESCO事業を導入するため、公募型プロポーザルで業者を公募したが、参加表明をする事業者がいなく、事業が中止となった。また、これに関する国の補助金がなくなり、ESCO事業の成立が見込めなくなった。	令和元年度に松本市環境配慮型公共施設整備指針を策定し、令和2年度は指針の運用を開始し、実施計画や予算の際に各施設所管課へ省エネ化の支援などを実施した。引き続き、ESCOも含めた市有施設の低炭素化を推進していく。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
2 一事業者として「松本市役所エコオフィスプラン」の取組みを進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<環境管理推進業務> 全市施設に関わる全般的な省エネ対策の進行管理を行い、地球温暖化対策(温室効果ガス排出量の削減)を図る。(1-3-2に同項目有)	H22年度比 温室効果ガス排出量(%)		温室効果ガスの排出状況は目標削減量を上回る結果となった。8月の平均気温が前年度より下がり、冷房の使用量が減少したことや、コロナ禍によるイベント等の中止などが要因の一つと考えられる。	今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、2050年ゼロカーボンに向けた2030年までの削減目標を設定し、より一層温室効果ガスの排出削減に努める。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	-11.7			
実績値	-20.5	-25.7			
<省エネ法業務> 省エネ法に基づく特定事業者として、全市施設を対象に、電気・燃料等の使用量の削減目標を定め、省エネの推進を図る。 また、同法に基づく定期報告を実施する。(1-3-2に同項目有)	前年度比 原油換算エネルギー使用量(%)		前年度と比べて3.9%の削減となった。コロナ禍によるイベント等の中止で、エネルギー使用量が減少したと考えられる。	今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、2050年ゼロカーボンに向けた2030年までの削減目標を設定し、より一層温室効果ガスの排出削減に努める。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	-1			
実績値	-2.5	-3.9			
<省エネ診断受診事業> 長野県環境保全協会事業「省エネ診断」を活用し、市施設の省エネ改修実施の費用対効果等を検証する。	診断受診施設(施設)		平成30年度は国の補助金を活用したカーボンマネジメント強化事業の一部として5施設の省エネ診断を単発的に実施したが、長野県環境保全協会の省エネ診断は平成29年度で終了となったため、令和2年度は実施していない。	(一財)省エネルギーセンターが省エネ診断を実施しているため、公共施設への活用を検討していく。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	2			
実績値	0	0			
<製紙機の導入> 職員の紙使用量削減の啓発と市民への環境教育に活かすため、本市の事務事業で発生する廃棄書類から紙を作る製紙機を導入し、再生紙を幅広く活用するもの	再生紙生産枚数(枚)		廃棄書類は、毎月第4金曜日に収集し、本製紙機を使用して適正なりサイクルを行うことができた。 再生紙の活用方法について周知を行うことで、更なる普通紙の使用量削減に寄与できる可能性がある。	普通紙の使用量の削減を大前提とし、発生した廃棄書類を一事業者として適正にリサイクルする。 作成した再生紙については庁内での更なる活用の推進を図るとともに、環境教育の一環として市民への啓発に随時活用する。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	廃棄書類を原料とするため目標値の設定は不適當			
実績値	172,917	477,362			

3 住宅の改修時における省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入に対する補助制度を実施する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><省エネリフォーム補助金> 環境負荷の少ない新エネルギー設備及び省エネルギー設備の導入を促進するため、平成29年度から省エネリフォームに対する補助金制度とし、平成30年度からは、既存住宅に対する太陽光発電システム及び定置型蓄電システム設置への補助金を統一する。</p>	申請件数(件)		<p>目標を上回る申請状況となっている。 なお、申請手続きを簡素化し申請件数の増加を図るため、省エネ区分の補助金額算定方法を定額単価制へ変更し、昨年度に比べ申請件数が1割程度減少し、執行額が2割以上減少した。</p>	<p>令和3年度から新たに電気自動車等充電設備(V2H)への補助制度を開始した。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	目標値	450			
実績値	995	904			
4 公共施設の新築・改修に合わせ、建物の高断熱化、省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入等を図る。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><保育園大規模改修事業> 健全な保育環境を維持するため、老朽化した施設の大規模改修を行うもの。</p>	事業進捗率(%)		<p>令和2年度 ・計画なし</p>	<p>令和4年度 ・浜東保育園建物劣化度調査 令和5年度 ・浜東保育園実施設計 ・乗鞍保育園建物劣化度調査</p>	<p>保育課</p>
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><保育園改築事業> 健全な保育環境を維持するため、老朽化した木造保育園の改築を行うもの。</p>	改築済保育園数(園)		<p>令和2年度 ・波田中央保育園建設工事、工事監理、仮設園舎賃貸借、既存園舎解体工事、初度調弁 ・島内保育園未満児棟増築・改修工事、工事監理、外構工事、初度調弁</p>	<p>令和3年度 ・波田中央保育園外構・駐車場復旧工事</p>	<p>保育課</p>
	R1	R2			
	目標値	43			
実績値	42	43			
<p><小中学校大規模改修事業> 健全な学校施設環境を維持するため、老朽化した学校施設を大規模改修したもの。 屋根、床改修、外断熱、窓断熱、太陽光発電設備等の設計及び設置</p>	全体整備率(%)		<p>国の「インフラ長寿命化計画」の策定を受け、大規模改修事業から転換し、学校施設の延命のため構造体の耐久化やインフラ整備の更新を行う長寿命化改良事業に移行し、令和3年3月「松本市学校施設長寿命化計画」を策定した。</p>	<p>学校施設個別施設計画に沿って順次事業に着手していく。</p>	<p>学校教育課</p>
	R1	R2			
	目標値	52.3			
実績値	52.3	52.3			
<p><小中学校暖房機更新事業> 市内小中学校に設置されている暖房機について、暖房効率の上昇と、安全性の確保を目的として、計画的に更新していくもの。</p>	全体進捗率(%)		<p>令和2年度は、小学校2校、中学校1校で164台の暖房機の更新を行い安全確保を図った。</p>	<p>今後も、安全確保のため、設置後15年が経過した暖房機を計画的に更新していく。</p>	<p>学校教育課</p>
	R1	R2			
	目標値	62.4			
実績値	62.4	68.8			
5 グリーン購入の普及啓発を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><グリーン購入取組推進> 環境への負荷の小さい製品やサービスを優先的に購入することを推進する。 グリーン購入ネットワークに加入し、社会情勢(国の動向や商品情報等)の情報収集を実施する。 (2-1-4に同項目有)</p>	グリーン購入対象品購入率(%)		<p>昨年度に比べ、購入率が減少した。様々な消耗品や備品類を購入しているため、すべてをグリーン購入対象品目とすることが困難であるが、極力、対象品を購入するように促していく。</p>	<p>今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、進行管理の方法について検討していく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	80.4	62.0			

6 環境に配慮した事業者からの電力調達を推進する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><新電力導入事業> 電力調達にあたり、温室効果ガス排出量(CO₂)の削減効果の高い事業者による競争入札を実施することにより、環境への配慮と電気料の削減を図る。</p>	実施予定施設数		<p>環境への配慮の評価項目が一定以上の事業者による指名競争入札を行い、平成30年度18施設、令和元年度6施設に導入となり、電気料が大幅に削減された。令和3年度から中学校38校に導入する。</p>	<p>導入施設及び契約方法については、さらに検討する余地があるため、今後も引き続き、検証しながら、進めていく。</p>	契約管財課
	R1	R2			
	目標値	24			
実績値	24	24			
7 公共施設への太陽光発電、木質バイオマスボイラー等の再生可能エネルギー設備及び省エネルギー機器や監視システム等の導入を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><デマンド監視業務実施事業> 電気使用量ピークをカットして、温室効果ガス排出量(CO₂)の削減、及び経費(料金)の縮減を図るため、市の高圧受電施設へデマンド監視システムを計画的に設置するもの。</p>	削減電気使用量(%)		<p>デマンド監視システムを導入している施設では、導入前の平成25年度比で目標の10%を超える電気使用量を削減できた。</p>	<p>令和2年度に波田中央保育園にEMSを導入した。公共施設のエネルギー使用量削減を図るための運用改善策を検討していく。</p>	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	10			
実績値	13.7	13.3			
<p><保育園屋根・床・FF改修工事> 健全な保育環境を維持するため、老朽化した屋根・床・FF暖房機を改修するもの。</p>	改修工事のため目標値の設定は不相当		令和2年度・計画なし	<p>令和3年度 ・南松本保育園改修工事 令和4年度 ・さくら保育園改修工事</p>	保育課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><ペレットストーブ購入補助金> 木質ペレット燃料の普及により、林業の活性化を促すと共に、再生可能エネルギーである木質バイオマスの活用を進めるため、ペレットストーブ及びペレットボイラーを新たに導入する個人及び事業所に購入費の一部を補助するもの。</p>	ペレット使用量(トン)		<p>県への要望により令和元年度から補助台数が7台から12台へ増台となったが、令和2年度の申請件数は予定件数に達している。</p>	<p>令和元年度に増台した台数を減少しないよう県と連携を図り、当補助金を継続していく。</p>	森林環境課
	R1	R2			
	目標値	9.6			
実績値	9.6	9.6			
<p><宮渕浄化センター消化ガス発電設備建設事業> 地球温暖化防止及び省エネルギー対策の観点から、浄化センターの汚泥減容化の過程で発生している、消化ガスを燃料として発電し、購入電力量の削減を図る。 (3-3-11に同項目有)</p>	発電量(MWh)		<p>発電設備の不安定要因により、目標値をやや下回った。</p>	<p>目標値の発電量確保のため、より適切に安定した運転を行いたい。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	2,400			
実績値	2,330	2,370			
<p><両島浄化センター消化ガス発電設備建設事業> 地球温暖化防止及び省エネルギー対策の観点から、浄化センターの汚泥減容化の過程で発生している消化ガスを燃料として発電し、電力会社に売電することにより、経営改善を目指す。 (3-3-11に同項目有)</p>	発電量(MWh)		<p>目標を超える発電量となった。</p>	<p>目標値の発電量確保のため、より適切に安定した運転を行いたい。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	1,800			
実績値	1,940	1,930			

<p><太陽光発電設備設置事業></p> <p>平成21年度以降の大規模改造事業で地球温暖化対策及び環境教育のため太陽光発電を設置したが、当分の間、大規模改造または、新築等がない小中学校について、計画的に20kw規模の太陽光発電を設置していくもの。</p>	設置率(%)		<p>太陽光発電設備は平成28年度に全ての小中学校において設置が完了しており、平成29年度から全ての学校において、発電を行っている。</p>	<p>今後も環境教育への活用を図り、CO2削減による環境負荷低減を図る。</p>	<p>学校 教育課</p>	
		R1				R2
	目標値	100				100
実績値	100	100				
<p><木質バイオマス熱利用推進事業></p> <p>市施設にチップボイラーを導入するとともに、燃料供給体制を構築するもの。(1-1-10に同項目有)</p>	設置施設数(施設)		<p>令和2年度は民間事業者や他自治体の視察を受け入れるなど、市域での普及に向けた広報に取り組んだ。また、実施計画の際には、チップボイラー導入を検討している施設所管課に対して支援を実施した。</p>	<p>引き続き市有施設への導入の可能性を各施設所管課と共に研究していく。</p>	<p>環境・ 地域 エネルギー 課</p>	
		R1				R2
	目標値	0				0
実績値	0	0				
8 回収した廃食用油から精製したBDFをごみ収集車等に利用する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><廃食用油収集・資源化事業></p> <p>資源を大切にし、廃棄物となる廃食用油を再生利用することにより循環型社会の形成を推進し地球温暖化を防止する。</p> <p>回収した廃食用油をバイオディーゼル燃料に精製し、車両等の燃料として活用を図る。</p>	廃食用油回収量(t)		<p>エネルギーの地産地消を目指す事業で、今年度は目標値を達成できなかったが、実績値は昨年を上回った。</p>	<p>廃食用油を活用したパッカー車8台以上の運用を目指す。</p>	<p>環境 業務課</p>	
		R1				R2
	目標値	12,856				15,030
実績値	14,253	14,419				
9 小水力発電や地熱発電、木質バイオマス熱利用、温度差熱利用等、再生可能エネルギーの普及・啓発を進め、再生可能エネルギーの活用を検討する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><公共施設における地中熱の活用></p> <p>未利用自然エネルギーの活用を推進するため、市公共施設における地中熱ヒートポンプ導入の可能性について検討を行う。</p>	モデル的に実施する方向のため数値化することは困難		<p>市基幹博物館の建設工事が開始され、地中熱(地下水熱)利用設備の導入に向けた現場での検討が進められている。</p>	<p>令和2年2月に策定した松本市環境配慮型公共施設整備指針を踏まえ、ZEB化をはじめとした公共施設への導入を公共施設マネジメント課と連携しながら検討していく。</p>	<p>環境・ 地域 エネルギー 課</p>	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
<p><再生可能エネルギー地産地消推進計画策定事業></p> <p>地球温暖化対策実行計画の基本方針の一つ「再生可能エネルギーの利用促進」について、地域活性化を促し、災害時に活用できるよう導入を促す具体的な計画を定める。</p>	計画策定のため数値化することは困難		<p>平成28年度に再生可能エネルギー地産地消推進計画を策定した。計画に基づき、再生可能エネルギー導入支援事業補助金制度の創設や市施設へのチップボイラー等の導入に向けた検討を行った。</p>	<p>今年度の再生可能エネルギー地産地消推進計画の見直しに当たり、再生可能エネルギー導入に向けたより適切な施策の検討を行っていく。</p>	<p>環境・ 地域 エネルギー 課</p>	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
10 「松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画」の取組みを進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><木質バイオマス熱利用推進事業></p> <p>市施設にチップボイラーを導入するとともに、燃料供給体制を構築するもの。(1-1-7に同項目有)</p>	設置施設数(施設)		<p>令和2年度は民間事業者や他自治体の視察を受け入れるなど、市域での普及に向けた広報に取り組んだ。また、実施計画の際には、チップボイラー導入を検討している施設所管課に対して支援を実施した。</p>	<p>引き続き市有施設への導入の可能性を各施設所管課と共に研究していく。</p>	<p>環境・ 地域 エネルギー 課</p>	
		R1				R2
	目標値	0				0
実績値	0	0				

11 市民・事業者に温室効果ガス削減につながる取組みについて情報提供を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><長野県環境保全協会への協力> 環境保全に対する意識を高め、地球温暖化防止等の環境保全活動の支援を目的に活動する団体への協力により、市民の環境意識の高揚を図る。 (1-1-13に同項目有)</p>	相互の協力による環境関係事業の効果向上を図る目的のため数値化が困難		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部イベントを中止した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、地球温暖化防止活動推進員や長野県地球温暖化防止活動推進センターとの連携を深め、温暖化に対する普及啓発を実施する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
<p><こども向け環境基本計画ハンドブック作成事業> 松本市環境基本計画の推進にあたり、小学生として取り組むことができる事項を5つの柱ごと具体的に示したハンドブックを作成し、環境教育事業等に活用するもの。 こども向けに地球温暖化についての内容を記載している。 (2-1-10、3-1-8、4-1-5、5-1-17に同項目有)</p>	パンフレット配付数(部)		<p>市内の全小学4年生及びエコスクール等の参加者へハンドブックを配布することにより、幅広い環境分野への興味関心のきっかけ作りにつなげている。</p>	<p>配布を継続し、授業の副教材等として幅広く活用してもらえよう努める。 環境基本計画の改定に合わせて、内容を再検討するとともに、配布媒体の電子化を検討する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	2,500				2,500
実績値	2,500	2,500				
12 国、県、市等の助成制度について、積極的に情報発信をする。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><情報発信> ホームページ、広報まつもとを活用し、幅広い情報発信の実施する。</p>	国・県の情報については、その全てを発信するものではないため、数値化は困難		<p>住宅用温暖化対策設置補助金に関する市民や事業者からのお問合せの中で、市の制度と合わせて、県や国の制度についても紹介した。</p>	<p>市ホームページや広報まつもとのみならず、環境イベントや各種広告媒体を活用し、積極的に情報発信を行う。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
13 長野県地球温暖化防止活動推進員、信州省エネパトロール隊等、地球温暖化防止の取組みを行う組織等の活用の情報発信をする。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><長野県環境保全協会への協力> 環境保全に対する意識を高め、地球温暖化防止等の環境保全活動の支援を目的に活動する団体への協力により、市民の環境意識の高揚を図る。 (1-1-11に同項目有)</p>	相互の協力による環境関係事業の効果向上を図る目的のため数値化が困難		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部イベントを中止した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえつつ、地球温暖化防止活動推進員や長野県地球温暖化防止活動推進センターとの連携を深め、温暖化に対する普及啓発を実施する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
<p>事業者向けに国の補助金制度を活用する導入について支援する。</p>	利用者数(件)		<p>令和2年度は事業者からの申請がなかった。</p>	<p>事業者から申請に対する推薦依頼があった際は、再生可能エネルギーの導入が進むように支援をしていく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	実績値	事業者の申請によるものであるため、目標値の設定は不適當				
	0	0				

14 省エネアドバイザーの派遣の検討等を進め、家庭や事業所における省エネルギー推進事業に取り組む。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><アドバイザーの利用> 長野県地球温暖化防止推進センターが進めている「うちエコ診断」の活用を市民に促す。</p>	他団体が主催する事業の指標化は困難		<p>「うちエコ診断」の専用サイト内でweb簡易診断が可能であり、ここから診断士の訪問などによる詳細診断へつなげることができる。また、平成30年度から「うちエコキッズ」のサイトも開設されたため、環境教育の観点からも有効である。</p>	<p>市で行っている各種イベントなどで周知するなど、市民へ促す方法を検討していく。</p>	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
15 温室効果ガス削減の取組みを普及する人材を育成する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p>キャンドルナイトイベントにおけるエコライフトークで地球温暖化防止について講習会を開催。エコスクール(環境教育)事業講座において、「冬の節電」をテーマとした講座を開催。</p>	エコスクール講習会参加人数(人)		<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、美術館のキャンドル・ナイトは中止となった。エコスクールでは、ロケットストーブ製作講習会の中で省エネ化をはじめ、地球温暖化に関する講習を行った。</p>	<p>体験型イベントと座学を組み合わせることで、より多くの市民への普及啓発を行っていく。</p>	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	15 15			
実績値	16 18				
16 地球温暖化による影響が考えられる、自然災害、農作物被害、生態系への影響等について、調査し対応策を検討する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><地球温暖化の与える影響についての情報収集> 県が設置した「信州気候変動適応センター」と連携し対応策を検討する。</p>	地球温暖化の与える影響は不確定な要素が多いため数値化が困難		<p>県が設置した「信州気候変動適応センター」からの情報提供があった場合には、松本市の適応策に活かせるように情報の内容を精査する必要がある。</p>	<p>令和3年度に見直しを行う地球温暖化対策実行計画において、適応策を盛り込む。</p>	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
17 公用車への環境配慮車の導入を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><環境配慮車の導入> 共用車両の新規購入時に、環境に配慮した車両の購入を検討する。 (1-2-9に同項目有)</p>	供用車両の更新に応じて検討するため、指標の設定は不適當		<p>合併による行政区域の広域化や電気自動車が充電時間を要すること、新たに充電設備を設置する必要があること等から、現状の台数を維持した。</p>	<p>充電設備の設置場所を検討する。</p>	契約管財課
		R1 R2			
	目標値	共用車両の更新に応じて検討するため、目標値の設定は不適當			
実績値	— —				
18 町会が設置するLED防犯灯設置への補助を継続する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><防犯灯設置更新補助金交付> 要綱に基づき、申請、実績報告の審査、支払いを行う。 平成23年度からLED防犯灯の補助を拡充し、LED化を推進しているもの。</p>	LED化率(%)		<p>令和2年度は277灯のLED防犯灯が設置及び更新され、LED化率が0.4ポイント伸びた。</p>	<p>防犯灯電気使用料及びCO2削減等のためにも、引き続きLED防犯灯への切り替えを町会へ周知していく。</p>	地域づくり課
		R1 R2			
	目標値	100 100			
実績値	98.0 98.4				

19 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)に基づく届出事務> 一定規模以上の建築物について省エネ措置が義務づけられ、新築、増築、改築の際に省エネ措置に関する届出を所管行政庁が受領、審査し、その措置が不十分なときは指示、勧告、命令する。	届出件数(件)		建築物の省エネ措置が図られた。	適切な届出事務を継続する。	建築指導課	
		R1				R2
	目標値	届出に基づくものであるため、目標値の設定は不適當				
	実績値	63	50			
<商店街街路灯LED化事業補助金> 環境に配慮したLED化を支援するため、商店街が管理する街路灯をLED化する経費に対し補助するもの。	LED化商店街(件)		街路灯を管理する商店街のLED化率:95.8%	LED化事業実施の調査を行い、希望する商店街に対し支援していく。	商工課	
		R1				R2
	目標値	0				0
	実績値	0	0			

第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)

第2項 車優先社会からの転換

1 ノーマイカーデー運動・エコ通勤・カーシェアリングの取組みを推進する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
松本モビリティウィーク&カーフリーデーにおけるノーマイカー通勤統一実施に取り組むもの。	参加団体数及び参加者数		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業中止。	通勤時のノーマイカー運動は、一定の成果が得られたものとし、今後は、中心市街地での通過交通抑制により歩行者等を優先する空間を創出するとともに、人の回遊性を確保し、地元が主体となったまちの賑わいの創出につなげる。	交通ネットワーク課
	R1	R2			
	目標値	2,000人			
実績値	20団体 2,292人	0人			
2 パークアンドライド事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<パークアンドライド推進事業> 車優先社会からの転換を図り、公共交通の利用促進を図る。	利用台数(台)		・平田駅、新村駅 利用台数は前年度と比較し81%(平田駅)、68%(新村駅)と減少した。 ・大庭駅 利用台数は前年度と比較し120%と増加した。	平田駅及び新村駅の利用者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる。 同感染症終息後に向けて引続き利用促進の取組みを行う。	交通ネットワーク課
	R1	R2			
	目標値	63,382			
実績値	60,218	50,739			
<沢渡駐車場> 上高地に入山する市民・観光客のシャトルバス・タクシーの乗換基地としての駐車場の管理業務を行うもの。	利用台数(台)		観光客の入り込みは、天候、災害等の影響により、利用台数が大きく変動する。	計画的に改修工事を行う。	アルプスリゾート整備本部
	R1	R2			
	目標値	44,000			
実績値	47,172	29,976			
<乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会> 乗鞍岳を訪れる市民や観光客に対し、乗鞍岳の貴重な自然環境の保全のため、自動車利用の適正化を検討実施する。	各団体との協議会のため、指標の設定は不適當		三本滝から県境までの区間のマイカー規制実施に伴い、乗鞍駐車場の環境整備、安全パトロール、誘導員の配置、登山道の維持補修、植生保護事業等に取り組んだ。	乗鞍岳の自然環境を保全し、利用者の快適な環境と安全確保を図るため、事業を継続して行う。	アルプスリゾート整備本部
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<上高地自動車利用適正化連絡協議会> 上高地を訪れる市民や観光客に対し、上高地の貴重な自然環境の保全のため、自動車利用の適正化を検討実施する。	各団体との協議会のため、指標の設定は不適當		県道上高地公園線は、マイカー等の通行を禁止し、時期によっては観光バスの通行も禁止、また、沢渡地区の駐車場及び国道の混雑緩和のため、誘導員を配置する等に取り組んだ。	上高地の自然環境を保全し、利用者の快適な環境と安全確保を図るため、事業を継続して行う。	アルプスリゾート整備本部
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			

3 市街地循環バス事業を推進、支援する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<南部循環線運行事業> 市街地南部地域の移動手段を効率的に確保するために、民間事業者が運行する南部循環線の実証運行を実施。	南部循環線乗降者数(人)		新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減した。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	17,140 17,140			
実績値	17,937 12,812				
<タウンズニーカー運行事業> 市街地の移動手段を効率的に確保するためにタウンズニーカーを運行	タウンズニーカー線乗降者数(人)		新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減した。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	387,834 387,834			
実績値	381,051 224,773				
4 市民生活に必要な公共交通の運行を確保する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<西部地域コミュニティバス等運行事業> 交通空白地域の解消と効率的な市民の交通手段の確保をめざし、地域新交通システムの構築に取り組む。	西部地域コミュニティバス乗降者数(人)		新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減した。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	55,000 55,000			
実績値	60,246 51,538				
<市営バス運行事業(四賀地域)> 市民の交通手段を確保し、また福祉の増進を図るため市がバスを運行する。	利用者数(人)		今年度より四賀地域バスを廃止し、市営バスに統合した。ダイヤを改正するとともに、高校生の通学利用及び買い物利用のため明科駅までの便を増便し利便性の向上を図った。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	3,470 4,000			
実績値	2,008 3,952				
<市営バス運行事業(奈川地区)> 市民の交通手段を確保し、また福祉の増進を図るため市がバスを運行する。	利用者数(人)		新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が激減した。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	5,389 5,389			
実績値	5,169 3,803				
<公共交通維持・活性化支援事業(運行費補助・内田線)> 市民サービスに最低限必要な公共交通手段を確保するために、アルピコ交通㈱の一般生活バス路線で、見直し協議により公費負担によって維持することになった内田線について運行経費を補助。	収支率(%)		新型コロナウイルス感染症の影響により収支率は低下したが、利用者数が少なく廃止方針であった路線を維持しており、地区住民の足を確保できていると評価できる。	将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。	公共交通課
		R1 R2			
	目標値	30.0 30.0			
実績値	41.6 24.2				

<p><公共交通維持・活性化支援事業(運行費補助、空港・朝日線)></p> <p>アルピコ交通(株)の一般生活バス路線で、見直し協議により公費負担によって維持することになった空港・朝日線について運行経費を補助。(収支率が100%を超えている場合、補助は発生しない。)</p>	収支率(%)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により収支率は低下したが、利用者数が少なく廃止方針であった路線を維持しており、地区住民の足を確保できていると評価できる。</p>	<p>将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。</p>	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	30.0				30.0
実績値	上今井 72.5 下今井 124.9	上今井 30.6 下今井 53.6				
<p><公共交通維持・活性化支援事業(運行費補助・アルプス公園線)></p> <p>アルピコ交通(株)の一般生活バス路線で、見直し協議により公費負担により維持することになったアルプス公園線について運行経費を補助。</p>	収支率(%)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により収支率は低下したが、利用者数が少なく廃止方針であった路線を維持しており、地区住民の足を確保できていると評価できる。</p>	<p>将来にわたって持続可能な公共交通の実現のため公設民営化の具体的方針を研究する。</p>	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	30.0				30.0
実績値	71.9	42.5				
<p><白骨温泉線冬季バス運行事業補助金></p> <p>冬季間における住民及び観光客の交通手段を確保するため。下記の運行に伴う赤字額に補助するもの。(上限あり) 運行期間 毎年11月～4月 運行区間 新島々～鈴蘭～白骨温泉 運行回数 約640回(年度により変動) 平均乗車密度 約8.3人</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の減少に伴い利用者数も減少した。</p>	<p>一部旅館で送迎をはじめており、今後、当該路線の在り方を検討する。</p>	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	5,409				5,409
実績値	4,587	3,989				
5 公共交通の維持・改善に向けた計画の立案及び利用促進を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><鉄道軌道輸送対策事業補助></p> <p>アルピコ交通上高地線の老朽化した鉄道施設の大規模改修工事実施にあたり、国・県との協調補助と、更に市単独の上乗せ補助をするもの。</p>	利用者数(万人)		令和2年度は実施なし。	<p>安全な鉄道輸送を確保するため、大規模改修事業を計画的に実施する。</p>	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	160				160
実績値	175	112				
<p><地元調整事業></p> <p>空港の円滑な就航を図るため、長野県と連携して、空港周辺4地区との連絡調整を図る。</p>	地元・県等関係会議の開催		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により予定されていた会議の中止があった。</p>	<p>引き続き空港周辺4地区との連絡を密にし、空港の円滑な就航を図る。</p>	公共交通課	
		R1				R2
	実績値	11				7

<p><新規路線開設事業> 空港の新規路線を開設するため、まずは定期路線等の利用向上を図る。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により都市間の移動が制限されたため運休が発生し利用者数が激減した。</p>	<p>利用者の減少により航空会社が苦境に立たされているため、関係団体と連携する空路の確保に努める。</p>	公共 交通課	
		R1				R2
	目標値	11,788				8,194
	実績値	12,026	4,027			
<p><地域公共交通法定協議会> 地域の公共交通活性化・利用促進の場としている公共交通協議会が行う、地域の公共交通の利便性を向上させるための事業費を負担するもの。</p>	会議開催数(回)		<p>バスの乗り方教室、時刻表作成及び広報等による周知、啓発を実施。利用促進、利便性の向上を図った。</p>	<p>継続的な事業実施と新規事業の検討実施する。</p>	公共 交通課	
		R1				R2
	目標値	目標値の設定は不適当				
	実績値	3	4			
6 モビリティマネジメントを推進する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><駐車場基本計画策定> 駐車場の配置や施設量をコントロールし、マイカーの利用抑制やP&R、公共交通利用促進など、歩いて暮らせる魅力的なまちづくり、中心市街地活性化を実現するために施策検討する。</p>	計画策定業務のため、目標値の設定は不適当		<p>駐車場配置適正化条例を令和3年8月に施行し、特定路外駐車場の設置に際し、配置等基準を規定し、届出を開始した。</p>	<p>制度を運用し、駐車場配置の適正化を図るとともに、歩行者の移動上の利便性・安全性を確保し、まちの活性化を図る有効な土地利用を誘導する。</p>	都市 計画課	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			
7 地域主導型公共交通事業により、住民が行う移動手段確保の取組みを支援する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><地域主導型公共交通事業> 高齢者など移動手段を持たない方々の交通課題を解決するため、各地域等で自主運行する新しい交通システム導入に対する支援する。</p>	導入団体(団体)		<p>令和2年度は新たに「島内川東乗合タクシー運行事業」の運航を開始した。運行地区住民の足の確保に貢献している。</p>	<p>各地区で利用促進を図るよう働きかけるとともに、ニーズに合った路線となるよう、住民と一緒に検討していく。</p>	公共 交通課	
		R1				R2
	目標値	5				6
	実績値	5	6			
8 電気自動車充電施設の整備を進める。(完了項目)						
9 公用車への環境配慮車の導入を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><環境配慮車の導入> 共用車両の新規購入時に、環境に配慮した車両の購入を検討する。 (1-1-17に同項目有)</p>	供用車両の更新に応じて検討するため、指標の設定は不適当		<p>合併による行政区域の広域化や電気自動車が充電時間を要すること、新たに充電設備を設置する必要があること等から、現状の台数を維持した。</p>	<p>充電設備の設置場所を検討する。</p>	契約 管財課	
		R1				R2
	目標値	共用車両の更新に応じて検討するため、目標値の設定は不適当				
	実績値	—	—			
10 エコドライブの推進、アイドリング規制地域の指定等の検討を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><エコドライブの啓発> ホームページや広報誌で啓発を実施。 また、キャンドルナイトイベント時に啓発チラシを添付したポケットティッシュの配布や、新成人への配布物に啓発チラシを同封するもの。</p>	啓発業務であるため、目標値の設定は不適当		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により美術館のキャンドル・ナイトは中止となったり、チラシ配布等の啓発活動ができなかった。</p>	<p>引き続き啓発事業を実施し、エコドライブ等の推進に努める。</p>	環境・ 地域 エネルギー 課	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			

11 自転車レーンの設置及びネットワーク化の検討など、自転車を利用しやすい環境整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<すいすいたウン管理運営事業> 観光客の回遊性を高めるとともに中心市街地の活性化を図るため、自転車の無料貸し出しを実施する。	利用人員(人)		観光客を対象とした本事業はシェアサイクル事業に一本化するため、令和2年度をもって廃止。	観光客だけでなく、市民の交通の便として、シェアサイクル事業を推進	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値 8,000	8,000			
実績値	13,186	5,824			
<自転車レーン設置> 自転車の安全通行を促進するため、自転車レーンを設置し、カラー舗装を行うことにより、自転車の通行空間を整備するもの。	自転車事故件数(件)		令和2年度は延長なし。	自転車活用推進計画の通行空間整備事業に取り組んでいく。	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値 251	—			
実績値	201	150			
<自転車駐車場管理運営> 自転車等の秩序ある適正な駐車と安全管理を図るため、自転車駐車場(9施設:有料4・無料5)の管理運営を行う。(工事のため、H27.11より中条無料自転車駐車場休止中)(5-2-11に同項目有)	利用率(%)		令和2年度に松本駅周辺の有料自転車駐車場の駐輪システムとラックの整備改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。	引き続き、松本駅周辺の自転車駐車場整備を行い、適正な管理運営を促進していく。	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値 100.0	100.0			
実績値	82.4	73.1			
<自転車利用促進事業> 公共交通機関から乗り換えて目的地までの移動手段となるシェアサイクルを実施するもの。	利用回数(回)		利用回数の目標値は下回ったが、コロナ禍の中、前年と比較して24%の増となった。	新たな利用者を増やすため、周知活動を行い、更なる利用促進を図る。	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値 14,000	24,166			
実績値	18,678	23,092			
12 ゾーン30等、歩行者優先の安心して歩ける環境を整備する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<街なみ環境整備事業> 歩行空間の確保と景観に配慮した歩車共存の道路整備に合わせ透水性舗装を実施する。(5-3-6に同項目有)	透水性舗装延長(m)		透水性舗装は通常に比べ、施工単価が上昇するが、排水性など多くの効果が期待できるので、高質化にあたっては標準的な仕様としている。	令和2年度をもって完了した。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値 整備内容によるので目標値設定は不適当				
実績値	—	—			
13 段差の解消等、歩行者が歩きやすい環境整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<歩行空間あんしん事業(波打ち歩道改修、側溝蓋掛け、カラー舗装、点字ブロック設置)> 快適で歩きやすい歩行空間確保のため、波打ち歩道の改修を中心に、市民生活に直結した道路環境の整備を図るもの。	地元要望によるため、指標の設定は不適当		波打ち歩道の改修 151m	予算の範囲内で、地元要望を踏まえ、計画的に事業を継続していく。	建設課
	R1	R2			
	目標値 —	—			
実績値	—	—			

<p><交通安全施設等整備事業(交差点改良)> 事故の防止と交通の円滑化を図るため、道路形状等により危険性の高い交差点を改良するもの。</p>	道路整備に合わせて実施するため、指標の設定は不適當		交差点改良 2箇所	予算の範囲内で、地元要望を踏まえ、計画的に事業を継続していく。	建設課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
<p><交通安全施設等整備事業(交通安全施設整備、路肩整備)> 事故防止及び通行空間確保を図るため、交通安全施設(区画線、路面標示、防護柵、道路反射鏡、道路標識)の整備及び側溝への蓋掛け等の路肩整備を行うもの。</p>	地元要望によるため、指標の設定は不適當		・路肩整備 612m ・区画線 29,254m	予算の範囲内で、地元要望を踏まえ、計画的に事業を継続していく。	建設課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
14 渋滞解消のための道路改良、信号機の運用方法等を関係機関と協力して進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><都市計画道路の見直し> 既存道路ネットワークの有効利用を図り、効率的・効果的なみちづくりを行うために、都市計画道路の見直しを行うもの。</p>	都市計画道路の見直しのため、目標値の設定は不適當		中心市街地の道路網再設計として、交通量推計を行った。 交通需要に合わせた道路網を検討し、関係機関との協議を行った。	都市計画道路網の変更等の方針を確定し、関係機関や地元町会と協議のうえ、法定手続きを実施する。	交通ネットワーク課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	効果的、効率的な道路整備が図られる。	効果的、効率的な道路整備が図られる。			
<p><社会資本総合交付金道路事業(道路)> ・波田98号線 幹線道路の迂回路として増加する車両に対して、道路整備を行うことにより、歩行者の安全を確保できる。 ・市道7003号線(合庁南線) 中環状線の一部に位置づけられており、道路整備を行うことにより周辺道路の渋滞緩和と歩行者の安全確保を図る。</p>	道路等整備の交付金事業のため、指標の設定は不適當		現在、事業実施中のため、評価・検証することは困難である。	道路整備を進めていく。	建設課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
<p><社会資本総合交付金道路事業(橋りょう)> ・橋梁長寿命化 5m以上の永久橋梁480橋を調査し策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、定期点検及び補修工事を行う。</p>	橋梁補修の実施橋数(橋)		施設の点検・補修を評価することは困難である。	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、計画的に橋梁の点検・補修工事を進めていく。	建設課
		R1 R2			
	目標値	8 10			
実績値	3 10				
<p><都市計画道路の整備> 街路事業 ・(都)小池平田線整備事業 ・(都)中条白板線整備事業 ・(都)南松本駅石芝線整備事業 歩行者、自転車、車が共存し、安全・安心に暮らせるよう道路整備を行う。</p>	道路等整備の交付金事業のため、指標の設定は不適當		現在、事業実施中のため、評価・検証することは困難である。	道路整備を進めていく。	建設課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				

15 輸送方法の効率化を検討する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<低床・低公害バス導入補助> タクシー・バス交通事業者の導入費用負担軽減のための補助を検討する。	導入台数(台)		当該国の補助事業を活用する事業者が無い。	総合交通戦略における上下分離施策の検討の中で市単独補助等を検討し、低公害車への更新を推進する。	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	0				0
	実績値	0	0			
16 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<渋滞対策事業> 市街地の活性化、自動車利用の抑制、公共交通の利用促進を図るため、イベント時等における渋滞対策の実施と渋滞状況を調査する。	路線バス利用者(人)		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止。	市内及び近郊市町村の来街者も混雑の要因であると考え、更なる市民への広報・周知を強化し、来街者の郊外路線バス利用を推進し、市内への流入車両を抑制する。	公共交通課	
		R1				R2
	目標値	18,000				18,000
	実績値	17,380	0			
<総合都市交通計画の進捗管理> 総合都市交通計画の実現に向けてPDCAサイクルによる進捗管理を行う。	進捗管理であり、目標値の設定は不適當		都市計画マスタープランの中で進捗管理を行った。	「人と環境に優しい松本のまち、みち、くらしづくり」の目標達成に向けて、都市計画マスタープランの中で進捗管理を行う。	交通ネットワーク課	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			
<小学生自転車運転免許証交付事業> 小学生の自転車利用時の交通ルール・マナーを習得してもらうため、自転車運転免許テストを実施し、免許証を交付するもの。	小中学生の自転車事故件数(件/年次)(松本警察署管内)		令和2年度は、市内29校1,969人に本事業を実施した。 交通安全教室にあわせて「自転車交通安全テスト」や「自転車の安全な乗り方とルール」リーフレットを配布した。	自転車に乗り始める小学4年生を対象に本事業を実施し、正しい自転車の乗り方や法規等の基礎知識を身に付けて交通安全意識の高揚を図るために継続して行う。	自転車推進課	
		R1				R2
	目標値	26				—
	実績値	15	12			
<自転車運転ルール遵守・マナー向上街頭啓発事業> 自転車利用者のルール遵守とマナー向上に対する市民の関心が高まっていることから、自転車安全利用の推進(特に、自転車安全利用五則の周知徹底)を図るため、通勤・通学時間帯を中心に、職員が街頭に立ち、啓発活動を実施する。	自転車事故件数(件/年次)(松本警察署管内)		松本市内は依然として自転車関連の事故が多く発生しているため、高校生を中心に自転車利用者にマナー遵守と安全利用を呼びかける街頭啓発活動を警察や安全協会と協働し、定期的実施した。	自転車の安全利用啓発を警察、学校関係者の協力を得ながら登下校時間帯を中心に自転車利用の高校生を重点に置いて街頭啓発を行う。	自転車推進課	
		R1				R2
	目標値	251				—
	実績値	201	150			
<福祉100円バス助成事業> 高齢者等の日常生活利便の向上、生きがい、健康づくりに向けた交通手段の確保、公共施設及び公共交通機関の利用促進を図るため、市内のバス路線及び上高地線電車を1乗車100円で利用できるパス券を交付する。アルピコ交通等の交通事業者の協力の下に実施している。	年間利用者数(人)		事業者と負担割合の検討を行い、また、新型コロナウイルス感染症による減便に伴う契約の変更を行った。 利用者へは、パス券の適正利用の周知を行った。	利用者の利便性の向上や利用状況の詳細な把握を行うため、バス利用のデジタル化を検討する。	高齢福祉課	
		R1				R2
	目標値	622,000				622,000
	実績値	571,890	416,467			

<p><乗鞍高原周遊バス運行事業> トップシーズンの土・日・祝日に乗鞍高原を訪れた市民・観光客の散策のアシストになる高原内の見どころを結ぶ周遊バスを運行し、観光集客及び地域の活性化を図る。運賃は、1日フリー大人500円、小人250円</p>	利用人数(人/日)		<p>運行日が限られているため、利用者の利便性が図れない。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>	<p>アルピコタクシー(株)と連携してさらに利用の周知を検討する。</p>	<p>アルプスリゾート整備本部</p>
	R1	R2			
	目標値	41			
実績値	15.4	—			
<p><乗鞍春山バス事業> 乗鞍のスキー場が終了し、本格的なグリーンシーズンが始まるまでの入込客が減少する時期に、乗鞍岳の豊富な残雪を楽しむ春山スキーヤー等のため、バスを運行し、誘客促進と地域の活性化を図る。</p>	利用人数(人)		<p>冬季閉鎖中の道路での事業となっているため、関係機関への法令手続きを行った上事業を実施した。</p> <p>運行前にバスの試運転を行い、安全を確認した上で、運行開始日を決定した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>	<p>県道乗鞍岳線の早期除雪及び早期開通。</p>	<p>アルプスリゾート整備本部</p>
	R1	R2			
	目標値	7,500			
実績値	7,659	—			
<p><村井駅周辺整備> 交通結節点であるJR村井駅や周辺地域における交通利便性・快適性を高め、徒歩や自転車ですぐ自由に移動できる、安全で安心なまちづくりを実現するため、交通環境改善計画を策定する。</p>	計画策定業務のため、指標の設定は不相当		<p>地元役員による整備検討部会及び地元説明会を開催するとともに、JR東日本と施行協定を締結した。</p>	<p>関係者と協議をすることで、JR東日本と施行協定による自由通路及び半橋上駅舎建設を進める。また、駅前広場、自転車駐車場、周辺道路の整備を行う。</p>	<p>建設課</p>
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><中央東線・大糸線関係事務> 中央東線高速化促進広域期成同盟会(H19～)、大糸線利用促進輸送強化期成同盟会(S40～)及び篠ノ井線松本地域活性化協議会(H26～)の構成組織として、在来線機能の充実等を検討及び推進する。</p>	幹事会・総会の開催(回)		<p>各同盟会・協議会の会議に参加し、機能充実に向けた検討に取り組んだ。</p>	<p>昨年度同様、取組みを進めていく。</p>	<p>公共交通課</p>
	R1	R2			
	目標値	目標値の設定は不相当			
実績値	9	7			

第1の柱 かけがえのない地球環境に配慮するまち(地球環境)

第3項 松本市地球温暖化対策実行計画の推進

1 温室効果ガス排出量の数値を的確かつ継続的な数値を把握し、分析する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><市域からの温室効果ガス排出量算定業務> 温室効果ガス排出量の算定と検証を行い、地球温暖化対策実行計画の進行管理を行う。 ※国などが公表する各種統計資料から算定するが、すべての統計値を入手できるのが3年後となるため、実績値の最新値の算出は4年前の年度の数値となる。</p>	平成19年度比 温室効果ガス排出量(%)		<p>平成28年度と比較して減少したが、目標値には到達しなかった。この削減ペースでは、目標の最終年度(令和12年度)の△30%を達成することは困難と思われる。</p>	<p>令和4年度に改訂予定の地球温暖化対策実行計画において、温室効果ガスの削減を強化するための施策を検討していく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		H28				H29
	目標値	-11.7				-13.0
	実績値	-2.9	-7.6			
2 温室効果ガス排出量・削減効果等の見える化を図り、問題意識の共有・計画推進の啓発を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><環境管理推進業務> 全市施設に関わる全般的な省エネ対策の進行管理を行い、地球温暖化対策(温室効果ガス排出量の削減)を図る。 あわせて、長野県地球温暖化対策条例に基づく定期報告を実施する。 (1-1-2に同項目有)</p>	H22年度比 温室効果ガス排出量(%)		<p>温室効果ガスの排出状況は目標削減量を上回る結果となった。8月の平均気温が前年度より下がり、冷房の使用量が減少したことや、コロナ禍によるイベント等の中止などが要因の一つと考えられる。</p>	<p>今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、2050年までの削減目標を設定し、より一層温室効果ガスの排出削減に努める。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	-11.7				-13.0
	実績値	-20.5	-25.7			
<p><省エネ法業務> 省エネ法に基づく特定事業者として、全市施設を対象に、電気・燃料等の使用量の削減目標を定め、省エネの推進を図る。 また、同法に基づく定期報告を実施する。 (1-1-2に同項目有)</p>	前年度比 原油換算エネルギー使用量(%)		<p>前年度と比べて3.9%の削減となった。コロナ禍によるイベント等の中止で、エネルギー使用量が減少したと考えられる。</p>	<p>今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、2050年までの削減目標を設定し、より一層温室効果ガスの排出削減に努める。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	-1				-1
	実績値	-2.5	-3.9			
3 再生可能エネルギー利用の普及・省エネルギーの促進・交通環境整備・森林整備・ごみ減量・環境教育等、温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けた施策の展開を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><地球温暖化対策実行計画推進業務> 松本市温暖化対策実行計画を推進するため、各課の温暖化対策施策を毎年取りまとめ、適切に計画の進行管理を行う。</p>	個別施策実施達成率(%)		<p>達成率が99%となっており、未実施項目が1項目となっている。</p>	<p>未実施項目については、令和4年度に改訂予定の地球温暖化対策実行計画の新たな施策へ移行し、継続的に実施に向けた検討を進めていく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	99.0	99.0			

4 着実な計画推進のための管理体制を整備する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><地球温暖化対策実行計画推進業務> 平成23年度に策定した、松本市温暖化対策実行計画を推進するため、各課の温暖化対策施策を毎年取りまとめ、適切に計画の進行管理を行う。</p>	管理体制のため数値化は不適當		環境審議会に進行管理状況を報告し、意見を聴取した。	引き続き、環境審議会等へ進行管理状況を報告する。	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
5 現状分析により5年毎に計画を見直す。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><進捗状況の把握> 平成28年度に温暖化対策実行計画を策定した。 5年後となる令和2年度に向けた、計画の進捗状況把握に努める。</p>	今回の見直しはH32年度であるため、実績値はない。		—	今年度見直しを行う。	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
6 温暖化対策条例制定を検討する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p>県条例改正の経過及び内容を注視しながら他市の制度状況、条例の内容について調査する。</p>	検討事項であるため、目標値の設定は不適當		<p>県内各市町村において、独自の条例制定による計画書制度を導入している自治体はない。</p>	<p>計画書制度の国・県・県内各市町村の動向を注視する。</p>	環境・地域エネルギー課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				

第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち(循環型社会)

第1項 ごみ減量の推進

1 町会ごみステーションの設置補助を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<ごみステーション建設費補助事業> ごみの適正保管と美化及び地域の生活環境を保全するために、町会又は1週間に4日以上資源物集団回収を実施する団体が設置するごみ及び資源物の集積施設の整備費に対し助成するもの。	補助件数(件)		環境衛生協議会や地域づくりセンターのセンター長会、主事会等の機会を利用して周知してきた結果が出た。設置場所の土地の権利関係によって補助対象にならない場合や、建造物の設置自体ができないため、整備できない箇所がある。	環境衛生協議会や地域づくりセンターのセンター長会、主事会等の機会を利用して周知を図る。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	19			
実績値	11	17			
2 マイバッグ持参の取組みを進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<マイバッグ持参調査> ごみ減量を図るためマイバッグ(買い物袋)を持参し、不要なレジ袋の削減を図ることを目的に、マイバッグ持参調査を実施するもの。	持参率(%)		令和2年7月1日から始まったレジ袋有料化の効果が大きく、持参率が大幅に上がった。消費者が買い物をするうえで、マイバッグを持参する意識は、高まった。	目標は達成されたが、引き続き協力店舗において、持参率調査を継続実施していく。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	40			
実績値	46.6	77.8			
3 容器包装削減のために、スーパー等の事業者と協議の場を設け、実態把握、対策等を検討する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
マイバッグ持参調査の際、持参率向上のための対策を事業者と協議する。	持参率(%)		事業者(店舗)の持参率の調査結果を伝えることで、実態を把握できた。	引き続き持参率調査を行い、事業者と市で現状を把握したうえで、レジ袋削減に対する意識を高めていく。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	40.0			
実績値	46.6	77.8			
4 事務用品にグリーン購入製品を使用する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<グリーン購入取組推進> 環境への負荷の小さい製品やサービスを優先的に購入することを推進する。 グリーン購入ネットワークに加入し、社会情勢(国の動向や商品情報等)の情報収集を実施する。 (1-1-5に同項目有)	グリーン購入対象品購入率(%)		昨年度に比べ、購入率が減少した。様々な消耗品や備品類を購入しているため、すべてをグリーン購入対象品目とすることは困難であるが、極力、対象品を購入するように促していく。	今年度改定予定の松本市エコオフィスプランで、進捗管理の方法について検討していく。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	80.4	62.0			

5 「残さず食べよう！30・10運動」を中心に、食品ロス削減の取組みを推進する。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><食品ロス削減事業(家庭からの削減に向けた取組み)> 家庭における食品ロスを削減するため、おうちで「残さず食べよう！30・10運動」を展開するとともに、啓発用マグネット及びパンフレットを作成し、保育園、幼稚園での歯科栄養指導教室(年中児対象)等で配布する。また、松本大学と連携してもったいないクッキング「サンクスレシビ集」を作成、配布する。</p>	パンフレット配布数(部)		<p>コロナ禍でパンフレットを配布できる機会が少なかったものの、歯科栄養指導教室や出前講座等で配布し、市民への周知を行った。また、もったいないクッキング「サンクスレシビ集」から一部抜粋した小冊子を作成し、小学校環境教育や図書館、保健センター等で配布した。 市域で発生する食品ロスを計画的に削減していくため、「松本市食品ロス削減推進計画」を策定した。</p>	<p>パンフレットの配布を継続するとともに、市内食品小売店等と提携しもったいないクッキングレシビを配付する等、おうちで「残さず食べよう！30・10運動」をはじめとする家庭系食品ロス削減の取組みについての周知啓発を強化する。</p>	環境・地域エネルギー課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	3,500	3,500			
	3,500	2,000			
<p><「残さず食べよう！」推進店・事業所認定制度> 市内で食品ロス削減の取組みを行う飲食店、小売店、事業所等を認定する制度。事業者から排出されるごみ量の削減を目的に平成28年7月から実施。 認定した店舗、事業所等にはミニのぼり旗やコースター、ポスターなどの啓発品を配布。</p>	認定件数(店)		<p>広報誌や郵送等で制度の周知し、認定申請を促進した。 コロナ禍で、直接訪問しての申請促進はできなかったが、個別の郵送案内で申請件数が増加した。</p>	<p>引き続き事業の周知、広報、啓発を行っていく。 認定を受けた後も、各店舗、事業所等での啓発や行動につながるよう、定期的な情報共有等の機会をつくり、取組みを推進していく。</p>	環境・地域エネルギー課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	213	225			
	270	330			
<p><園児を対象とした参加型環境教育事業> 幼児期から、「もったいない」の気持ちを育み、環境に対する意識を高めるため、年長児童を対象に「ごみの分別と食べ残し」をテーマにした参加型環境教育を実施するもの。(2-1-10に同項目有)</p>	参加型環境教育に参加した園児の意識変化の割合(%)		<p>市立園43園、私立園9園の合計53園で環境教育を実施した。 環境教育での効果を持続させるために、再生紙で塗り絵を作成し、参加園児に配付した。 参加園児の半数及び保護者の半数に意識や行動の変化がみられた。</p>	<p>園児及び保護者に意識変化がみられていることから、継続して事業を実施する。 過去に作成した食品ロス削減啓発用教材の積極的な活用と当日の保護者参加を呼び掛けていく。</p>	環境・地域エネルギー課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	65	65			
	49.0	50.9			
<p><小学校環境教育事業> 食品ロスをテーマとした環境教育を行うことで、食べ物に対する「もったいない」意識の醸成を図るとともに、家庭への波及効果を狙うもの。また、環境教育を受けた後の子どもや親に意識や行動の変化の有無の調査を目的としている。</p>	小学生の意識変化の割合(%)		<p>市内小学校27校で3年生を対象に環境教育を実施した。参加児童の8割以上が環境教育について家庭で話題にし、児童の6割及び保護者の半数に意識や行動の変化がみられた。</p>	<p>児童及び保護者に意識変化がみられていることから、継続して事業を実施する。 内容の復習及び家庭での話題提起のため配付している冊子の電子化を検討する。</p>	環境・地域エネルギー課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	効果を明らかにすることが目的であるため目標値は非設定				
	63.3	62.1			
6 家庭系ごみの有料化について検討する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><資源物常設回収場所設置事業> 小紙片等紙類の資源化を重点的に実施し、ごみの減量化につなげるため、資源物(紙類)の常設回収場所を支所・出張所等に設置するもの。</p>	回収量(トン)		<p>年々出版物が減少傾向にあること、民間業者が設置している回収ボックスの利用が進んできているが、回収量は微増した。</p>	<p>各地区の環境衛生協議会、出前講座等で、紙類の資源化促進のための啓発活動に努め、ステーションでの回収量を増やす。</p>	環境業務課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	393	393			
	204	209			

7 排出事業者への指導、収集業者の展開検査を行い、事業系のごみ減量を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><一般廃棄物処理業許可業務></p> <p>一般廃棄物処理業の許可業務を行う。また、許可業者に対して可燃ごみ処理施設の搬入ピットにて、投入ごみの内容や従事者証の所持の有無等を検査する等、廃棄物の適正な収集、運搬、処分等を行うための指導を行う。</p>	申請に基づくものであるため、数値設定は不適當		<p>許可業者に対する展開検査を実施し、適切な廃棄物の持ち込みについて指導を実施した。</p> <p>一般廃棄物処理業者に加え、市内各種団体及び多量排出事業所等を訪問し状況確認・指導を実施したが、そこで働く従業員に、産業廃棄物と一般廃棄物の区別意識や区分(資源化できるもの)の意識が希薄である。</p>	<p>中核市への移行により、産業廃棄物処理業等の許可・監視指導業務が市に移管される。</p> <p>廃棄物対策課との連携により、許可業者及び多量排出事業所等への立入検査指導を強化し、可燃ごみへの資源物や産業廃棄物の混入を抑制し、事業系ごみの減量に努める。</p>	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><ecoオフィスまつもと認定事業></p> <p>第3次松本市環境基本計画の5つの柱ごとに定められている「事業者に望まれる取組み」を基にした取組み評価表を作成し、その評価点の合計に応じて、市がecoオフィスとして認定することで、環境基本計画を事業者の立場から推進し、特に現在課題となっている事業系ごみの減量化を推進する。</p>	新規認定事業所数(社)		<p>認定事業所数が伸び悩んでおり、事業所へのメリットの周知が不十分であることが原因と考えられる。</p> <p>優秀事業所3社を表彰した。</p>	<p>環境基本計画の改定内容に合わせ、取組項目の変更等を検討する。</p> <p>新規認定事業所を増やすために、積極的な広報の他、新たなメリットの創出を検討する。</p>	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	5			
実績値	3	3			
8 再生可能な紙類の松本クリーンセンターへの搬入を規制し、民間リサイクル事業者への搬入を促す。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><再生可能な紙類の搬入規制の周知徹底></p> <p>松本クリーンセンターへの再生可能な紙類の搬入規制を周知徹底するとともに、リサイクル可能な紙類の受入事業者の紹介を行う。</p>	一覧表配布数		<p>松本クリーンセンターへの再生可能な紙類の搬入規制を徹底するため、お知らせチラシを受付で配布したり、排出事業者に訪問や郵送して周知を行った。</p>	<p>引き続き松本クリーンセンターへの再生可能な紙類の搬入規制を徹底するため、お知らせチラシを受付で配布したり、リサイクルセンターへの持ち込みを強く指導していく。また、排出事業者への訪問等をし周知に努める。</p>	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	500			
実績値	600	600			
9 消費生活展等、再使用を進める場を提供する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p>松本市消費生活展で、不用品再利用の日用品を展示すること等により、資源の再使用の啓発活動を行う。</p>	消費生活展来場者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。</p>	<p>引き続き環境への意識を高めてもらうための啓発活動を行う。</p>	市民相談課
	R1	R2			
	目標値	5,000			
実績値	3,740	0			
<p><不用食器リサイクル事業></p> <p>埋立ごみの減量化及び資源化の推進並びに循環型社会に貢献するため、市民団体との協働で、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは、無料で配布するリユースを行い、その他のものは、新しい製品の原材料としてリサイクルを行うもの。(2-1-15に同項目有)</p>	資源化量(トン)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。</p>	<p>市民団体の負担も考慮しつつ、継続して開催できるよう、方法を検討する。</p>	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	16.6			
実績値	17.1	0.0			

<p><松本キッズ・リユースひろば事業> ごみの減量化と子育て世代への支援のために、家庭で使用しなくなった育児・子ども用品を市内26カ所で常時回収し、点検後の子ども用品を配付会において、希望者に無償で配付するもの。</p>	配付数(リユース数)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、配付方法を接触の少ない形に変更し、参加人数を制限したことで配付数が減少した。 回収量及び参加者数は安定しており、事業の定着がうかがえる。</p>	<p>参加者が固定されないよう、会場や事業周知の方法を検討し、継続していく。 回収対象外品の混入が目立つため、事業案内や掲示物で適正な分別を促す。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	25,200	25,200			
実績値	34,654	21,412			
10 分別方法について、わかりやすく広報する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><一般廃棄物処理計画推進業務> 環境への負荷をできる限り抑制し低減するため、ごみの減量、資源化及び適正な処理を推進するため計画を策定し、適切な計画の進行管理を行うもの。 (3-2-11に同項目有)</p>	1人1日あたりのごみ排出量(g)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が低調だったことにより、事業系可燃ごみが減少したが、一方、家庭系可燃ごみは2年連続で増加となった。総ごみ量は前年度よりも減少したが、目標値を達成することはできなかった。</p>	<p>処理計画に定めたごみ排出量の目標を達成できるよう、関係各課で連携を図り、ごみ減量及び資源化施策を推進していく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	996	980			
実績値	1,024	1,004			
<p><園児を対象とした参加型環境教育事業> 幼児期から、「もったいない」の気持ちを育み、環境に対する意識を高めるため、年長児童を対象に「ごみの分別と食べ残し」をテーマにした参加型環境教育を実施するもの。 (2-1-5に同項目有)</p>	参加型環境教育に参加した園児の意識変化の割合(%)		<p>市立園43園、私立園9園の合計53園で環境教育を実施した。 環境教育での効果を持続させるために、再生紙で塗り絵を作成し、参加園児に配付した。 参加園児の半数及び保護者の半数に意識や行動の変化がみられた。</p>	<p>園児及び保護者に意識変化がみられていることから、継続して事業を実施する。 過去に作成した食品ロス削減啓発用教材の積極的な活用と当日の保護者参加を呼び掛けていく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	65	65			
実績値	49.0	50.9			
<p><子ども向け環境基本計画ハンドブック作成事業> 松本市環境基本計画の推進にあたり、小学生として取り組むことができる事項を5つの柱ごと具体的に示したハンドブックを作成し、環境教育事業等に活用するもの。 子ども向けにごみ減量の必要性について記載している。 (1-1-11、3-1-8、4-1-5、5-1-16に同項目有)</p>	パンフレット配付数(部)		<p>市内の全小学4年生及びエコスクール等の参加者へハンドブックを配布することにより、幅広い環境分野への興味関心のきっかけ作りにつなげている。</p>	<p>配布を継続し、授業の副教材等として幅広く活用してもらえよう努める。 環境基本計画の改定に合わせて、内容を再検討するとともに、配布媒体の電子化を検討する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
	R1	R2			
	2,500	2,500			
実績値	2,500	2,500			
<p><ポイ捨て防止啓発事業> 市民の快適な生活環境を維持するために、不法投棄パトロール、及び不法投棄物の回収を実施する。</p>	不法投棄回収量(トン)		<p>河川改修により、河川堤防道路等へのポイ捨てが減少しているが、山間部道路沿いへの家電等不法投棄が増加している。</p>	<p>廃棄物の適正な排出への啓発事業の継続と関係機関との連携により、ポイ捨ての抑制に努める。</p>	<p>環境業務課</p>
	R1	R2			
	8	9			
実績値	8	9			

11 ごみ分別アドバイザーの育成、派遣事業を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<各種ごみ説明会・出前講座による啓発事業> ごみの分別指導は地区の衛生部長が中心になり実施しているが、不明な点や詳細についての質問等は、職員が出向き指導及び説明を行うなど連携して分別指導にあたる。	地区の要望によるもののため、指標の設定は不適當		各地区の環境衛生協議会や出前講座において、ごみの分別や削減方法などの指導を行い、ごみ削減の啓発を行った。 コロナ過のため、例年より出前講座は少なくなってしまった。	引き続き各地区の環境衛生協議会や出前講座を実施して、ごみ減量の啓発活動を推進していく。	環境業務課	
		R1				R2
	実績値	適正な分別指導が図られた。				適正な分別指導が図られた。
12 生ごみ堆肥化を奨励する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<ごみ減量機器購入費補助金> 一般家庭、店舗、事業所に対し、減量機器の設置を奨励して、ごみ減量及びごみ減量に対する市民意識の高揚を図る。 (2-1-13に同項目有)	補助件数(件) ※昭和61年度からの累計		申請件数が多く補助金が足りなくなり、申請を断らなければいけなかった。	引き続き市民への周知を図っていく。	環境業務課	
		R1				R2
	目標値	23,054				23,184
実績値	22,759	22,889				
<生ごみ堆肥化講習会> 生ごみのリサイクルを推進するために、公民館等においてダンボールを使った堆肥作りの講習会を実施し、ごみの減量とごみに対する市民意識の高揚を図るもの。	開催状況(回)		講習会受講者は、横ばいとなっている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、回数を減らしての開催とした。	講習会場を市内各地から選定し、多くの市民に受講をしてもらえるようにする。	環境業務課	
		R1				R2
	目標値	6				6
実績値	6	3				
13 生ごみの堆肥化・減量化のために、ごみ減量機器購入への助成を継続し、普及を促進する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<ごみ減量機器購入費補助金> 一般家庭、店舗、事業所に対し、減量機器の設置を奨励して、ごみ減量及びごみ減量に対する市民意識の高揚を図る。 (2-1-12に同項目有)	補助件数(件) ※昭和61年度からの累計		申請件数が多く補助金が足りなくなり、申請を断らなければいけなかった。	引き続き市民への周知を図っていく。	環境業務課	
		R1				R2
	目標値	23,054				23,184
実績値	22,759	22,889				
14 灰の資源化を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<灰資源化事業> 可燃ごみの焼却灰、集塵灰を資源化することにより、最終処分場周辺の環境負荷の低減及び最終処分場の延命化を図る。 (2-1-15に同項目有)	市内処分場灰理立量(トン)		前年度に引き続き、灰の資源化委託先等を複数確保してリスク分散を図り、安定した処理を行えている。 また、エコトピア山田の再整備に伴い、令和3年度から全量を外部委託する必要があることから、安定的かつ適正な処理先を確保できた。	リスク分散のため、灰全量を複数の民間事業者で適正に再資源化・最終処分する。	環境業務課	
		R1				R2
	目標値	7,300				7,300
実績値	5,750	5,661				

15 最終処分場エコトピア山田の施設延命化を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><不用食器リサイクル事業> 埋立ごみの減量化及び資源化の推進並びに循環型社会に貢献するため、市民団体との協働で、家庭で不用になった食器を回収し、状態の良いものは、無料で配布するリユースを行い、その他のものは、新しい製品の原材料としてリサイクルを行うもの。 (2-1-9に同項目有)</p>	資源化量(トン)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。</p>	<p>市民団体の負担も考慮しつつ、継続して開催できるよう、方法を検討する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>	
		R1				R2
	目標値	16.6				16.6
	実績値	17.1	0.0			
<p><エコトピア山田在り方検討> 最終処分場エコトピア山田の今後の在り方について検討を行う。</p>	全体の埋立可能残年数(年)		<p>再整備に係る全体基本計画を策定するとともに、廃棄物移設工事の設計を行った。この結果、新処分場の埋立容量と供用開始年度を変更とすることとした。計画上、令和3年3月31日をもって現処分場への廃棄物の埋め立てを終了した。</p>	<p>全体基本計画に基づき既存廃棄物の移設作業等、現埋立地を廃止するための手続きを進めるとともに、新処分場の建設準備のため、環境影響評価など必要な調査を実施し、令和9年度の新処分場の供用開始を目指す。</p>	<p>環境業務課</p>	
		R1				R2
	目標値	6				0
	実績値	6	0			
<p><灰資源化事業> 可燃ごみの焼却灰、集塵灰を資源化することにより、最終処分場周辺の環境負荷の低減及び最終処分場の延命化を図る。 (2-1-14に同項目有)</p>	市内処分場灰埋立量(トン)		<p>前年度に引き続き、灰の資源化委託先等を複数確保してリスク分散を図り、安定した処理を行っている。 また、エコトピア山田の再整備に伴い、令和3年度から全量を外部委託する必要があることから、安定的かつ適正な処理先を確保できた。</p>	<p>リスク分散のため、灰全量を複数の民間事業者で適正に再資源化・最終処分する。</p>	<p>環境業務課</p>	
		R1				R2
	目標値	7,300				7,300
	実績値	5,750	5,661			
<p><埋立ごみ処分事業> エコトピア山田の再整備に伴う埋立ごみの全量外部委託を見据え、安定的かつ適正な処理先を確保するとともに、一部の埋立ごみを民間事業者で最終処分し、市内最終処分場の延命化を図る。</p>	市内処分場埋立ごみ埋立量(トン)		<p>エコトピア山田の再整備に伴い、令和3年度から全量を外部委託する必要があることから、安定的かつ適正な処理先を確保できた。</p>	<p>埋立ごみ全量を民間事業者で適正に最終処分する。</p>	<p>環境業務課</p>	
		R1				R2
	目標値	-				1,044
	実績値	-	986			
16 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><松本市消費者の会団体育成事業補助金> 消費生活に関する調査・研究及び松本市消費生活展での発表並びに資源の有効利用、リサイクルの推進等を行う消費者団体を育成したもの。</p>	年間活動回数(回)		<p>会員の高齢化により、松本市消費者の会は、令和2年3月をもって閉会したため、会への育成事業補助は令和元年度で終了した。</p>	<p>—</p>	<p>市民相談課</p>	
		R1				R2
	目標値	140				—
	実績値	110	—			
<p><ごみ減量対策事業> 廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化によるごみ減量を進めるとともに、資源物を出しやすい環境を整備し、資源物回収を実施する。 1 松本市リサイクルセンター 2 紙類常設回収場所 32箇所 3 集団回収</p>	リサイクル率(%)		<p>年々出版物が減少傾向にあること、民間業者が設置している回収ボックスの利用が進んでいるなどの理由で、ごみステーションでの資源物回収量が減少している。</p>	<p>市広報紙や、各地区の環境衛生協議会、出前講座等で、紙類等の資源化促進のための啓発活動に努め、ステーションに出せば町会に支払われる資源物収集助成金が、増えることを周知し、ステーションでの回収量を増やす。</p>	<p>環境業務課</p>	
		R1				R2
	目標値	12.0				12.0
	実績値	10.6	10.1			

<p><資源物収集助成金> リサイクルを推進するため、町会及び資源物回収を自主事業として実施する団体(福祉施設、PTA等)に対し回収量に応じて助成するもの。</p>	リサイクル率(%)		<p>年々出版物が減少傾向にあること、民間業者が設置している回収ボックスの利用が進んでいるなどの理由で、回収量が減少している。</p>	<p>市広報紙や、各地区の環境衛生協議会、出前講座等で、紙類等の資源化促進のための啓発活動に努め、資源物回収を自主事業として実施する団体(町会、福祉施設、PTA等)の回収量が増えるように努める。</p>	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	12.0			
実績値	10.6	10.1			
<p><長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定事務> 優良な長期使用住宅の普及を促進し環境負荷の軽減を図るため、建築主からの申請により所管行政庁が長期優良住宅の建築、維持保全に関する計画を認定し、計画に沿って建築されないときは改善措置を命じる。</p>	認定件数(件)		<p>優良な長期使用住宅の建築が図られた。</p>	<p>適切な認定事務を継続する。</p>	建築指導課
	R1	R2			
	目標値	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不適當			
実績値	290	248			
<p><建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令に基づく届出事務> 特定建築資材を用いた一定規模以上の建設工事の分別解体、再資源化が義務づけられ、解体工事に関する届出を市長が受理、審査し、基準に適合しないときは計画変更等必要措置を命じる。(3-2-11に同項目有)</p>	届出件数(件)		<p>建築資材の分別解体、再資源化が図られた。</p>	<p>適切な届出事務を継続する。</p>	建築指導課
	R1	R2			
	目標値	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不適當			
実績値	630	630			
<p><剪定枝等資源化事業> ごみ減量化及び資源化の推進を図るため、公共施設等から排出される剪定枝等について、従来は松本クリーンセンターにおいて焼却処分されていたものをチップ化し、バイオマス発電の燃料及びセメントの原料として活用する。</p>	再資源化量(トン)		<p>松くい虫の被害木を持ち込まなくなったため搬入量が減った。</p>	<p>引き続き資源化へ向けた取り組みを行う。</p>	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	970			
実績値	972	738			

第2の柱 環境への負荷が少なく、資源が循環するまち(循環型社会)

第2項 農林業の推進

1 農業振興地域整備計画を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<農業振興地域整備計画管理事業> 本市の農業振興を目的として、農業振興地域整備計画の変更、見直し等の調査、協議等を実施する。	農振農用地面積 (ha)		年2回、経済事情の変動等で生じる農振農用地からの除外・編入申出の受付を行い、営農環境の保全等に留意した適切な案件であるか農業委員会等から意見聴取し、変更計画を策定した。結果として、目標値を上回る農振農用地面積を確保できた。	引き続き農振農用地からの除外及び編入等の個々の案件に対し、適切に対応する。	農政課
	目標値	R1: 7,522 / R2: 7,522			
	実績値	R1: 7,524 / R2: 7,524			
2 化学合成農薬、化学肥料の使用量を低減した、環境への負荷が少ない農業を進める。(完了項目)					
3 農業の担い手を確保する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<中山間地域等直接支払交付金> 中山間地域等直接支払交付金の交付について、農家の指導、県への申請事務を行う。	対象面積 (ha)		各集落協定面積の維持が出来ている。また、耕作が出来ない場合でも維持管理に努め、耕作放棄地発生が防止されている。 担い手不足・協定参加者の高齢化・減少が課題となっている。	協定面積の維持管理、耕作放棄地発生防止等、継続して行う。さらに、集落戦略の作成を推進し、集落の将来像を明確にする。	農政課
	目標値	R1: 242 / R2: 242			
	実績値	R1: 242 / R2: 242			
<新規就農者育成対策事業> 農業に新規参入しようとする方を確保・育成し、地域に定着させるため、研修農地の確保、農業機械の貸与、営農指導、営農生活支援資金の支給等を行う。(1期3年間実施)	研修生数(人)		これまでの対面によるPR活動に加え、オンラインによるPR及びホームページでの募集を実施した。 地域が主体となって受入れ体制を構築しつつあるところも出てきている。	農家の後継者不足が進んでおり、農業・農村を維持するためには、地道で継続的な活動が必須である。 引き続き、新規就農者獲得のためのチャンネルを広げ、就農や移住の決め手となる事業を一つひとつ丁寧に実施する。	農政課
	目標値	R1: 8 / R2: 8			
	実績値	R1: 7 / R2: 8			
<のんびりプチ農業事業> 地域課題の解決と誰でも農業に触れ、誰でも農業収入を得る生きがいの仕組みづくりを目指し、農作物の栽培及び販売を目指す方を対象に、数回の講義と栽培環境の提供を行う。	受講生(人)		高齢化による小規模農地活用対策と農業収入を得る生きがいの対策として実施しましたが、農業収入を得るまでの参加者の希望が薄く、市民農園と変わらない利用となってしまうことが課題となった。	計画内容の見直しをする。	農政課
	目標値	R1: 5 / R2: 5			
	実績値	R1: 10 / R2: 7			
<地域営農リーダー育成塾> 地域のリーダーとなる農業者の育成を図るため、月1回の研修会と農業先進地視察等を行う。	卒業する割合(%)		現在までに194名が卒業し、地域の農業を牽引していることから、塾の活動の有効性が保証されているといえる。	令和3年3月に第11期生が卒業した。引き続き地域のリーダーとなる人材の育成のため、開塾に向けた見直しを図る。また、卒業生がそれぞれの地域で活躍することを目的とした活動を続けていく。	農政課
	目標値	R1: / R2: /			
	実績値	1期3年のため3年ごとの実績となる。 / 1期3年のため3年ごとの実績となる。			

<p><農業後継者組織育成強化事業補助金> 農業後継者組織として会員相互の親睦を図り、各種事業や研修会等を行うとともに、新しい農業経営者としての責務を自覚し、自主農業経営の確立を図り、他団体と連絡協調しあって地域農業の発展に寄与するもの。</p>	加入者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛など、思うような事業ができなかった。 令和2年10月は保育園32園、11月には保育園23園にて、食材提供・食材を紹介するポスターの配布を行い食育活動を実施した。</p>	<p>食育・直売事業は活動に工夫を加えた形での継続を目指すとともに、新たな取り組みも実施する。 他団体、地域の若手農家、また新規就農者をターゲットに勧誘活動を行い、会員数増加を目指し、更なる地域農業の発展を図る。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	56			
	実績値	54	51		
<p><地域中核的指導者育成事業補助金> 中核的農業指導者の確保・育成のため、松本市農業士会に対し活動費補助をする。</p>	会員数(人)		<p>農業士(県事業)の減少に伴い会員数は減少傾向にある。 マルシェの開催を通じて、三の丸クラブ等他団体との交流を積極的に行うと共に、地場農産物のPRに努めた。</p>	<p>新しい農業経営者協議会との差別化を図るとともに、地域の中核的農業指導者として、地域農業の発展に資する活動に対して補助金を交付し支援する。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	23			
	実績値	18	17		
<p><新規就農者支援事業補助金> 就農直後で経営が不安定な新規就農者に対し、経営改善に必要な機械等の取得を支援し、新規就農者の確保・育成を図る。</p>	新規就農者支援事業対象者数(人)		<p>新規就農者の機械及び設備の取得を補助し、経営改善のための支援を行った。</p>	<p>農家の後継者不足が進んでおり、農業・農村を維持するため、本事業により担い手を支援していく。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	6			
	実績値	5	6		
<p><農業人材力強化総合支援事業> 青年の就農意欲の喚起及び就農後の定着を図るため、就農直後で経営が不安定な青年新規就農者に対し資金を交付する。(農業次世代人材投資資金)</p>	交付件数(件)		<p>交付希望者に対し、交付要件の説明を十分に行うよう努めた。 国が定める交付要件が年々厳しくなっており、新規採択が難しくなっている。</p>	<p>引き続き交付希望者に対し、交付要件の説明を十分に行い、就農直後で経営が不安定な青年農業者の経営の確立を図る。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	36			
	実績値	35	38		
<p><新規就農者技術習得管理施設> 農業者の技術及び知識の向上を図り、農業従事者を確保する。</p>	利用率(%)		<p>利用者は奈川地区へ就農する要件となっていることから、目標達成できない理由となっている。</p>	<p>利用要件等に鑑み、今後の施設のあり方について検討する。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	50	50		
4 エコファーマー、有機農業への支援を行う。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><環境保全型農業直接支払事業> 有機農業者やエコファーマーなど、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援する。</p>	事業対象面積(ha)		<p>交付対象取組者が減少した。</p>	<p>新たに取組みを行う事業主体の掘り起こしのために、県や関係市町村と連携し制度のPR、研修会への参加を推進する。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	40			
	実績値	26	31		
<p><四賀地域資源利活用施設管理事業> 循環型社会構築の一環として、有機農産物を使用した製品開発、農産物加工品の販売等により、地域の活性化を図る。</p>	利用率(%)		<p>通年施設使用者のPR活動により、地域資源を活用した拠点施設として認知されている。</p>	<p>引き続き施設で提供する農産物加工品について、地元産原料の利用拡大を図る。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	100	100		

<p><四賀地域食材供給施設管理事業> 循環型社会構築の一環として、有機農産物を使用した製品開発、農産物加工品の販売等により、地域の活性化を図る。</p>	利用率(%)		<p>施設使用者による積極的なPRにより、利用者数も好調である。</p>	<p>引き続き施設で提供する農産物加工品について、地元産原料の利用拡大を図る。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	100	100			
<p><四賀有機センター管理> 畜産農家などから排出される畜産厩肥を良質な有機堆肥にリサイクルし、長年多用してきた化学肥料の施用により悪化した土壌改良、地力増進と有機農業の活性化を図る。</p>	販売額(千円)		<p>事業継続する中で、施設の維持経費及び施設の劣化進行による修繕費が増大し、加えて堆肥売上の不振も重なり、収支赤字の改善が見込めない状況において、市として今後施設を廃止する方針を打ち出した。</p>	<p>施設の廃止時期は搬入業者の畜糞処理体制が整い次第とする(遅くとも令和5年度末に搬入を終了)が、速やかな体制整備ができるよう市として支援していく。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	10,550				10,550
	実績値	5,711	6,073			
5 転作や市民農園、農業教育の場としての活用、牧場、牧草地への転換等により、遊休荒廃農地を減少させる。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><市民農園事業> 野菜及び花等の栽培による農業体験を通じ、自然に親しむとともに農業に対する理解を深めることにより農村地域の活性化を図った。</p>	利用率(%)		<p>PR及び募集に努め、目標である利用率100%を達成できた。 使用に関してのトラブルが多少あったが、年々減少している。</p>	<p>募集と使用方法の周知を徹底し、利用率100%を維持していく。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	98	100			
<p><健康生きがい市民農園事業> 高齢者等の健康づくり及び生きがい作りを図るため開設した市民農園で野菜等の栽培指導を行った。</p>	栽培指導会参加者数(人)		<p>栽培指導の周知を継続した。 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者が前年度より減少。また、開催日が悪天候だと参加者が減る傾向にある。</p>	<p>参加者からは好評であるため、周知方法を工夫し継続していく。 また、コロナ禍の中でも感染症対策を取り、利用者の増加を目指す。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	114				108
	実績値	38	23			
<p><梓川やまと農園> 野菜及び花等の栽培による農業体験を通じ、自然に親しむとともに農業に対する理解を深めることにより農村地域の活性化を図る。 ・17区画</p>	利用率(%)		<p>PR及び募集に努め、利用率100%を達成できた。</p>	<p>引き続きPR及び募集に努め、利用率100%を維持していきたい。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	100	100			
<p><波田ふれあい農園> 野菜及び花等の栽培による農業体験を通じ、自然に親しむとともに農業に対する理解を深めることにより農村地域の活性化を図る。 ・波多農園・・・18区画 ・町道農園・・・28区画 ・島農園・・・28区画</p>	利用率(%)		<p>PR及び募集に努め、目標である利用率100%を達成できた。</p>	<p>引き続きPR及び募集に努め、利用率100%を維持していきたい。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	99	100			
<p><内田地区簡易オートキャンプ設備付き農園> 遊休荒廃農地を市民農園として整備し、都市部住民に利用していただくことにより、農村地域の活性化を図った。</p>	利用率(%)		<p>募集に努め、空き区画の解消に取り組んだため、利用者が増加し、概ね契約している状態であった。</p>	<p>内田地区農園ならではの設備がついていることを周知、アピールし、目標を達成する。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	71	94			

<p><遊休荒廃農地対策事業補助金> 農地の新規取得者、利用権設定者及び営農集団等が行う農振農用地区域外の緊急的な耕作放棄地の再生及び有効利用に要する経費に対し一定額の補助を行う。</p>	事業による再生面積(a)		<p>区画整理されている荒廃農地の発生は抑制されている。しかし、区画整理されていない不形成で小規模の農地は、担い手がなく荒廃してしまうことが懸念される。</p>	<p>不形成、小規模の農地でも耕作する担い手の確保など農業者を確保する。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	200			
実績値	288	195			
<p><クラインガルテン関連施設管理> 遊休農地の有効活用、住民等の福祉の増進、都市と農村の交流を図る。</p>	利用率(%)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響等があり利用率100%は達成できなかったが、積極的なPRを展開して募集に努め、空き区画の解消に取り組んだ。</p>	<p>有機栽培による作物栽培など、他施設との違いを引き続き積極的にPRをしていく。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	100	98			
<p><奈川クラインガルテン関連施設管理事業> 遊休農地の有効活用と豊かな自然、風土を守り市民等の福祉の増進を図る。</p>	利用率(%)		<p>近隣に類似施設が増えたため、応募者が減少している。SNSなどにより施設内容など周知を図る。</p>	<p>空き区画を解消するため、継続的な周知活動により積極的な利活用に努める。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	97	98			
<p><赤田沢牧場> 市が牧場用地を国から借受け、(有)山岳牧畜研究会へ貸出しを行っているもの。(高品質な乳製品等の加工、ブラウンスイス種を広大な草地で放牧飼育できる場所の提供及び農林業、観光振興・荒廃地の防止策として)</p>	飼育頭数(頭)		<p>飼育頭数の目標値は、目安として設定しており、高品質な乳製品(牛乳、チーズ、ヨーグルト等)の製造を主体としているため、牛の環境を考慮した頭数を維持している。</p>	<p>頭数の多少の増減はあるものの、観光振興に寄与しておまわり、また牧場の荒廃は進まず、良好な状況が保たれているため、事業を継続していく。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	35			
実績値	20	15			
6 農地の流動化を促進する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><土地利用型経営規模拡大奨励金> 農地の流動化を促すため、期間が1年以上の利用権設定により農地を借受けた、市内に住所を有する認定農業者へ交付金を交付する。</p>	認定農業者への集積率(%)		<p>認定農業者への集積率が上昇していることから、農地集積・集約化において一定の成果が上がっていると考えられる。</p>	<p>認定農業者数の増加に伴い、交付額も増え続けているため、単価等、制度の見直しを行う。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	55			
実績値	51	54			
<p><未来を担う農業経営者支援事業> 認定農業者等に農地の利用集積を進めるため、経営規模拡大に必要な高性能農業機械等の取得費用を補助する。</p>	認定農業者数(経営体)		<p>農業経営改善計画書の新規及び更新手続きの際や、広報等を活用して事業周知に努めた結果、多くの事業実施並びに認定農業者の増加につながった。 今後もきめ細やかな対応に努め、地域の担い手である認定農業者の増加につなげる必要がある。</p>	<p>引き続き認定農業者へ広報を展開し、規模拡大を行う認定農業者及び女性農業者を補助することにより、次世代の担い手の育成を図る。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	525			
実績値	533	544			
<p><担い手への農地集積推進事業費補助金> 地域の中心となる経営体に農地を集積するため、協力者(農地提供者)に協力金を交付する。</p>	交付件数(件)		<p>農地集積を促進し、農業の担い手や後継者不足の解消に向けた重要な施策であると考えられる。</p>	<p>数年ごとに制度の見直し・変更が行われてきているため、今後も国の動向に留意しながら、事業の周知とさらなる担い手への農地の集約化を図る。</p>	農政課
	R1	R2			
	目標値	個人申請に基づくため目標設定は不相当			
実績値	45	27			

7 学校給食での地元産農産物の使用を増やす。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><地産地消・食育推進事業> 子ども達への食農体験の提供と学校給食の地元産農産物使用率向上支援を行うもの。</p>	食農体験延べ人数(人)		<p>食農体験や地元産農産物を取り入れた給食の提供により、子ども達の農業に対する関心や理解が深まってきていると考えられる。</p>	<p>引き続き食農体験を実施すると共に、学校給食での地元産農産物の使用を増やすため、関係機関のマッチング、作付け、生育状況等の情報共有を図る。</p>	農政課	
		R1				R2
	目標値	10,600				15,000
実績値	15,178	7,500				
8 公共建築物等の新築・改築時には、地域材の利用を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p>「松本市の公共建築物・公共土木工事等における地域材利用方針」に基づく地域材利用を進めるため、関係課による庁内連絡会議を開催する。</p>	会議回数(回)		<p>令和2年度は担当者を集めた会議は行わず、関係課へ実績と今後の新築・改築予定の照会を行い、その内容をもとに個別に情報提供を行った。</p>	<p>引き続き庁内の木材利用の啓発と実績の検証を行い、必要に応じて会議を実施する。</p>	森林環境課	
		R1				R2
	目標値	1				0
実績値	1	0				
9 松本市森林整備計画と森林施業計画による適正な森林整備を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><森林整備地域活動支援交付金> 森林経営計画の作成促進を図るもの。森林情報の収集、森林経営計画作成に係る合意形成。</p>	集約面積(ha)		<p>林業事業者が新経営計画作成に係る合意形成を行うための事業であるが、実施後の事後条件のハードルが高いため、実施する事業者が減少。</p>	<p>市で林業事業者に支援金の嵩上げ補助を交付し、合意形成の拡大を図る。</p>	森林環境課	
		R1				R2
	目標値	0				0
実績値	0	0				
<p><里山再生事業> 森林組合が実施した更新伐関連事業で県の補助金を受けた事業に対し、嵩上げ補助金を交付。</p>	更新伐面積(ha)		<p>被害が急速しており、更新伐事業から他事業のシフト化が図られている。</p>	<p>微害地での更新伐事業が実施できるよう林業事業者や各地区の松くい虫対策協議会と協議を行う。</p>	森林環境課	
		R1				R2
	目標値	26				12
実績値	19	8				
10 健全な森林育成のために、間伐等の森林施業を計画的に行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><森林造成事業> 森林の有する多面的機能維持のため、市有林の保育事業(間伐等)を行うもの。</p>	搬出間伐面積(ha)		<p>松本市森林整備計画及び森林経営計画に基づき、計画的に森林整備を実施していく必要がある。</p>	<p>伐期を迎えているカラマツ林の主伐を実施し、新たに植栽をしていく。</p>	森林環境課	
		R1				R2
	目標値	17				13
実績値	14	3				
<p><森林造成事業補助金> 森林組合、個人、財産区等が実施した森林整備事業で県の補助金を受けた事業に対し、嵩上げ補助金を交付する。</p>	搬出間伐面積(ha)		<p>森林所有者の面的な合意形成が困難である。</p>	<p>市で林業事業者に補助金の嵩上げ補助を交付し、合意形成の拡大を図る。</p>	森林環境課	
		R1				R2
	目標値	104				153
実績値	70	52				

11 間伐材の有効活用のために、活用方法の研究や流通システムの整備を進める。(未実施項目)					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
今後実施できるよう検討中					森林環境課
		R1 R2			
	目標値				
実績値					
12 松くい虫の被害拡大防止のため、被害木の伐採・薬剤処理を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
＜松くい虫予防事業＞ 松くい虫被害のまん延を防止するため、被害木の伐倒駆除を行う。	被害木の駆除率(%)		伐倒駆除、更新伐等対策を組み合わせ実施しているが、被害を食い止めるには至っていない。	被害先端地に集中して被害対策を行い、被害まん延防止に努める。	森林環境課
		R1 R2			
	目標値	100 100			
実績値	99 100				
13 効率的に伐採等を行うため、林道・作業道の整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
＜林道開設及び改良＞ 森林の有する多面的機能を十分に発揮させるために、林道網を整備して、効率的な森林施業を行った。 ・林道美ヶ原線改良 ・林道奈川安曇線改良 ・林道湯ノ原線改良 ・林道高速線開設	森林利用区域面積(ha)		国庫補助金の内示の範囲内で、実施計画に基づき事業実施している。	国庫補助金の確保に努め、事業進捗を図る。	森林環境課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
＜林道維持管理、単独林道整備事業＞ 安全な道路状態を確保するため、林道の補修及び整備をしたもの。	林道事故件数(件)		通行車両の安全が確保できた。	引き続き安全管理に努める。	森林環境課
		R1 R2			
	目標値	0 0			
実績値	0 0				
14 水源かん養、土砂流出防止等の公益的機能を維持増進するために保安林の指定を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
森林の有する水源かん養、山地災害の防止、生活環境の保全・形成等に重要な役割を果たしている森林を保安林として指定し、公益的機能を達成する。	公益的機能のため、目標値の設定はできない		事業対象地の保安林指定について、地権者と協議して進めている。	事業主体である県と、地権者の調整役を務める。	森林環境課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
15 その他					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
＜松本農林業まつり＞ 「安全」「安心」な地場農畜林産物の消費拡大と、地産地消の市民への理解および観光農業の推進を目的とする。あわせて農林業の多面的な機能についてPRを推進する。	農畜林産物消費宣伝来場者数(人)		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。コロナ時代における事業のあり方や、より効果的な事業内容について検討が必要である。	今後の農林業まつりのあり方について具体的な検討を進める。	農政課
		R1 R2			
	目標値	4,000 4,000			
実績値	4,815 0				

<p><地産地消推進会議> 地域内で生産される安全・安心・新鮮な農畜産物の地域内での消費を拡大するため、生産、流通、加工、小売等を通じて継続的かつ良好な経済活動による施策に取り組む。</p>	会議回数(回)		生産者、流通業者、消費者及び実需者等が地産地消推進のための方策について審議する場として機能している。	地産地消を進める効果的な手段・方法について検討する。	農政課
	R1	R2			
	2	2			
実績値	2	2			
<p><野菜の機能性による販売促進事業> 本市で生産される野菜等の機能性(抗酸化力)の基礎的調査を行い、直売所等での試験販売を経て、市場出荷における取組みを目指すもの。</p>	野菜の検査を行うものであり、指標の設定は不適当		元年度までに、松本産農産物の成分分析を行い、栄養機能表示販売、機能性表示食品化を実現し、一定の成果を得たことから、令和2年度をもって事業を集約することとした。調査研究結果を公表し、活用等を民間に委ねることとした。	調査研究結果を公表し、活用等を民間に委ねる。今後は、国の制度等を活用しブランド化を図る。	農政課
	R1	R2			
	—	—			
実績値	—	—			
<p><6次産業化支援事業> 農家、農業法人等が、農業生産だけではなく、加工・流通・販売までを一体的に取り組む6次産業化を推進するため、総合的に支援し、農村の活性化と農業経営者の収益増加、本市における特産品づくりの推進を図るもの。</p>	申請件数(件)		商品開発の申請が3件あり、3件とも採択となった。松本ものづくり産業支援センターとの連携や企業訪問等の活動の効果が徐々に上がってきていると感じる。	異業種交流会は、参加者からの一定の評価はあるが、これを契機とした連携にはまだまだ繋がっていないので、実施方法や回数等を含めて更なる充実が必要。令和3年度から追加する補助メニューのPR等も含め、活性化のための仕掛けづくりに注力したい。	農政課
	R1	R2			
	3	3			
実績値	2	3			
<p><地場産品直売センター> 農産物の生産量が少ない農家でも出荷が可能であり、収入の増額が見込まれる。 また、消費者は安心・安全な地元農産物を購入することができる。</p>	組合員の利用件数(件)		生産者と消費者の交流を図り、地産地消の推進に努めている。経営努力の結果、利用件数は目標を上回っている。	多くの地域イベントに出店することで、生産者と消費者の交流を図り、地産地消の推進に努める。	農政課
	R1	R2			
	800	800			
実績値	839	836			

第3の柱 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)

第1項 公害の防止と対策

1 大気、水質、騒音、振動等、継続的な環境調査を実施する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<公共用水域水質調査> 河川、湖沼等公共用水域の水質を保全するため、水質汚濁防止法に基づいて、水質調査を行う。	基準達成率(%)		環境基準点4地点のうち1地点において、自然由来と考えられる基準超過があった。	調査を継続して実施し、常時監視体制を維持する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	75	75			
<市内河川水質定点調査> 公共用水域及び地下水水質調査を補完し、水質浄化対策の基礎資料とするため、環境基準の類型指定がされていない中小河川等の定点で水質調査を行う。	基準達成率(%)		調査地点30地点のうち1地点において、A類型の基準値と比較した場合に基準超過となる値であった。自然由来によるものと考えられる。	調査を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	100	97			
<市内河川水質(底質・健康項目)調査> 公共用水域及び地下水水質調査を補完し、水質浄化対策の基礎資料とするため、市内河川主要地点の健康項目に係る水質及び底質の調査を行う。	調査箇所(箇所)		水質及び底質ともにすべての項目で環境基準を満たしており、良好な状態で推移している。	調査を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	1			
実績値	1	1			
<河川水生生物調査> 河川の汚染状況を把握するため、河川毎に生息する水生生物を調査する。	調査箇所(箇所)		水質は良好な状態で推移している。	調査を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	13			
実績値	13	13			
<大気ダイオキシン類調査> 産業廃棄物処理施設周辺の生活環境を保全するため、大気中のダイオキシン類を調査する。 (3-2-6に同項目有)	測定値(pg-TEQ/m ³)		全国平均を下回った。 (令和元年度全国平均値と比較)	業務を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	0.019			
実績値	0.021	0.015			
<放射性物質測定調査> 市民の安全・安心のため、小学校の土壌及び地下水の放射性物質濃度測定調査を行う。	調査箇所(箇所)		放射性物質は検出されなかった。	東京電力原発事故発生から10年が経過し、平成24年度以降全て不検出であり、新たな汚染源もないことから調査を終了する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	測定値の公開のため、目標値設定は不相当			
実績値	33	33			
<一般環境騒音調査> 騒音対策の基礎資料を収集するため、指定地域内における環境基準の達成状況を調査する。	環境基準達成率(%)		すべての地点で環境基準を達成した。	調査を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	100	100			

<p><道路環境調査・面的評価> 自動車騒音対策の基礎資料を収集するため、自動車騒音の曝露状況を把握し、面的に評価する。</p>	環境基準達成率(%)		一部未達の路線があった。	一部未達であったが調査を継続して実施していく。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	97.5				99.1
<p><長野自動車道沿線騒音調査> 長野道周辺の生活環境を保全するため、沿道で騒音調査を行う。</p>	環境基準達成率(%)		すべての地点で環境基準を達成した。	引き続き調査を継続実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	100				100
<p><環境サーベイランス事業> 地域集団人口の健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察し、環境省に報告する。</p>	調査対象者数(人)		例年同様、松本市における環境調査でも大気汚染物質濃度が極端に多いことはないが、呼吸器系の疾患が少なくはなかった。 健康調査結果はアトピー性皮膚炎の疾患は多めである。	引き続き、環境調査(大気汚染濃度測定)・健康調査(3歳児・6歳児の保護者に対して健康調査票による健康モニタリングの実施)を実施する。	健康づくり課	
		R1				R2
	目標値	実績によるため目標値の設定は不適当				
	実績値	3,967				3,563
2 地下水の水位、水質等、地下水保全のための調査を継続する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><地下水対策事業【水位観測記録集計整理】> 概ね10年に1回実施している地下水一斉調査を補完し、地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視する。 (5-3-4に同項目有)</p>	調査箇所(箇所)		大きな地下水位の変動は認められなかった。	調査を継続して実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	3				3
	実績値	3				3
<p><地下水水質調査> 地下水の水質を保全するため、水質汚濁防止法に基づいて水質調査を行う。 (5-3-4に同項目有)</p>	基準達成率(%)		調査を行った全ての地点で環境基準を満たしていた。	調査を継続して実施し、常時監視体制を維持する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	100				100
3 事業所への監視、指導を強化する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><水質汚濁防止法に基づく特定事業場立入調査> 事業場排水および地下水汚染未然防止を監視するため、水質汚濁防止法及び県条例に基づく特定施設への立入調査を実施する。</p>	改善指導件数(件)		法に基づき指導し、改善できた。	立入調査を継続して実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	立入時に判明するもので、目標設定は不適当				
	実績値	1				1
<p><水質汚濁法関係業務> 公共用水域の水質を保全するため、事業活動に伴って発生する排出水について必要な規制を行う。</p>	届出件数(件)		業務を円滑に実施できた。	業務を継続して実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	法に基づく届出を受理するものであり、目標値の設定は不適当				
	実績値	97				47

<p><騒音規制法・振動規制法関係業務> 生活環境を保全するため、事業活動並びに建設工事に伴って発生する騒音・振動について必要な規制を行う。</p>	届出件数(件)		<p>法に基づき適切な処理を行った。</p>	<p>業務を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	法に基づく届出を受理するものであり、目標値の設定は不適当				
実績値	49	23				
<p><土壌汚染対策法関係業務> 土壌汚染の未然防止を図るため、法に規定する届出受付・審査等業務、情報提供を行う。既土壌汚染地域に対しては、浄化措置の指示等を行う。</p>	届出件数(件)		<p>法に基づき適切な処理を行った。 3,000㎡以上の土地の形質変更届出21件の内、形質変更時要届出区域の指定1件。</p>	<p>業務を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	法に基づく届出を受け付け、受理・審査を行うものであり、目標値の設定は不適当				
実績値	21	21				
<p><産業廃棄物施設周辺監視委託及び周辺環境調査> 産業廃棄物処理施設周辺の環境の監視を行うため、業務を委託するとともに、環境調査を行う。 (3-2-5に同項目有)</p>	調査回数(回)		<p>異常は見られなかった。</p>	<p>業務を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	1				1
実績値	1	1				
<p><事業所監視指導業務> 特定施設を中心に下水排除基準の遵守と事業所の適正な維持管理のため、事業所の監視指導を行う。</p>	排除基準適合率(%)		<p>適合率はわずかに上がり、事業所への啓発活動に効果があったと考えられる。</p>	<p>引続き事業所への立入調査を行う中で、下水道排除基準に対する意識向上を目指した指導をしていく。</p>	<p>下水道課</p>	
		R1				R2
	目標値	100				100
実績値	98.1	98.5				
4 家庭雑排水対策事業を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><家庭雑排水対策(適正処理指導)> 公共水域の保全のため、家庭雑排水の適正処理を推進する。</p>	快適生活率(%)		<p>家庭雑排水の処理が不適切な世帯に対し、指導を行った。</p>	<p>指導を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	98.5				98.8
実績値	98.8	99.1				
<p><家庭雑排水対策(汚泥汲取収集補助金)> 家庭雑排水収集・運搬許可業者に補助を行い、市民の収集・運搬料金の負担軽減を図り、もって公共水域の水質保全を図るため、家庭雑排水の収集・運搬許可業者(3社)で収集運搬を実施する。</p>	快適生活率(%)		<p>収集・運搬許可業者に補助を行うことで市民の負担を軽減し、家庭雑排水の適正処理を推進できた。</p>	<p>事業を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	98.5				98.8
実績値	98.8	99.1				
5 公害苦情解決に向けて、現場調査を行い適切な指導、調整を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><公害苦情対応> 生活環境を保全するため、市民から寄せられる公害に関する苦情の解決をはかる。</p>	対応件数(件)		<p>令和元年度と比較すると対応件数は増加したが、平成27年以降対応件数はおおむね横ばい傾向である。</p>	<p>業務を継続して実施し、生活環境の保全に努める。</p>	<p>環境保全課</p>	
		R1				R2
	目標値	苦情者からの相談に応じるものであり、目標値の設定は不適当				
実績値	43	50				

6 新たな公害に対しては、関係機関と協議し迅速に対応する。(完了項目)					
7 公害等の調査結果を速やかにわかりやすい形で公表する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><松本市の環境(環境基本計画年次報告書)> 大気・水質・騒音等の測定結果を公表する。</p>	結果の公表であるため、成果指標を設定することは不適當		<p>「松本市の環境」において測定結果を公表した。</p>	<p>引き続き測定結果の公表を継続する。</p>	<p>環境保全課</p>
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
8 市民への意識啓発を行う。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><こども向け環境基本計画ハンドブック作成事業> 松本市環境基本計画推進にあたり、小学生として取り組むことができる事項を5つの柱ごと具体的に示したハンドブックを作成し、環境教育事業等に活用するもの。 こども向けに公害等について記載している。 (1-1-11、2-1-10、4-1-5、5-1-17に同項目有)</p>	パンフレット配付数(部)		<p>市内の全小学4年生及びエコスクール等の参加者へハンドブックを配布することにより、幅広い環境分野への興味関心のきっかけ作りにつなげている。</p>	<p>配布を継続し、授業の副教材等として幅広く活用してもらえるよう努める。 環境基本計画の改定に合わせて、内容を再検討するとともに、配布媒体の電子化を検討する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>
		R1 R2			
	目標値	2,500 2,500			
実績値	2,500 2,500				
<p><野外焼却禁止の啓発> 広報まつもと及び回覧板で野外焼却禁止を周知するもの。</p>	啓発活動であるため、指標の設定は不適當		<p>生活環境に影響があると相談があった際に、行為者に対し個別に指導を行っている。 野外焼却の件数は減少傾向にある。</p>	<p>引き続き業務を継続し、周知啓発に努める。</p>	<p>環境保全課</p>
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
9 その他					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><水質汚濁事故等対応> 公共用水域の水質を保全するため、水質汚濁事故の拡大を防ぐ。</p>	対応件数(件)		<p>水質汚濁事故や油流出事故等に対し適切に対応を行った。</p>	<p>水質汚濁事故等が発生した際には、適切かつ迅速に対応を行う。</p>	<p>環境保全課</p>
		R1 R2			
	目標値	油流出事故等発生時に対応するものであり、目標値の設定は不適當			
実績値	48 30				
<p><松本南西部地域農地風食害対策協議会> 春先、松本南西部地域で発生する農地の風食防止対策として、農家への麦種子の購入配布、一般への啓発対策等を行う。</p>	麦類作付面積(ha)		<p>農家にとっては畑に麦を作付するとその後の栽培作物に影響が出る。</p>	<p>協議会で効果的な対策を引き続き検討していく。</p>	<p>農政課</p>
		R1 R2			
	目標値	758 758			
実績値	324 267				

第3の柱 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)

第2項 廃棄物の適正処理の推進

1 適正規模のごみステーションを配置することにより、収集効率の向上を図る。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><ごみステーションの設置承認業務></p> <p>一定の条件を満たしたごみステーションの新設・変更等の申請に対し、承認し、収集効率の向上を図るもの。</p>	承認件数(件)		<p>環境衛生協議会や地域づくりセンターのセンター長会、主事会等の機会を利用して周知してきた結果が出た。設置場所の土地の権利関係によって補助対象にならない場合や、構造物の設置自体ができないため、整備できない箇所がある。</p>	<p>環境衛生協議会や地域づくりセンターのセンター長会、主事会等の機会を利用して周知を図る。</p>	環境業務課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	11	17			
2 中間処理施設、最終処分場を適正に管理・運営する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><最終処分場管理運営></p> <p>環境に負荷を与えないよう最終処分場を適正に管理する。</p> <p>埋立物：埋立ごみ(ガラス・陶器等)、焼却灰</p>	利用者数(人)		<p>最終処分場周辺の環境調査を継続実施し、影響は見られなかった。</p>	<p>環境調査を継続実施するとともに、エコピア山田の再整備を安全に配慮して実施する。</p>	環境業務課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	2,367	1,727			
<p><エコピア山田環境保全協議会></p> <p>エコピア山田を適正に管理運営するにあたり公害の発生を防止し、周辺地域の環境保全を図るため、地元町会と協議する。</p> <p>・各種環境数値測定結果報告会議年2回 研修年1回</p>	会議開催数(回)		<p>最終処分場周辺の環境調査を継続実施して当該協議会に報告するとともに、エコピア山田の再整備事業の進捗状況について説明を行った。</p> <p>なお、研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。</p>	<p>引き続き最終処分場周辺の環境調査を継続実施して報告するとともに、エコピア山田の再整備の進め方について協議を行う。</p>	環境業務課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	3	2			
3 処理事業者への指導を強化する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><一般廃棄物処理業許可業務></p> <p>一般廃棄物処理業の許可業務を行う。また、許可業者に対して可燃ごみ処理施設の搬入ピットにて、投入ごみの内容や従事者証の所持の有無等を検査する等、廃棄物の適正な収集、運搬、処分等を行うための指導を行うもの。</p>	申請に基づくものであるため、指標の設定は不適当		<p>許可業者に対する展開検査を実施し、適切な廃棄物の持ち込みについて指導を実施した。</p> <p>一般廃棄物処理業者に加え、市内各種団体及び多量排出事業所等を訪問し状況確認・指導を実施したが、そこで働く従業員に、産業廃棄物と一般廃棄物の区別意識が希薄である。</p>	<p>中核市への移行により、産業廃棄物処理業等の許可・監視指導業務が市に移管される。</p> <p>廃棄物対策課との連携により、許可業者及び多量排出事業所等への立入検査指導を強化し、可燃ごみへの資源物や産業廃棄物の混入を抑制し、事業系ごみの減量に努める。</p>	環境業務課
	目標値	実績値			
	R1	R2			
	—	—			

4 資源物ストックヤード(松本市リサイクルセンター)を適正に管理・運営する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<リサイクルセンター管理運営> 平日及び土曜日の午前中に資源物・埋立ごみ・粗大ごみを受入れ、市民の利便性の向上、廃棄物の発生抑制及び再資源化の推進を図る。	利用者数(人)		資源物はステーション回収が基本であるが、生活様式の変化等によりステーション回収を利用できない市民も多い。 リサイクルセンターの利用件数は昨年度と比較して大幅に増加した。	市民の施設利用率を上げ、再資源化の推進を図るため施設のPRに努める。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	資源物はごみステーション回収が基本だが、リサイクルセンターへの持ち込み利用の実績件数を指標に設定			
実績値	22,180	26,423			
5 不適正な処理が行われないよう、県、地元と連携し指導・監視を行い、処理事業者への指導を強化する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<産業廃棄物施設周辺監視委託及び周辺環境調査> 産業廃棄物処理施設周辺の環境の監視を行うため、業務を委託するとともに、環境調査を行う。 (3-1-3に同項目有)	調査回数(回)		異常は見られなかった。	業務を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	1			
実績値	1	1			
6 民間産業廃棄物処理施設周辺での大気中のダイオキシン類調査を行う。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<大気ダイオキシン類調査> 産業廃棄物処理施設周辺の生活環境を保全するため、大気中のダイオキシン類を調査する。 (3-1-1に同項目有)	測定値(pg-TEQ/m ³)		全国平均を下回った。(令和元年度全国平均値と比較)	業務を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	0.019			
実績値	0.021	0.015			
7 パトロール等の監視、早期回収を強化する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<不法投棄防止及びパトロール事業> 市民の快適な生活環境を維持するために、不法投棄パトロール、及び不法投棄物の回収を実施する。 (5-2-9に同項目有)	不法投棄回収量(トン)		河川改修により、河川堤防道路等へのポイ捨てが減少しているが、山間部道路沿いへの家電等不法投棄が増加している。	廃棄物の適正な排出への啓発事業の継続と関係機関との連携により、ポイ捨ての抑制に努める。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	通報、パトロールにより回収した実績であるため目標値の設定は不適當			
実績値	8	9			
8 廃タイヤ等の特別回収を実施する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<処理困難物の回収> 市民の快適な生活環境を維持するため、ごみステーションで回収できない廃タイヤ等の特別回収を実施するもの。	回収実績(本)		不法投棄の抑制対策として、業者と協力して実施している。ここ数年安定した回収量となっているが、抑制政策として継続が必要である。	排出の利便性を高めるために、処理困難物の一部を特別回収として実施する。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	回収実績値であるため目標値は不適當			
実績値	1,177	1,667			

9 地区一斉清掃、環境美化巡視員等による巡回清掃指導等、市民、事業者、市が一体となった美化活動を進める。

実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課									
<p><地区町会環境美化活動> 身近な地域の快適な生活環境を向上するとともに、ごみ分別による資源化と減量を推進する市民との協働事業として、地区環境衛生協議会、町会環境衛生部の自主的活動の充実を図る。 (5-2-7に同項目有)</p>	<p>市民満足度調査(点) ※満点4点 【設問:ごみ減量や分別が適正に行われている。】</p>	<p>「ごみゼロ運動」「散乱空き缶等追放キャンペーン」及び地区一日清掃等市民との協働並びに自主的活動により、美しい環境を大切にして未来につなぐまちづくりに努めた。 しかし、コロナ禍のため、町会等の清掃活動が縮小された。</p>	<p>事業を継続して実施する。</p>	<p>環境業務課</p>									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>					R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—
					R1	R2							
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—				
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p><町会環境衛生部・地区環境衛生協議会活動費交付金> 町会環境衛生部及び地区環境衛生協議会の活動を発展、継続させ、きれいで住み良い松本市作りの協働事業を推進するため、市内488町会の町会環境衛生部及び35地区の地区環境衛生協議会で、一斉清掃等を実施する。 (5-2-7に同項目有)</p>	<p>市民満足度調査(点) ※満点4点 【設問:まちなかが衛生的に保たれている。】</p>	<p>地区町会それぞれの市民主体の環境美化活動の取組みにより、環境の保全・良好な環境の確保と維持が図られた。</p>	<p>市民主体の環境美化活動を引き続き支援していく。</p>	<p>環境業務課</p>									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>					R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—
					R1	R2							
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—				
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											

10 災害廃棄物処理計画を策定し、有事の災害に備える。

実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課									
<p><災害廃棄物処理計画策定業務> 大規模災害時に備え、本市の災害廃棄物処理に係る方針を定めた災害廃棄物処理計画を策定するもの。</p>	<p>計画策定業務のため、指標の設定は不適當</p>	<p>災害廃棄物処理計画に基づき、市で設置する一次仮置場候補地について選定を行い、松本市町会連合会理事等で災害廃棄物の適正分別と合わせて周知・啓発を行った。また、仮置場の設置管理に必要な資機材(立看板等)について調達、配備した。</p>	<p>災害時の廃棄物処理を円滑に進めていくため、町会等で設置する市民仮置場候補地の調整を行い、本計画の実効性を高めていく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>					R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—
					R1	R2							
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—				
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											

11 その他

実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課									
<p><一般廃棄物処理計画推進業務> 環境への負荷をできる限り抑制し低減するため、ごみの減量、資源化及び適正な処理を推進するため計画を策定し、適切な計画の進行管理を行うもの。 (2-1-10に同項目有)</p>	<p>1人1日あたりのごみ排出量(g)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で経済活動が低調だったことにより、事業系可燃ごみが減少したが、一方、家庭系可燃ごみは2年連続で増加となった。総ごみ量は前年度よりも減少したが、目標値を達成することはできなかった。</p>	<p>処理計画に定めたごみ排出量の目標を達成できるよう、関係各課で連携を図り、ごみ減量及び資源化施策を推進していく。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>996</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,024</td> <td>1,004</td> </tr> </table>					R1	R2	目標値	996	980	実績値	1,024	1,004
					R1	R2							
目標値	996	980											
実績値	1,024	1,004											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>996</td> <td>980</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,024</td> <td>1,004</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	996	980	実績値	1,024	1,004				
	R1	R2											
目標値	996	980											
実績値	1,024	1,004											
<p><し尿収集業務(清掃確認券事務)> 清掃確認券によるし尿汲み取り世帯の管理により、適正なし尿汲み取りを実施する。</p>	<p>し尿汲み取り業務を適正かつ効率的に実施するために行う事務のため、目標値の設定は不適當</p>	<p>清掃確認券の発行により、汲取業者による適正なし尿汲み取りを促すことができた。</p>	<p>事業を継続して実施する。</p>	<p>環境保全課</p>									
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>					R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—
					R1	R2							
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—				
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											

<p><し尿収集処理事業> 市民の快適な生活環境を維持するため、市の施設(主に運動広場等の外便所)のし尿収集を実施する。</p>	し尿収集量(ℓ)		<p>市が管理している施設にある汲取り式の外便所(24カ所)の汲み取りを行うことで、生活環境の維持及び施設利用の維持が図られた。</p>	<p>事業を継続して実施する。</p>	<p>環境 業務課</p>
	R1	R2			
	目標値の設定は不相当				
実績値	12,680	18,586			
<p><塵芥収集業務> 市民の快適な生活環境を維持するため、一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみの収集を実施する。 委託 92% 直営 8%</p>	1人1日当たりの家庭系ごみ排出量(g/日)		<p>可燃ごみ中の紙類及び容器包装プラスチックの分別と、生ごみの水切り等が必要であり、事業所の一般廃棄物の混在も見受けられる。</p>	<p>分別による減量事業の啓発を実施し、事業所と一般家庭の廃棄物の適正排出を推進する。</p>	<p>環境 業務課</p>
	R1	R2			
	目標値				
実績値	445	443			
<p><建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律施行令に基づく届出事務> 特定建築資材を用いた一定規模以上の建設工事の分別解体、再資源化が義務づけられ、解体工事に関する届出を市長が受理、審査し、基準に適合しないときは計画変更等必要措置を命じる。 (2-1-16に同項目有)</p>	届出件数(件)		<p>建築資材の分別解体、再資源化が図られた。</p>	<p>適切な届出事務を継続する。</p>	<p>建築 指導課</p>
	R1	R2			
	届出に基づくものであるため、目標値の設定は不相当				
実績値	630	630			

第3の柱 安全に安心して暮らせるまち(生活環境)

第3項 生活環境基盤の整備

1 「第10次基本計画」、「都市計画マスタープラン」等に基づき、環境に配慮した適正な土地利用を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><都市計画策定事業(許認可事務)> 良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、必要な許認可を行い、あわせて指導、助言をする。</p>	申請・届出件数(件)		<p>都市計画証明、地区計画、風致地区、都市計画法第53条、松本市立地適正化計画などの申請・届出事務を行った。</p>	<p>引き続き申請・届出に適切な指導・助言を行う。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	申請、届出に基づくものであるため、目標値の設定は不適當			
実績値	532	427			
<p><都市計画策定事業(窓口、電話相談業務)> 良好な都市環境、秩序ある市街地の形成を図るため、都市計画に係る問合せ、相談に對し対応する。</p>	問合せ・相談件数(件)		<p>用途地域等問合せ等に対応した。</p>	<p>相談業務であり、市民の要望に応えるため、丁寧な対応を徹底する。 相談業務を通じ、適切な対応により、目標とする都市像へ誘導を図る。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	問合せ、相談に基づくものであるため、目標値の設定は不適當			
実績値	1,561	1,239			
<p><都市計画マスタープランの進捗管理> 都市計画の基本的方針となる都市計画マスタープランで示す望ましい都市像の実現に向け、PDCAサイクルによる進捗確認を行う。</p>	計画の進捗管理であり、指標の設定は不適當		<p>都市計画マスタープランの改定に向けて、進捗管理(内部評価)を行い市民会議で報告した。</p>	<p>令和3年度中に都市計画マスタープランを改定予定であり、その中で、新たな実現化策と目標指標を設定する。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><都市計画審議会> 都市計画法に基づき各種都市計画に関する調査審議を行う。</p>	開催回数(回)		<p>地区計画の変更、都市計画道路の変更、用途地域の変更を行った。</p>	<p>引き続き、都市計画法に基づき各種都市計画に関する調査・審議を行う。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	必要に応じて開催するもので、目標値の設定は不適當			
実績値	2	3			
2 立地適正化計画の策定を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><地区計画> 地域の特性を活かした魅力あるまちづくりのため、地区計画を策定し、建築行為等の誘導・規制を行い、住環境を保護する。</p>	地区計画策定面積(ha)		<p>工業用地の飽和状態を解消し、梓川沿いの環境を活用した梓川地区の工業団地として合理的な土地利用を図るために区域の変更を行った。 倭工業団地地区 12.7ha</p>	<p>すでに設定した地区計画の見直し、都市機能の維持・誘導や市街化調整区域のコミュニティ維持等を目的とした地区計画制度を検討する。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	294.9			
実績値	294.9	295.2			
<p><全国地区計画推進協議会> 魅力あるまちづくりに寄与するための、地区計画等に関する調査・研究、知識の普及・啓発、国及び関係機関への要望及び提言を行う。</p>	協議会によるものであり、目標値の設定は不適當		<p>総会や研究会等(書面開催)に参加し、市街化調整区域における地区計画制度の活用に向けた情報収集や研究に取り組んだ。</p>	<p>研究会への参加や他都市の事例調査等により、地区計画制度の活用に向けた資質を向上する。 また、中山地区等をモデルとした検討を行う。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			

3 中小土地地区画整理事業の完了に向けた取り組みを進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><新市街地開発事業(中小土地地区画整理技術援助)> 市街化区域内の農地等において、組合施行の区画整理事業によって、道路公園等の公共施設を整備し秩序ある宅地造成を行い、健全な市街地形成を図るために法に基づき技術援助を行う。 実施中:2地区</p>	技術援助を行うものであり、目標設定は不相当		<p>健全な市街地の造成を図り、もって公共の福祉に資するように進めている。 市街化農地の有効利用及び道路公園等公共施設の整備により、整った街並みが形成されている。 2地区の換地処分が完了し、そのうち1地区の組合を解散した。</p>	<p>土地地区画整理法(昭和29年5月20日法律第119号)第75条に基づき、各土地地区画整理組合に対して、技術援助を行っており、令和3年度の1地区の組合解散をもって、本取り組みを終了する。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値		—	—		
<p><中小土地地区画整理事業補助金> 地権者が組合を設立し施行者となって行う区画整理事業への補助及び技術援助をするもの。 惣社地区 A=2.9 ha 岡田東地区 A=1.1 ha 両島地区 A=3.1 ha</p>	補助金及び技術援助を行うものであり、目標設定は不相当		<p>松本市土地地区画整理事業助成要綱(昭和52年4月25日告示第58号)に基づき、市街化区域内の土地の不整形な開発を防止し、その効率的な利用を図っている。</p>	<p>助成要綱に基づき、各組合の事業計画に沿った、補助金の交付を行っており、今年度の1地区の組合解散をもって、本取り組みを終了する。</p>	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値		—	—		
4 分析技術の向上等、水質検査体制を充実させる。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><水質検査業務> 常に安全で良質な水道水を供給するため、法令で定められた水質検査に併せ、放射性物質検査も継続して行い、適正な水質管理を行う。</p>	水質事故件数(件)		<p>給水栓36地点について定期的に検査を実施し、水道法の水質基準に適合していることを確認した。その他、水源の水質悪化や水道施設の工事等に伴う必要な水質検査を実施し、水道水の安全性を確認した。</p>	<p>引き続き法令・指針等で定められた水質検査を計画的に行うとともに、適正な精度管理により信頼性を恒久的に確保・維持する。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	0			
実績値		0	0		
<p><浄化センター(5カ所)及び主要幹線の水質管理業務> 日常の水質検査(委託)結果を受け、水処理・運転管理業務を検討する。主要幹線の水質検査を行い、異常時には追跡調査をし、排水元を特定できたときは指導するとともに、浄化センターの水処理対策を検討する。</p>	水質検査回数(回/年)		<p>主要幹線において、計画的に水質検査を実施することができた。 また、異常が確認されたときには排水元特定のため追跡調査を実施した。</p>	<p>継続して定期的な主要幹線の水質検査を実施していく。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	12			
実績値		12	12		
5 下水道の老朽化した管渠及び浄化センター施設の改築を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><低段水処理施設・汚泥処理施設・管理棟・ポンプ場機械電気設備改築事業> 宮渕浄化センター低段水処理施設・管理棟等及び渚中継ポンプ場は、昭和56年から供用開始しているが、耐用年数を過ぎており老朽化が著しいため、長寿命化計画を立て改築を行うもの。</p>	全体事業費進捗率(%)		<p>繰越事業が発生したため、目標を達成できなかった。</p>	<p>ストックマネジメント計画に基づき、引き続き事業の進捗を図りたい。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	42.7			
実績値		40.6	45.9		
<p><汚水渠改良事業> 布設後30年以上経過した管渠について、管渠内調査を行い、計画的に布設替え及び更生工事を実施する。</p>	更生工事延長(km)		<p>事業実施に優位になるため、管渠施設耐震事業の交付金を配当した結果、計画以上の進捗が図れた。</p>	<p>引き続き事業の進捗を図りたい。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	1.3			
実績値		1.4	4.4		

6 上下水道施設の耐震化・長寿命化と維持管理を充実させる。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><水運用と送配水施設の運転業務> 水道施設の水運用と安全・安心な水道水の供給を365日持続するため、施設の運転(水運用)情報を集中監視・管理を行い効率的な水運用と維持管理をする。</p>	運転事故断水件数(件)		<p>水道施設の水運用と安全・安心な水道水の供給を365日間持続することができた。 運転事故断水件数は0件であり、漏水等の緊急時にも迅速に対応できた。</p>	<p>引き続き施設の運転(水運用)情報の集中監視・管理を行い、効率的な水運用と維持管理を実施する。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	0			
実績値	0	0			
<p><老朽給水管取替事業> 老朽給水管からの漏水を防止するため、給水管の計画的な取替えをする。</p>	水道水有効率(%)		<p>令和2年度の老朽給水管の取替え実績は、1,109栓だったが、本管等の漏水もあり有効率が向上しなかった。</p>	<p>老朽給水管の取り替えには、費用と期間を要するため、経営状態を見極めながら計画的に進める。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	92.0			
実績値	87.5	88.1			
<p><送配水施設保守点検、修繕維持管理> 安全・安心な水を安定供給するため、施設の保守点検、修繕、改良を行い、良好な維持管理をする。</p>	必要に応じて行う業務のため、指標の設定は不適当		<p>日常の保守点検を実施し、点検結果に基づいた修繕及び改良を行い、安全・安心な水を安定供給している。</p>	<p>引き続き日常の保守点検を実施し、点検結果に基づいた修繕及び改良を行い、安全・安心な水を安定供給していく。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><配水管新設事業> 他の事業者による道路新設などにおいて二重投資、繰り返し工事にならないようにするため、配水管を併せて整備をする。</p>	国・県道など他の事業者が原因となる工事であるため、指標の設定は不適当		<p>他の事業者による道路工事に合わせ、事業を実施した。 配水管を新設した。 (L=737m)</p>	<p>引き続き他の事業を活用し、二重投資とならないよう本事業を進める。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><送・配水施設改良事業> 水道水の安定供給を継続するため、老朽施設、遠方監視システム等の改良、改修をする。</p>	全体事業費に対する進捗割合(%)		<p>施設整備計画に基づき、四賀地区遠方監視制御装置の更新及び和泉第4加圧所等の改良を行い、水道水を安定供給した。</p>	<p>施設改良により、恒久的で安定した水道水を供給していく。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	100.0			
実績値	100.0	100.0			
<p><水道施設耐震化事業> 被災時における水道水の確保並びに重要施設への供給ルートを確保するため、基幹施設及び基幹管路の耐震化を行う。</p>	施設及び基幹管路の耐震化率(%)		<p>事業計画に基づき実施できた。 基幹管路(L=939m)の耐震化を行った。</p>	<p>引き続き計画に基づき事業を行う。</p>	上水道課
	R1	R2			
	目標値	管路37.7施設46.9			
実績値	管路37.7施設46.9	管路39.2施設46.9			
<p><下水道管渠維持管理業務> 下水道台帳作成委託業務・マンホールポンプ場点検・管渠清掃委託業務等。 マンホール鉄蓋の取替え及び高さ調整工事。</p>	管路清掃延長(m)		<p>計画どおりに管路点検を行い、管路清掃を実施することができた。</p>	<p>今後も計画的に点検を行い、適切な維持管理を実施したい。</p>	下水道課
	R1	R2			
	目標値	8,400			
実績値	8,400	7,200			

<p><管渠施設耐震補強事業> 管路施設が地震災害に被災しても、被害を最小限にとどめることを目的に、総合的な地震対策を実施するもの。</p>	実施延長 (km)		<p>汚水渠改築事業を優先して交付金を配当したため、目標を下回った。</p>	<p>交付金を最大限活用し、不足分は起債事業として進めたい。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	0.6				0.6
実績値	0.2	0.3				
<p><宮渕浄化センター・両島浄化センター・渚中継ポンプ場施設耐震診断・耐震補強事業> 宮渕・両島の各浄化センター・渚中継ポンプ場施設の耐震診断実施・必要な耐震補強工事を行うもの。</p>	実施床面積 (㎡)		<p>耐震補強工事が、繰越となったため達成できなかった。</p>	<p>総合地震対策計画に基づき、引き続き事業の進捗を図りたい。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	11,748				1,633
実績値	1,162	0				
7 下水処理施設の適正な維持管理により公共用水域の水質保全に努める。						
実施内容		実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><宮渕浄化センター維持管理業務> 安定的な汚水の処理をおこなうため、宮渕浄化センターの運転管理・維持管理と機器の修繕、発生した汚泥(脱水ケーキ)を処分するもの。</p>	放流水質BOD (mg/l)		<p>放流水質に異常はなく、汚水処理のための運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分が適切に行われた。</p>	<p>継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分を行っている。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	15				15
実績値	4.8	4.7				
<p><両島浄化センター維持管理業務> 安定的な汚水の処理をおこなうため、両島浄化センターの運転管理・維持管理と機器の修繕、発生した汚泥(脱水ケーキ)を処分するもの。</p>	放流水質BOD (mg/l)		<p>放流水質に異常はなく、汚水処理のための運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分が適切に行われた。</p>	<p>継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分を行っている。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	15				15
実績値	3.5	4.0				
<p><波田浄化センター維持管理業務> 安定的な汚水の処理をおこなうため、波田浄化センターの運転管理・維持管理と機器の修繕、発生した汚泥(脱水ケーキ)を処分するもの。</p>	放流水質BOD (mg/l)		<p>放流水質に異常はなく、汚水処理のための運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分が適切に行われた。</p>	<p>継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分を行っている。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	15				15
実績値	2.2	1.7				
<p><四賀浄化センター維持管理業務> 安定的な汚水の処理をおこなうため、四賀浄化センターの運転管理・維持管理と機器の修繕、発生した汚泥(脱水ケーキ)を処分するもの。</p>	放流水質BOD (mg/l)		<p>放流水質に異常はなく、汚水処理のための運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分が適切に行われた。</p>	<p>継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分を行っている。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	15				15
実績値	1.8	2.6				
<p><上高地浄化センター維持管理業務> 安定的な汚水の処理をおこなうため、上高地浄化センターの運転管理・維持管理と機器の修繕、発生した汚泥(脱水ケーキ)を処分するもの。</p>	放流水質BOD (mg/l)		<p>放流水質に異常はなく、汚水処理のための運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分が適切に行われた。</p>	<p>継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕、発生汚泥の処分を行っている。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	15				15
実績値	2.1	4.0				

<p><渚中継ポンプ場維持管理業務> 渚中継ポンプ場の維持管理に伴う修繕工事等を行うもの。</p>	日常点検業務のため、指標の設定は不適當		適切な運転管理、維持管理及び機器修繕を行った。	継続して適切な運転管理や維持管理、機器の修繕を行っていく。	下水道課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
8 下水道への接続、合併処理浄化槽の普及を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><合併浄化槽維持管理事業> 四賀地区の生活環境整備を図るため、浄化槽市町村整備推進事業(市町村が設置主体)により設置した戸別合併処理浄化槽の維持管理等を行うもの。</p>	維持管理回数(回)		使用している戸別合併処理浄化槽について、保守点検及び清掃を行った。	事業を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	4			
実績値	4	4			
<p><四賀浄化施設維持管理事業> 四賀地域の宅地分譲した団地に大型の合併処理浄化槽を設置し、汚水を集合処理する。</p>	利用率(%)		合併処理浄化槽の保守点検及び清掃を行い、対象住居の汚水を集合処理した。	事業を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	100	100			
<p><合併処理浄化槽設置補助金> 浄化槽設置者の設置経費の負担軽減により、設置を推進し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道及び農業集落排水の認可区域外において、浄化槽を設置しようとする者が合併処理浄化槽を設置するもの。</p>	快適生活率(%)		申請者へ補助金を交付し、浄化槽設置経費の負担を軽減することで公共用水域の水質保全に寄与できた。	事業を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	98.6			
実績値	98.9	99.1			
<p><合併処理浄化槽清掃補助金> 浄化槽設置者の清掃経費の負担軽減により、清掃実施を推進し、公共用水域の水質保全を図るため、下水道及び農業集落排水の認可区域外の浄化槽設置者の内、今井・笹賀・和田・神林で、浄化槽清掃を実施するもの。</p>	快適生活率(%)		申請者へ補助金を交付し、浄化槽清掃経費の負担を軽減することで浄化槽の適正管理を促し、公共用水域の水質保全に寄与できた。	事業を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	98.6			
実績値	98.9	99.1			
<p><長野県合併処理浄化槽普及促進協議会> 浄化槽設置を推進する行政機関で構成し、浄化槽の普及・啓発活動を実施する。</p>	協議会によるものであるため、指標の設定は不適當		協議会として、浄化槽の普及・啓発活動を実施した。	事業を継続して実施する。	環境保全課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			

<p><私設汚水ポンプ設置費補助></p> <p>下水道処理区域において、低地等の立地条件により自然流下の方法では汚水を公共下水道に排除することが困難な区域で住宅等を所有し、又は使用する者で排水設備工事を行う場合に補助をするもの。</p>	水洗化率(%)		12件の申請があり水洗化率の向上に寄与した。	事業を継続して実施する。	営業課	
		R1				R2
	目標値	98.7				98.7
		R1	R2			
実績値	98.6	98.7				
9 合流式下水道緊急改善事業での放流水の高度処理化を行うとともに、分流化を引き続き進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><合流改善事業></p> <p>合流式下水道緊急改善事業が完了し、今後は適正な管理による放流水の高度処理を継続する。</p> <p>分流化(雨水渠整備を行い)については関係課との調整会議を実施して効率的および、効果的な整備手法を検討し、事業化を進める。</p>	合流区域内の雨水対策調整会議実施		<p>分流化されていない地区については、関係課との調整会議を実施して効率的および、効果的な整備手法を検討したい。</p>	<p>引き続き高度処理を行う。</p> <p>分流化に向けて、関係課と連携し早期に事業化できるよう検討していきたい。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	1				1
		R1	R2			
実績値	0	0				
10 汚泥減容化、再資源化に向けた技術を検討する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><減容技術・再資源化></p> <p>高温消化及び可溶化技術等。</p> <p>汚泥の炭化等の燃料化技術。緑農利用。(堆肥化)</p>	新しい技術開発等も関係し、指標の設定は不適當		<p>汚泥減容化については、新技術等の取組みには至らなかった。</p>	<p>当面は適切な維持管理を行うこととし、その他新技術等の取組みについては広域化を念頭に研究を進めたい。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	—				—
		R1	R2			
実績値	—	—				
11 上下水道施設の省エネルギー対策を更に進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><漏水調査及び緊急漏水修理事業></p> <p>有効率の向上及び維持をするため、定期的に漏水調査を実施し、発見された場合は早急に修理をする。</p>	予算額により調査量が変わるため、指標の設定は不適當		<p>発見した漏水箇所については、迅速に修理を実施できた。</p>	<p>配水量が多くなった地区を重点的に調査し、発見した漏水箇所については、迅速に漏水修理を実施する。</p>	上水道課	
		R1				R2
	目標値	—				—
		R1	R2			
実績値	—	—				
<p><小水力発電事業></p> <p>未利用エネルギーを有効活用するため、寿配水地に小水力発電設備を設置し、固定価格買取制度により売電を行う。</p>	事業進捗率(%)		<p>令和元年度事業完了。</p> <p>エネルギーの有効活用を図り、固定価格買取制度の活用で売電を行っている。</p>	<p>今後は、水道施設を使った自己消費が可能な発電方式の検討を開始する。</p>	上水道課	
		R1				R2
	目標値	100.0				—
		R1	R2			
実績値	100.0	—				
<p><宮渕浄化センター消化ガス発電設備建設事業></p> <p>地球温暖化防止及び省エネルギー対策の観点から、浄化センターの汚泥減容化の過程で発生している、消化ガスを燃料として発電し、購入電力量の削減を図る。(1-1-7に同項目有)</p>	発電量(MWh)		<p>発電設備の不安定要因により、目標値をやや下回った。</p>	<p>目標値の発電量確保のため、より適切に安定した運転を行いたい。</p>	下水道課	
		R1				R2
	目標値	2,400				2,400
		R1	R2			
実績値	2,330	2,370				

<両島浄化センター消化ガス発電設備建設事業> 地球温暖化防止及び省エネルギー対策の観点から、浄化センターの汚泥減容化の過程で発生している、消化ガスを燃料として発電し、電力会社に売電することにより、経営改善を目指す。 (1-1-7に同項目有)	発電量(MWh)		目標を超える発電量となった。	目標値の発電量確保のため、より適切に安定した運転を行いたい。	下水道課	
		R1				R2
	目標値	1,800				1,800
	実績値	1,940	1,930			
12 水洗化の普及を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<水洗便所等築造資金融資斡旋及び利子補給事業> 浄化槽設置者の水洗化費用を負担軽減することで水洗化を推進し、公共用水域の水質保全を図るため、排水設備及び水洗便所等の改築・改造をしようとする者が金融機関より借り入れた利子を補給するもの。	設置者の申請による補助金のため、指標の設定は不相当		利用実績が皆減し、償還が完済したことから、令和元年度末で事業を廃止しました。	—	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			
<排水設備設置による水洗化の普及促進> 生活環境の改善と河川などの公共用水域の良好な水質を保全するため、水洗化の普及促進を図る。	水洗化率(%)		普及促進に努めた結果、水洗化率が向上した。	事業を継続して実施する。	営業課	
		R1				R2
	目標値	98.7				98.7
	実績値	98.6	98.7			
<生活扶助世帯水洗便所設置費補助> 生活扶助世帯が所有する建築物に設けられている汲取便所を水洗便所に改造するために要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付するもの。	水洗化率(%)		1件の申請があり水洗化率の向上に寄与した。	事業を継続して実施する。	営業課	
		R1				R2
	目標値	98.7				98.7
	実績値	98.6	98.7			
<水洗便所等築造資金融資斡旋事業> 下水道水洗化工事施工費用を一時に負担することが困難であると認められた者に融資のあっせんを行い、融資機関から貸付を実行した者に対し金融機関に利子補給を行い、水洗化支援を行うもの。	水洗化率(%)		本年度は申請がなかったが、融資利用者に対し利子補給を行い、水洗化率の向上に寄与した。	事業を継続して実施する。	営業課	
		R1				R2
	目標値	98.7				98.7
	実績値	98.6	98.7			
13 農業集落排水施設の適正な維持管理に努める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<農業集落排水維持管理> 農村の生活環境の改善を図り、公共用水域の水質保全と循環型社会の構築を目的とする。	施設の利用率(%)		適切な維持管理により、農業集落排水の水質保全が図られた。	老朽化した施設の適切な維持管理及び改築を進める。	耕地課	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	100	100			

14 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><都市防災事業> 大規模地震の起きる確率の高い地域として指定されており、甚大な被害が予想されるため、防災都市計画に基づく事業の推進により、災害を最小限に食い止め、都市の防災機能の充実を図る。</p>	建築確認申請に伴うものを主に対象としているため、指標の設定が不適当		災害危険度判定調査結果や最新の知見等に基づき、現行計画の見直しに着手した。	各種防災施策を立案し、自助・共助の取組みによる防災都市づくり計画をまとめる。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—				—
<p><専用水道業務> 井戸等の自己水源を利用し、100人以上に供給または一日20立方メートル以上を使用する水道を設置する際の届出の受理及び水質検査等の報告徴収並びに立入検査を行う。</p>	報告徴収数(事業数)		法令に基づき適切な事務処理や衛生指導を行った。	継続して実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	法等に基づくものであるため、目標値の設定は不適当				
	実績値	8				9
<p><準簡易専用水道・簡易専用水道業務> 簡易専用水道:貯水槽の有効容量10立方メートル超 準簡易専用水道:貯水槽の有効容量10立方メートル以下 上記を使用する水道を設置する際の届出を受理する。</p>	年間届出件数(事業数)		法令に基づき適切な事務処理や衛生指導を行った。	継続して実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	法等に基づくものであるため、目標値の設定は不適当				
	実績値	26				24

第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち(自然環境)

第1項 野生動植物の保全と対策

1 上高地・乗鞍高原等国立公園及び美ヶ原等国立公園においては、関係行政機関等が連携して情報共有を行うとともに、自然公園法等関係法令に基づき、希少野生動植物をはじめとする地域の自然環境の保護に取り組む。

実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課						
<p><自然公園法の申請に係る意見書の提出> 自然環境を保全するため、自然公園法に係る申請について意見書を提出する。</p>	<p>提出件数(件)</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>113</td> <td>78</td> </tr> </table>	R1	R2	113	78	<p>適切に意見書を提出した。</p>	<p>事業を継続して実施する。</p>	<p>環境・地域エネルギー課</p>		
	R1	R2								
	113	78								
<p>県からの照会に応じるものであり、目標値の設定は不適當</p>										
<p>実績値</p>										
<p><山岳観光推進事業> 広大な北アルプス南部山岳エリア(国立公園)において、大半の事務事業を進めるために、環境省・林野庁等の各法令による許可申請や現場立会、地元との度重なる調整を行い、地域の活性化と地域課題の解決の道を探るもの。</p>	<p>全地域の入込数(人)</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>2,053,300</td> <td>962,700</td> </tr> </table>	R1	R2	2,053,300	962,700	<p>許認可の有無を確認し、計画的な事業実施に努めた。</p>	<p>許認可までに時間がかかるため、計画的な事業推進を検討していく。</p>	<p>アルプスリゾート整備本部</p>		
	R1	R2								
	2,053,300	962,700								
<p>2,300,000</p>	2,300,000									
<p>実績値</p>										
<p>2 アレチウリ、オオキンケイギク、オオカワヂシャなどの特定外来生物やニホンジカ・サル・イノシシなど地域の生態系や農作物等に影響を及ぼす動植物の駆除を行い、生物多様性の保全に努める。</p>										
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課						
<p><個体数調整・有害鳥獣管理(シカ個体数調整)> 農林産物の被害を軽減させるため、有害鳥獣を捕獲(駆除)する。</p>	<p>農林業被害額(万円)</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>1,243</td> <td>1,269</td> </tr> </table>	R1	R2	1,243	1,269	<p>捕獲頭数、農業被害額ともに横ばい傾向にあり、一定の効果はあるものと考えられる。</p>	<p>生息場所が移動しているとの情報もあり、引き続き情報収集に努め駆除数を増やし被害額を軽減する。</p>	<p>森林環境課</p>		
	R1	R2								
	1,243	1,269								
<p>被害発生状況によるため目標値の設定は不適當</p>										
<p>実績値</p>										
<p><有害鳥獣駆除事業補助金> 松本市有害鳥獣対策協議会が行う、有害鳥獣の駆除に要する経費補助を行う。 有害鳥獣駆除に係る従事者特別傷害保険に要する経費補助を行う。</p>	<p>駆除頭羽数(頭羽)</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>11,119</td> <td>11,122</td> </tr> <tr> <td>5,382</td> <td>6,205</td> </tr> </table>	R1	R2	11,119	11,122	5,382	6,205	<p>補助により、猟友会が有害鳥獣駆除を行う体制づくりができた。</p>	<p>引き続き体制確保の支援に努める。</p>	<p>森林環境課</p>
	R1	R2								
	11,119	11,122								
5,382	6,205									
<p>11,119</p>	11,122									
<p>実績値</p>										
<p><クマの学習放獣> 人身被害、農作物被害を防ぐため、錯誤捕獲等されたクマを遠方へ放獣する。</p>	<p>捕獲頭数(頭)</p> <table border="1"> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>45</td> </tr> </table>	R1	R2	31	45	<p>錯誤捕獲されたクマを、捕殺することなく人の生活圏から遠ざけることができた。</p>	<p>錯誤捕獲されたクマの対応は避けられないため、引き続き猟友会との連絡を密にし、対応する。</p>	<p>森林環境課</p>		
	R1	R2								
	31	45								
<p>錯誤捕獲状況によるため目標値の設定は不適當</p>										
<p>実績値</p>										

3 市街地においても、優れた景観や自然環境を保つ所はできるだけそれらを活かすとともに、ビオトープ等による動植物の生息・生育環境の保全・復元・創造を推進する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><河川をきれいにする会> 身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働事業として自主的活動の充実を図る。</p>	市民満足度調査(点)※満点4点【設問:自然や環境が適切に保全されている。】		<p>延べ15,013人に参加いただいた結果、130トンのごみを収集することができ、河川環境の美化に寄与することができた。</p>	<p>河川環境の保全を図るため、引き続き市民との協働事業として、美化・浄化活動の推進に努める</p>	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
4 動植物の生息・分布状況等の自然環境を把握するため、本市及び本市域を含むこれまでの博物館、大学等の研究機関、国・県の行政機関等の調査データを把握し、必要な調査及び調査期間を精査の上、調査を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><モニタリング調査> 場所を精査したうえで、生物のモニタリング調査を実施する。</p>	現況を把握する調査であるため、成果指標の設定は不適当		<p>島内地区の車屋せぎ・崖下せぎで植物相の調査を行った。</p>	<p>場所を替えながら、引き続きモニタリング調査を実施していく。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	実績値	乗鞍一の瀬園地で実施				車屋せぎ・崖下せぎで実施
<p><市民参加型生物調査> 松本市生物多様性地域戦略の行動計画に基づく事業として、身近な生き物を市民参加型で調査する。(4-2-2に同項目有)</p>	延べ参加人数(人)		<p>令和2年度はカエル調査を実施。136人から266件の報告があり、市民の意識醸成を図ることができた。前回の平成27年度の調査では見つからなかった種類で新たに4種類見つかった。</p>	<p>令和3年度はホタル調査を実施予定。平成28年度の実施結果と比較をする。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	実績値	233				369
5 自然環境情報を体系的にまとめ、自然教育活動に積極的に利用する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><自然環境情報の提供> 把握している自然環境情報を、自然教育活動にも利用できるように公開する。</p>	環境情報は不特定であるため、成果指標の設定は不適当		<p>市民参加型生物調査やモニタリング調査結果を公表するとともに、環境教育等でも活用できるようにホームページを更新した。</p>	<p>継続して市民等に発信していく。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	実績値	市ホームページ等で公開した。				市ホームページ等で公開した。
<p><こども向け環境基本計画ハンドブック作成事業> 松本市環境基本計画の推進にあたり、小学生として取り組むことができる事項を5つの柱ごと具体的に示したハンドブックを作成し、環境教育事業等に活用するもの。 こども向けに絶滅のおそれがある生きもの等について記載している。 (1-1-11、2-1-10、3-1-8、5-1-17に同項目有)</p>	パンフレット配付数(部)		<p>市内の全小学4年生及びエコスクール等の参加者へハンドブックを配布することにより、幅広い環境分野への興味関心のきっかけ作りにつなげている。</p>	<p>配布を継続し、授業の副教材等として幅広く活用してもらえるよう努める。 環境基本計画の改定に合わせ、内容を再検討するとともに、配布媒体の電子化を検討する。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	目標値	2,500				2,500
実績値	2,500	2,500				

6 公共工事等においては、生態系に配慮し貴重な自然環境を破壊しないよう、自然環境の情報を環境保全施策庁内推進会議等を通じて共有する。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<開発行為に関する事前協議> 生活環境を保全するため、開発行為の事前協議について意見書を提出する。	回答件数(件)		生活環境保全のため、開発行為の内容に応じ意見書を提出できた。	環境保全課
	R1	R2		
	目標値	担当課からの照会に応じるものであり、目標値の設定は不適當		
実績値	38	25		
7 河川・水路等の工事は環境に配慮した工法を採用する。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<河川改良事業> 降雨時の溢水被害を防止するため、老朽化している河川を改修する。	改修事業であるため、指標の設定は不適當		溢水被害を防止することを基本としつつ、できるだけ自然環境に配慮した工法の採用に努めている。	建設課
	R1	R2		
	目標値	—		
実績値	—	—		
<水路改修事業> 降雨時の溢水被害を防止するため、老朽化している水路を改修する。	改修事業であるため、指標の設定は不適當		溢水被害を防止することを基本としつつ、できるだけ自然環境に配慮した工法の採用に努めている。	建設課
	R1	R2		
	目標値	—		
実績値	—	—		
8 河川、湖沼、水路、公園、学校、田んぼ等、ビオトープのつながりを形成する。(完了項目)				
9 野生鳥獣と人の生活圏を区分するため、地域との協働により防護柵や緩衝帯の整備を進める。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<鳥獣害防護柵設置事業> 野生鳥獣による被害が拡大し、営農意欲の減退や耕作放棄地の増加など地域農業に大きな影響を与えている。そこで、防護柵の設置を進め、農家の経営安定を図るもの。	設置距離(km)		要望のあった地域への設置が完了した。整備済みの防護柵総延長は175.65km。当初計画の94.6%実施。	農政課
	R1	R2		
	目標値	0		
実績値	0	0		
<農作物食害防止事業補助金> 野生鳥獣から農作物の食害を未然に防止するため、農地周辺の防護柵等の設置に必要な資材費の一部を補助するもの。	設置距離(m)		事業実施の際に防護柵との整合性を図る必要がある。	農政課
	R1	R2		
	目標値	被害発生状況によるものであるため目標値の設定は不適當		
実績値	0	300		
10 猟友会と協力し、狩猟者登録数を増加させる。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<新規銃猟者確保事業> 新たに銃の所持許可を取得する方に対し、有害鳥獣駆除の従事を条件に、必要経費の一部(上限3万円)を補助する。	新規銃猟者(人)		高額となる銃所持許可に係る初期費用を軽減することにより、猟友会若年者の確保ができた。	森林環境課
	R1	R2		
	目標値	10		
実績値	3	4		

11 県や周辺自治体と協力し、野生鳥獣による被害軽減の取組みを行う。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<美ヶ原ニホンジカ個体数調整広域行政連絡協議会> 松本・上小地区の地方事務所が事務局となり、市町等関係団体が集り美ヶ原のニホンジカ対策についての連絡調整を行う。	会議回数(回)		令和元年度から、美ヶ原台上のニホンジカ駆除については、美ヶ原牧場畜産農業協同組合が主体を担うこととなり、定期的な連絡協議会は開催されないこととなった。	引続き、美ヶ原牧場畜産農業協同組合との連絡調整を密にする。	森林環境課
	R1	R2			
	目標値	定期的な会議は開催しないこととなったため目標値の設定は不適當			
実績値	0	0			
12 市民や専門家との協働により、自然との触合い、生物多様性の保全、里地里山の保全、整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<乗鞍・奈川高原の再生事業の策定> 地域の観光振興を図るため、施設整備及びソフト事業を住民一体とする計画を地域と協働し策定するため、各関係団体と検討及び調整を行うもの。	乗鞍・奈川の入込数(人)		乗鞍については、リニューアルオープンしたいがやレクリエーションランド、奈川については、キャンプ場とスキー場への誘客に努めた。	地元及び関係機関と連携し、計画的に施設整備等を進める。	アルプスリゾート整備本部
	R1	R2			
	目標値	650,000			
実績値	571,400	398,500			
<希少種の保護> 希少種保護活動に支援を行うもの。	希少種保護活動支援箇所数		国内野生動植物種であるゴマシジミの生息状況調査を実施した。	引き続き調査を継続実施する。	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
	目標値	1			
実績値	1	1			
13 市民との協働により「市民の森」の整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<芥子坊主山 市民の森整備事業> 岡田地区「芥子坊主山」一体の山林で、市民の自主的な活動により里山整備や学習を行う。	市民の森整備事業参加者(人)		平成29年度から年2回開催していたイベントを年1回へと縮小した。	ボランティア団体を支援し、継続して実施していく。	森林環境課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	82	0			

第4の柱 自然の恵みを大切に受けつぐまち(自然環境)

第2項 自然とのふれあいの推進

1 地域住民や学校との協働による自然教育活動を進める。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<小中学校環境教育支援事業> 小中学校内での環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ企業・団体等が講師となる「環境学習プログラム」を紹介するもの。(4-2-4に同項目有)	講座数(回)		「環境学習プログラム」の内容について学校及び地区公民館に周知し、地域住民と学校が連携して、地域の身近な自然を活用した環境学習が展開できるよう、情報提供による支援を実施した。	引き続き、学校を中心とした地域において本プログラムが活用されるよう積極的な周知を行うとともに、地域の実情に応じた有意義なプログラムが実施できるよう、環境関係団体とのマッチングを支援していく。	環境・地域エネルギー課
	目標値	R1 R2			
	実績値	30 30			
<幼稚園トライやる・スクール事業> 特色ある幼稚園づくりの一環として、人間性豊かな園児の育成と活力ある幼稚園を創造し、地域住民・未就園児との交流活動や地域に密着した幼稚園を目指す。	事業開催回数(回)		令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から中止した。	予算の見直しにより、令和3年度から事業廃止。	保育課
	目標値	R1 R2			
	実績値	45 45			
<トライやるエコスクール事業(小学校)> 特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。(農作物の栽培、交流学习、歴史・文化を学ぶ、みどりのカーテン事業、環境美化活動、リサイクル活動ほか)	対象校(校)		みどりのカーテンの設置やリサイクル等の体験活動のほか、自然環境、地球環境に関する学習をとおして、児童の環境に対する知識が高まった。 また、体験して学習することにより、環境保全や資源の節約を自ら心掛け、実践しようとする意識が生まれた。	小学校29校(うち分校1校)で事業実施予定。	学校教育課
	目標値	R1 R2			
	実績値	29 29			
<トライやるエコスクール事業(中学校)> 特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すと同時に、学校教育における環境教育の充実を図る。(農作物の栽培、交流学习、歴史・文化を学ぶ、みどりのカーテン事業、環境美化活動、リサイクル活動ほか)	対象校(校)		みどりのカーテンの設置やリサイクル等の体験活動のほか、自然環境、地球環境に関する学習をとおして、生徒の環境に対する知識が高まった。 また、体験して学習することにより、環境保全や資源の節約を自ら心掛け、実践しようとする意識が生まれた。	中学校21校(うち分校2校)で事業実施予定。	学校教育課
	目標値	R1 R2			
	実績値	21 21			

<p><松本版コミュニティスクール事業> 学校と地域が連携・協働しながら、地区公民館が学校と地域を結ぶコーディネーターとなり、子どもたちを地域全体で見守り育てる地域づくりを目指し、身近な地域の大人に見守られ、様々な体験活動を通じて豊かな感性や地域の愛着を醸成する。</p> <p>●学習・部活動：住民ティーチャー、学習・部活動ボランティア、自然体験・農業体験等</p> <p>●安心・安全：子ども見守り隊、子どもを守る安心の家、ヒヤリ・ハット地図づくり等</p> <p>●環境整備：庭木の剪定、施設の点検・修理、花壇・畑づくり等</p>	実施地区(地区)		<p>地域に係る幅広い活動(自然学習や里山体験など)を通して、また地域の大人が講師やスタッフとしてかかわることや、児童生徒が地域の自然や歴史などを深く学ぶ機会となっている。</p>	<p>引き続き各地区での取組みを進める。 公民館長会などにおいて情報交換を行い、他地区の好事例などを学び、各地区の取組みに生かす。</p>	生涯学習課
	R1	R2			
目標値	35	35			
実績値	35	35			
2 市民参加型の自然環境調査を計画し、継続的に実施する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><市民参加型生物調査> 松本市生物多様性地域戦略の行動計画に基づく事業として、身近な生き物を市民参加型で調査する。 (4-1-4に同項目有)</p>	延べ参加人数(人)		<p>令和2年度はカエル調査を実施。133人から266件の報告があり、報告者数が前回(H27)よりも約3倍増加した。(単年でも昨年度より約2倍増加。)本調査への関心の高まりがみられた。 また、前回(H27)カエル調査で報告がなかった種類の報告があった。(4種類)</p>	<p>令和2年度単年で大幅に報告者数が増え、令和2年度に実施した周知広告方法を今年度も参考に取り入れ、引き続き生物多様性への関心、理解が高まるよう取り組む。</p>	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
実績値	233	366			
3 市主催の自然観察会の実施や、各種団体等が開催する観察会の情報を提供する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><エコスクール事業> 市民全体の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会、学習会などを実施し、幅広い世代に環境学習を実施するもの。 (5-1-17に同項目有)</p>	参加人数(人)		<p>天候や新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模を縮小したことにより、参加人数は減少したが、全ての講座で定員を上回る申込みがあったことから、市民の学習ニーズは高く、本市の豊かな自然環境について考えることができる貴重な機会となっている。</p>	<p>コロナ禍により本市の豊かな自然環境に市民の関心が向いていると考えられることから、エコスクールや環境教育団体が実施している環境学習講座について、引き続き、様々な広報媒体を活用して積極的な情報提供を実施し、環境保全に関する意識啓発を図る。</p>	環境・地域エネルギー課
	R1	R2			
目標値	330	330			
実績値	294	145			
<p><科学博物館事業> 市民の科学への興味・関心を深めてもらうため、プラネタリウムの投映、天文機器を使用して天文講座の実施、科学展示室の管理、親子科学工作教室を実施する。</p>	観覧者数(人)		<p>科学展示室を含め、施設全体が老朽化しており、事業を実施するうえで課題となっている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした休館等を理由に観覧者数が少なかったもの。</p>	<p>Society5.0の到来を見据え、これまでの科学事業に加え、ICT事業にも力を入れ、内容の拡充を図る。</p>	教育政策課
	R1	R2			
目標値	5,900	5,900			
実績値	6,070	2,339			
<p><教文学習事業> 市内の小中学生(小学5年生、中学1年生)が、理科学習への興味と関心を高めることを目的に、プラネタリウム、理科実験、パソコン、科学展示室での体験学習を実施する。</p>	参加校(校)		<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的に、事業を実施しなかったもの。その代替事業として、小学校17校(希望校)に対して出前講座を実施した。</p>	<p>Society5.0の到来を見据え、これまでの科学事業に加え、ICT事業にも力を入れ、内容の拡充を図る。</p>	教育政策課
	R1	R2			
目標値	49	48			
実績値	49	0			

<p><山と自然博物館事業> 松本地方の自然・山岳等に 関連する資料の収集、保管、 調査研究、展示、講座・講演 会を開催し学都松本の推進を 図る。 (5-1-14に同項目有)</p>	講座参加者の満足度(%)		<p>コロナ禍により、市民の屋外 での活動への関心が高まった ためか、自然観察講座への 申し込みが増えた。 自然への興味関心が一過 性のものにならない様な工夫 が必要。</p>	<p>屋外活動への関心が高 まった市民の講座参加を促 すため、積極的な情報提供 を行っていく。</p>	博物館	
		R1				R2
	目標値	100				100
	実績値	50	60			
4 民間のノウハウを活用した環境教育を推進する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><小中学校環境教育支援事 業> 小中学校内での環境教育の 推進を図るため、環境分野の 専門性を持つ企業・団体等が 講師となる「環境学習プログ ラム」を紹介するもの。 (4-2-1に同項目有)</p>	講座数(回)		<p>「環境学習プログラム」の内 容について学校及び地区公 民館に周知し、地域住民と学 校が連携して、地域の身近な 自然を活用した環境学習が 展開できるよう、情報提供に よる支援を実施した。</p>	<p>引き続き、学校を中心とした 地域において本プログラムが 活用されるよう積極的な周知 を行うとともに、地域の実情に 応じた有意義なプログラムが 実施できるよう、環境関係団 体とのマッチングを支援して いきます。</p>	環境・ 地域 エネルギー 課	
		R1				R2
	目標値	30				30
	実績値	42	50			
5 子どもが安全に自然に親しみながら遊べる場を提供する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><ネイチャリングフェスティ ブ> 未来を担う子どもたちの心と 体を育成し、次代にふさわしい 人・自然・環境とふれあい、交 流・対話を深めるもの。</p>	参加者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症 の影響により、イベントは中止 となった。</p>	<p>感染予防対策を徹底し、規 模をやや縮小し、コロナ禍で も3密を回避しながら、家族で 外で遊べる新しいイベントと して実施する予定。 人と自然・環境とのふれあ いを深めるイベントとして継 続していく。</p>	こども 育成課	
		R1				R2
	目標値	20,000				—
	実績値	21,000	—			
<p><奈川高ソメキャンプ場> 市民等の福祉の増進と森林 の多目的機能の向上を図る。</p>	利用者数(人)		<p>快適に施設を利用できるよ う環境整備に努めた。</p>	<p>観光誘客宣伝を強化する。</p>	アルプス リゾート 整備 本部	
		R1				R2
	目標値	13,100				13,100
	実績値	11,419	5,712			
<p><奈川ウッディ・もっく> 市民等の福祉の増進と森林 の多目的機能の向上を図る。</p>	利用者数(人)		<p>快適に施設を利用できるよ う環境整備に努めた。</p>	<p>観光誘客宣伝を強化する。 フォーレストフィールドを活用 した合宿の受入を検討する。</p>	アルプス リゾート 整備 本部	
		R1				R2
	目標値	14,600				14,600
	実績値	15,503	11,639			
<p><野麦峠オートキャンプ場> 市民等の福祉の増進と森林 の多目的機能の向上を図る。</p>	利用者数(人)		<p>屋外の施設であるため、観 光客の入り込みについては、 天候の影響を受けやすい。</p>	<p>施設の改修を行う。観光誘 客宣伝を強化する。</p>	アルプス リゾート 整備 本部	
		R1				R2
	目標値	2,950				2,950
	実績値	1,821	834			
<p><小鳥と小動物の森維持管理 業務> 市制施行70周年を記念して 開園し、身近な動物との触れ あいの場を提供するもの。</p>	動物園入場者数(人)		<p>松本市唯一の動物園とし て、小動物と気軽に触れ合 えるなど、動物について楽し みながら学べる無料施設とし て、子供から大人までの多く の市民や来訪者の憩いの場 となっている一方、施設の老 朽化が課題となっている。</p>	<p>老朽化が著しい施設を令 和3年度より順次改修し来園 者が楽しみながら観察できる 施設の整備を行う。</p>	公園 緑地課	
		R1				R2
	目標値	稼働日数及び天候に左右 されるため、目標値の設定 は不相当				
	実績値	—	—			

<p><美ヶ原少年自然の家管理> 自然との関わりや集団生活を通じて、青少年の健全な心身発達を図る。(キャンプ、交流会、研修会等)</p>	施設の利用率(%)		<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、小学校のキャンプが見送りとなったことと、一般利用者の宿泊を禁止したことにより利用率が大幅減となった。 なお、トイレ(学校登山時の利用)及び屋外施設(バーベキュー、飯盒炊飯等)に限り利用可としているが、利用は5件となっている。</p>	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設利用の制限をします。 なお、屋外施設は、利用可能としているので、利用をアピールをしていく。</p>	学校 教育課
	R1	R2			
	目標値	46.4			
実績値	40.5	2.6			
6 自然保護センターでの自然保護、環境教育の取組みを進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><美ヶ原自然保護センター管理業務事業> 美ヶ原の植生、野生動物の生育種などの環境や自然保護の必要性を広く周知するために設置するもの。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、4～5月を閉館していたこと、また7月の長雨により、利用者が4,028人減となった。</p>	<p>感染防止対策を講じて、自然観察会の開催や各種イベントへの協力を継続して実施するとともに、美ヶ原高原の魅力効果を効果的に発信していきたい。</p>	観光 プロモーション課
	R1	R2			
	目標値	15,800			
実績値	13,233	9,205			
<p><乗鞍自然保護センター> 乗鞍高原を訪れる市民・観光客に、乗鞍高原の動植物や文化、地理を分かりやすく解説する施設で、長野県が建設し、松本市が委託を受け、管理運営を行うもの。</p>	利用者数(人)		<p>自然観察会や講習会を実施した。</p>	<p>インバウンドに対応した案内標記の整備を検討する。</p>	アルプス リゾート 整備 本部
	R1	R2			
	目標値	9,600			
実績値	9,024	4,736			
7 その他					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><東山一帯遊歩道整備> 東山一帯の宣伝事業を行うもの。</p>	美ヶ原高原入込数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、4～5月を閉館していたこと、また7月の長雨により、入込数が196,500人大幅減となった。</p>	<p>感染防止対策を講じて、受入体制を強化していく。 美ヶ原観光連盟と連携し、東山地域の活性化を図る。</p>	観光 プロモーション課
	R1	R2			
	目標値	637,000			
実績値	491,800	295,300			
<p><遊歩道施設管理委託事業> 市内遊歩道の維持管理を行うもの。</p>	市内全域で不特定多数が利用につき、指標の設定は不適當		<p>観光客等の利便を図ることができた。</p>	<p>倒木の処理を行うなど、遊歩道の安全管理を今後も行っていく。</p>	観光 プロモーション課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><美ヶ原高原長距離遊歩道整備事業> 東山地域に長距離遊歩道、公衆便所を整備し、周辺地域・観光の活性化につなげるもの。</p>	美ヶ原高原入込数(人)		<p>コロナ禍でのアウトドア需要をとらえ、豊かな自然環境を保持した観光誘客を行っていききたい。</p>	<p>自然観察会の開催、美ヶ原高原ロングトレイルの利用促進を行うとともに、老朽化した箇所を整備に取り組む。</p>	観光 プロモーション課
	R1	R2			
	目標値	637,000			
実績値	491,800	295,300			

<p>< 沢渡駐車場整備事業 > 上高地へのマイカーの乗換拠点である沢渡地区駐車場の整備を環境省と共に行うもの。</p>	上高地入込数(人)		施設及び設備整備を実施した。	観光誘客宣伝を強化する。	アルプスリゾート整備本部	
		R1				R2
	目標値	1,400,000				1,400,000
	実績値	1,240,600	426,900			
<p>< 登山道整備業務 > 岳都・松本が誇る北アルプス南部地区に訪れる登山者が、安全で快適な登山が行えるように登山道等の維持補修整備を行い、山岳遭難事故の抑制と森林愛護及び美化普及を図る。</p>	公表数値がなくなったため、指標の設定は困難		登山道等維持連絡協議会で毎年重点整備路線を決定、必要性、計画性をもって整備を実施した。	引き続き、登山道等維持連絡協議会で重点路線を決定し、計画的に登山道整備を実施する。	アルプスリゾート整備本部	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			
<p>< 北アルプス山岳環境対策連絡協議会 > 山岳におけるし尿、雑排水、ゴミ処理等の環境に対する問題の解決のため、地方自治体と山小屋関係者の幅広い参画により、山岳環境保全等の取り組みを実施するもの。</p>	公表数値がなくなったため、指標の設定は困難		現在の課題を洗い出し、共有を図った。	協議会のあり方を検討する。	アルプスリゾート整備本部	
		R1				R2
	目標値	—				—
	実績値	—	—			

第5の柱 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)

第1項 松本らしい景観・文化の保全と創出

1 景観計画・景観計画デザインマニュアル・松本市歴史的風致維持向上計画による景観形成を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><公共案内サイン基本計画の推進> 多様な市民や来訪者が安心して目的地を目指すよう、ユニバーサルデザインに沿った案内サインへと改良するもの。</p>	設置数(件)		5年に一度の頻度で全面的な盤面修正を実施しており、直近では平成29年度に実施した。	維持補修を継続するとともに、インバウンド対応のための多言語対応など機能向上に努める。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	計画推進によるものであり、目標値の設定は不適當			
実績値	58	58			
<p><景観計画の推進(窓口、電話相談業務)> 良好な景観形成を図るため、景観計画・屋外広告に係る問合せ、相談に対応するもの。</p>	相談件数(件)		相談窓口が多岐にわたるため、定量的な計測は困難。	窓口・電話対応はこれまで通り実施する。あわせてホームページを活用するなど、景観形成にかかわる周知広報に努める。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	相談対応業務のため目標値の設定は不適當			
実績値	—	—			
<p><景観計画の推進(行為届出の受理・審査・適合判定・景観審議会・評価会)> 良好な景観形成を図るため、景観計画で定めた行為の制限事項について、必要な届出の審査に係る事務・指導・助言を行い、景観計画の周知や内容の検討・研究をする。(景観審議会・評価会・調整)</p>	申請・届出件数(件)		中心市街地における大規模建築物に対して、事前に景観計画の協議を行う、事前協議制度を実施している。	個別の計画内容に対し、事前に景観配慮ができるよう景観の考え方を整理して周知に努める。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	届出に基づくものであるため、目標値の設定は不適當			
実績値	183	145			
<p><歴史まちづくり事業(歴史的風致維持向上計画の推進)> 近代遺産の大切さを景観的視点から再確認し、将来に向けて保存活用することで、歴史的風致の維持向上を図り、城下町松本の再生を目指す。</p>	計画推進によるものであり、指標の設定は不適當		第1期計画の最終年度となったことから、最終評価を行うとともに第2期計画案のパブリックコメントを実施した。	第2期計画を策定し、国へ認定申請を行うとともに、計画に基づいた適切な進捗管理を実施していく。	お城まちなみ創造本部
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
2 景観計画における行為制限の上乗せを追加する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p>景観計画で定めた景観形成基準については、今後、より詳細な基準づくりが必要な場合は地域の特性や住民の意向を反映させるため、地域住民の合意を得ながら制限の追加、上乗せをする。</p>	地域特性や住民意向によるため、指標の設定は不適當		現計画の景観形成基準は、景観事前協議制度の運用を想定したものではないため、好ましい景観への誘導が難しい。	景観形成基準の充実等を行うため、令和2年度から景観計画の見直し作業を開始している。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
3 建築物の高さ制限等について、より実効性のあるものにするため、高度地区などの都市計画による手法を検討する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p>本市が進める城下町の都市空間創出と高層建築物の関係について、松本のあるべきまちづくりの姿を念頭に、景観計画で定める高さの基準のあり方について検討する。</p>	地域特性や住民意向によるため目標値の設定は不適當		定量的な高さ規制は実施されていないため、景観事前協議制度による定性的な基準による景観誘導を図った。	事前協議制度により、引き続き一定規模以上の建築物に対して景観的配慮を求めていく。また、定性基準強化のため、景観計画の見直しの中で、眺望点の設定や景観形成基準の見直しなどを進めていく。	都市計画課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			

4 街なみ環境整備事業により中心市街地の景観形成を図る。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><歩いてみたい城下町整備事業></p> <p>城下町の回遊性の向上と地区内の活性化を図るため、歩行者が歩きやすい道路整備や憩いの場となる広場等の整備を推進する。</p>	主要12の通りの春と秋の平均歩行者数の計(人)		当初計画した路線のうち、主要な路線の道路高質化は令和2年度で完了した。	今後は次世代交通政策に関連し、歩行者・自転車を優先した利用を行うための検討や交通規制について交通ネットワーク課などと調整していく。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値 城下町の回遊性の向上と地区の活性化を図る					
	実績値	64,035	56,871			
<p><地域住宅支援(街なみ修景)総合交付金事業補助金></p> <p>歴史や文化を活かした統一感のある街なみ景観を創出するために、まちなみ協定に基づいたファサード修景整備を実施する場合に費用の一部を補助するもの。</p>	修景補助件数(件)		景観形成に一定の効果がでており、効果的な施策である。平成30年度から三の丸地区において制度を運用している。	今後公共施設をはじめ、多数の建築物が更新される三の丸地区においてのファサード修景補助を継続して運用する。 街並みガイドラインに沿った質の高い修景とするため地域住民と共に事業者との協議を継続する。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値 3	3				3
	実績値	1	3			
5 松本市屋外広告物条例による屋外広告物の改善及び撤去指導を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><屋外広告物条例の推進(許可事務業務)></p> <p>景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、条例で必要な許可物件の許可事務を行うもの。</p>	申請許可件数(件)		平成30年度より安全点検の実施が義務化され、それに伴い、破損・汚染した屋外広告物の廃止、除去が進められた。	松本市が中核市となり、屋外広告物の登録事務が長野県から移管された。事務の効率化を図るため、条例を全面改正し、引き続き良好な景観の形成を図る。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値 申請に基づくものであるため目標値の設定は不適当					
	実績値	355	399			
<p><屋外広告物条例の推進(条例周知・違反対応)></p> <p>景観の重要な構成要素である屋外広告物の適正表示と良好な景観形成への誘導を図るため、条例の周知や違反広告物の対応を行うもの。</p>	違反広告物撤去数(枚)		違反広告物について継続的な指導を実施し、改善が進められた。	引き続き条例の周知や違反広告物の改善に注力するほか、落下事故があった際には、屋外広告物の安全について新たに指導を行う。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値 掲示される違反広告であるため目標値の設定は不適当					
	実績値	29	0			
6 景観賞、景観シンポジウム等を実施する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><景観計画の推進(景観賞の選定・選考委員会・景観シンポジウム・景観賞表彰式の開催)></p> <p>松本らしい優れた景観に寄与する建造物や活動を表彰し、シンポジウムなどで紹介することで良好な景観形成に対する市民意識の高揚を図る。</p>	応募数(件)		景観賞の公募を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響から、審査が実施できていない。エッセイ講座を開催し、景観に対する市民意識の向上を図った。	景観に悪影響を与える行為等の制限(届出等)と良好な景観形成を促す行為等の促進(景観賞を核とした啓発事業)をセットで推進することで、松本ならではの良好な景観形成を促す。 審査を実施できていない昨年度公募分について、今年度審査を行い市民への周知を進める。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値 良好な景観形成に対する市民意識の高揚が趣旨のため目標値の設定は不適当					
	実績値	28	27			
7 遊休荒廃農地での景観作物等の栽培を支援する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><うるおいのある村づくり事業></p> <p>まつもと農村女性協議会への委託事業として、農山村の景観保全を目的に、公園やプランターでの花栽培の外、5地区では1,900㎡の農地を花畑にしているもの。</p>	景観作物だけの栽培は推奨しないため、指標の設定は不適当		地区によっては積極的に活動しているが、全体的に協議会会員の高齢化により作業が負担となり、規模縮小傾向にある。	各地区の現状に合わせ、継続可能な範囲で活動を維持する。	農政課	
		R1				R2
	目標値 —	—				—
	実績値	—	—			

<p><花の種の配布> 地元団体等が景観づくり等を目的に遊休荒廃農地へ景観作物等の栽培を実施する際、種等について支援要請に応じて提供するもの。</p>	要望により配布するものであるため、目標値の設定は不適當		支援要請があったため、花の種を配布し、対応することができた。	新たな団体から要請があった場合でも対応する。	公園 緑地課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
8 水めぐりの井戸整備事業により整備した箇所の保全に努める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><水めぐりの井戸整備事業補助金> 市民や観光客が集い、回遊性に富んだ歩く魅力のある中心市街地の拠点施設整備のために、中心市街地の道路沿いにある既存の個人所有井戸を、公の用にも利用可能に整備する場合に費用の一部を補助するもの。</p>	市民が利用可能な個人の井戸数(箇所)		個人所有の井戸が補助制度により整備されることで、まちに潤いをもたらすようになった。これにより所有者自らがまちの景観資産として井戸を認知するようになったと思われる。	観光資源として市民や来街者の目に触れるよう、公の施設と同様に積極的に情報提供を行う。	都市 計画課
R1	R2				
目標値	—				
実績値	11	11			
9 内環状北線整備事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><都市計画道路内環状北線整備事業> 松本城を中心とした歴史的風致維持向上を図るため、松本城南・西外堀復元及び内環状北線整備を一体的に行うもの。</p>	長期的な事業であり、単年の指標の設定は不適當		松本城を中心としたまちづくりを進め、風格ある城下町まつもとの再生を目指すため、道路事業の進捗を図った。	引き続き、事業を継続していく。	お城ま ちなみ 創造本 部
R1	R2				
目標値	—				
実績値	—	—			
10 南・西外堀復元事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><松本城南・西外堀復元事業> 国宝松本城と城下町の歴史を活かした水と緑とにぎわいのあるまちづくりを行うため、松本城南・西外堀復元を内環状北線整備と一体的に行うもの。</p>	長期的な事業であり、単年の指標の設定は不適當		令和2年度末までの事業用地取得率は66.7%となった。今後の整備のあり方について検討した。	事業用地の取得に引き続き取り組む。堀復元及び整備のあり方等について、引き続き検討する。	お城ま ちなみ 創造本 部
R1	R2				
目標値	—				
実績値	—	—			
11 松本城史跡整備事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><石垣修理事業> 経年劣化や石垣上の樹木等の影響により崩落の危険性が生じた石垣を、史実に基づいて改修するもの。</p>	改修事業であり、指標の設定は不適當		令和元年度に完了した本丸北裏門台石垣解体修理工事の報告書を作成・配布した。また、石垣の動向を注視するための動態観測調査を実施した。	石垣の動向を確認するための動態観測等を継続して実施する。	文化財 課
R1	R2				
目標値	—				
実績値	—	—			

12 松本城保存管理事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><松本城管理運営事業> 1 国宝松本城天守の公開及び保全管理 2 松本城本丸庭園、松本城公園等の管理及び整備 3 駐車場管理</p>	管理運営事業であり、指標の設定は不適當		<p>文化財の保全管理を図りつつ、観光資源として観光客の受け入れを行い、国宝としての適正な管理運営ができた。 (令和2観覧者数)311,431人 (松本城本丸庭園、松本城公園での主なイベント) ・夜桜会 ・太鼓まつり ・薪能 ・月見の宴 ・そば祭り ・お城まつり ・鷹狩 ・氷彫フェスティバル (令和2年度は新型コロナウイルスの影響で全て中止)</p>	引き続き、適切な管理運営事業を行う。	松本城管理課
	目標値	R1 R2			
	実績値	— —			
<p><展示品管理事業> 火縄銃などの火器を主力兵器とする攻防を想定して築いた松本城に赤羽氏が寄贈された松本城鉄砲蔵赤羽コレクションの計141挺の鉄砲のメンテナンスを行い常時公開している。</p>	展示日数/年(日)		<p>(展示状況) 天守1階 昭和の大修理時の銃、壁等の銃、壁等 天守2階 赤羽コレクションの鉄砲、火薬袋等 渡櫓内 発掘時の出土品(実施イベント) ・鉄砲蔵見学会(令和2年度は中止)</p>	引き続き、適切な展示品管理事業を行う。	松本城管理課
	目標値	R1 R2			
	実績値	363 362			
<p><松本城歴史資料保存事業> 平成27年度まで実施した松本城関連絵図等の修復、電子化、レプリカ等の作成が完了。平成28年度からは徳川林政史研究所所蔵の藩主戸田家関係文書の複製を入手し、調査・研究を行うもの。</p>	調査研究事業であり、目標値の設定は不適當		<p>戸田家文書を継続的に入手し、文書の内容確認と目録を作成した。 なお、調査結果は、松本城の教育普及事業や整備事業に活用している。</p>	引き続き、計画的に文書の入手及び調査研究を実施する。また、これまで入手してきた資料について、補修等、必要な対応を図る。	文化財課
	目標値	R1 R2			
	実績値	戸田家文書28点の複写を入手し、調査・研究を実施した 戸田家文書25点の複写を入手し、調査・研究を実施した			
13 松本城の世界遺産登録をめざす取組みを進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><松本城世界遺産調査研究事業> 国宝松本城の世界文化遺産登録に向け、国、県、犬山市及び松江市等関係団体と協力し、調査研究を実施するもの。</p>	会議回数(回)		<p>・近世城郭群世界遺産登録推進会議で、国宝5城等の世界遺産登録に向け、必要な調査研究や事業を実施した。 ・世界遺産登録のための提出書類等のブラッシュアップを実施した。</p>	<p>・近世城郭群世界遺産登録推進会議等を開催し、世界遺産登録推薦書作成に向け、再精査を行う。 ・次回の国際会議開催に向けての準備を進める。 ・長野県との協力体制を深めるとともに、関係自治体での推進体制を整備する。</p>	文化振興課
	目標値	R1 R2			
	実績値	3 3			
<p><「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会> 松本城の世界遺産登録の実現をめざし、松本市民の宝である松本城の恒久的な保存と文化財保護意識の醸成及び地域の活性化を図る。</p>	関係団体によるものであるため、指標の設定は不適當		<p>・市民及び実行委員会会員を対象とした、松本城及び世界遺産に対する理解を深める事業を実施した。 ・小学校を対象とした松本城検定クイズや松本城親子探検ツアー、地区普及啓発活動等を実施した。</p>	市民及び実行委員会会員を対象とした、松本城及び世界遺産に対する理解を深める事業を引き続き実施する。	文化振興課
	目標値	R1 R2			
	実績値	— —			

14 文化財を後世に引き継ぐとともに、有効活用を図るために、「歴史文化基本構想」を策定し、文化財の保存、整備を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><あがたの森文化会館管理運営></p> <p>旧松本高等学校校舎を文化財として保存し、後世に受け継ぐとともに、これを市民の生涯学習、文化活動の拠点として活用するもの。</p>	延べ利用者数(人)		<p>講堂西玄関工事は、講堂を一般開放しながら工事が終了した。本館耐震工事を南棟東側から開始。工区以外の部屋は、利用可能としてきたが、利用部屋数の減とコロナウイルス感染症対策により大規模なイベントの中止や利用制限のため大幅な利用減となった。</p>	<p>平成30年度から6年計画で耐震補強工事を実施。会場利用が制限されているが、本館の工事期間中は、工区毎に利用可能な部屋をできるだけ有効に活用していく。また、塗装や設備等の劣化や老朽化が進んでいるため、国庫補助を取り込む改修計画の策定を進めていく。</p> <p>※耐震工事計画 ・本館:令和2～5年度</p>	生涯学習課
	R1	R2			
	目標値	80,500			
実績値	64,520	24,867			
<p><文化財保存管理(指定、修理・整備)></p> <p>価値ある文化財を後世に伝えるため、下記の事業を行うもの。</p> <p>①文化財の調査、意見具申を行い、国・県・市による文化財指定につなげる。</p> <p>②指定文化財を適正に保存するため、文化財パトロールを実施し、修理・整備を行う。</p>	指定等件数(件)		<p>①コロナ禍により文化財審議委員会を開催することができなかったため、新規指定・登録は1件にとどまったが、指定に向けた調査や国登録文化財の意見具申は適切に進めることができた。</p> <p>②文化財パトロールを実施し、文化財の状況を把握することができた。</p>	<p>貴重な文化財を後世に伝えるため、以下について取り組む。</p> <p>①文化財の調査・価値付けを行い、文化財指定・登録を進める。</p> <p>②指定等文化財を適正に保存するため、文化財パトロールを実施し、修理・整備を行う。</p>	文化財課
	R1	R2			
	目標値	5			
実績値	2	1			
<p><文化財保存管理(維持管理)></p> <p>国・県・市指定文化財について、適正に保存し後世に伝えていくため、必要な維持管理を行うもの。</p> <p>※市所有の国・県・市指定文化財件数 76件</p>	維持管理であるため、指標の設定は不適当		<p>市所有の文化財の状況を的確に把握し、修繕、清掃など保全に必要な管理を行い、見学者の安全確保にも配慮することができた。また、市民に向け文化財の普及・周知にも努めた。</p>	<p>引き続き、市所有の文化財を適正・安全に保存し後世に伝えていくため、必要な保全と管理を行い、文化財の普及・周知に努める。</p>	文化財課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><博物館事業(本館)></p> <p>市域の歴史・民俗資料の収集、保管、調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	講座等開催数(件)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で一部の講座・講演会事業が中止となったが、感染対策を行いながら実施可能な事業を開催した。収集、保管、調査研究、展示は、臨時休館期間以外は通常どおり実施し学都松本の推進を図った。</p>	<p>移転準備で休館となるため、本館での収集、展示、講座・講演会は一時的に停止する。保管、調査研究など資料整理に係る事業は休館後も継続的に行う。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	10			
実績値	14	9			
<p><まるごと博物館推進事業(本館)></p> <p>博物館連携、大学を含む学校機関との博学連携、市民協働事業を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	主要な特別展期間中観覧者(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、博物館の日に開催を延期し、3月21日に博物館まつりを博物館友の会会員、市民学芸員と協働で開催した。コロナ禍のなか博物館事業の推進を図った。</p>	<p>市民学芸員養成講座を開催し、引き続き新たな人材の育成を行う。また、分館で博物館まつりを開催する。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100,000			
実績値	34,390	67,331			
<p><旧開智学校事業></p> <p>国重要文化財旧開智学校校舎を公開するとともに、教育資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	資料登録率(%)		<p>平成以降の学習指導要領改訂等に対応できるように資料の分類を見直した。</p> <p>図書登録を進め、登録率は100%に近くなった。</p>	<p>見直した資料分類をもとに資料登録を進める。</p> <p>大学等の連携により、学術的な価値の高い資料群の整理や調査研究を進める。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	58			
実績値	56	58			
<p><考古博物館事業></p> <p>市域の考古資料の収集・保管・調査研究、常設・特別展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	利用者満足度(%)		<p>開館時に随時開催している古代体験講座は新型コロナウイルス感染症の影響から実施しなかった。</p> <p>ダイレクトメールでの出前講座周知は効果があり、新規に利用する学校が増えた。</p>	<p>未就学児向けの古代体験講座を充実させる。また、ホームページを積極的に活用し、松本市の考古学に関する情報を発信する。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	100	99.5			

<p><旧制高等学校記念館事業> 全国の旧制高等学校関係資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	特別展入場者数(人)		<p>展示、講座、講演会は感染症防止対策により、中止、延期になるものが多かった。中でも、一番大きなイベントである、夏の企画展と夏期教育セミナーが令和3年度へと延期となったことが実績値を大幅に下回る要因となってしまったのではなかと考える。資料の保存に関しては、資料のデジタルデータ化を積極に行った。</p>	<p>講座、講演会は完全予約制、人数制限、リモートでの開催など感染予防対策を徹底しながら行っていく。企画展も昨年度延期になったものや新しい企画展を開催し、来館が難しい方向けに、引き続きホームページでの情報発信をしていく。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	6,030			
	実績値	10,679	2,243		
<p><窪田空穂記念館事業> 窪田空穂を中心とした短歌・文学関係資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	利用者満足度(%)		<p>コロナ禍で多くの事業が中止となったが、企画展「ふるさと松本をうたう」の展示や今井恵子先生の記念講演会などを実施し好評であった。また、作品集「松本の子どもの歌」を予定どおり刊行することができた。</p>	<p>窪田空穂関係資料の寄贈が増えているが、本館と相談しながら、整理・登録を進め、収蔵資料公開展に生かしていきたい。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	100	100		
<p><馬場家住宅事業> 国重要文化財馬場家住宅を公開するとともに、近世・近代に関連した展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	講座定員の達成率(%)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざるを得なかった講座もあったが、開催した講座・講演会では定員を割り込むことはなく、各回満員となった。外出の機会が減る中、直接話を聞いたり体験することの魅力が改めて見直されたものと感じている。</p>	<p>馬場家に残る古文書を活用した展示・講座を実施し、馬場家に着目した企画を行う。これまでの重要文化財指定建築物主体の事業に加え、文書を通じて見えてくる馬場家や地域の歴史を打ち出すことで、従来と視点を変えた学習支援活動を行う。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	87.6	100		
<p><歴史の里事業> 市域周辺の近代建築物の公開と、近代の産業・人物に関する資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	アンケート調査による講座等参加者の内容理解度(%)		<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に予定していた近代建築に関する企画展及び講座を中止とした。 中止とした展示の代わりとして、これまでに開催した展示の「振り返り展」を実施し、身近にある近代建築を紹介する場とした。</p>	<p>令和2年度に中止した展示・講座等を開催することで、市民が身近にある文化財や近代の産業への理解を深める機会を創出する。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	100	-		
<p><時計博物館事業> 時計関係資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し、学都松本の推進を図る。</p>	園児説明会参加人数(人)		<p>春の遠足シーズン(5月26日～6月12日)に合わせ計画していた園児対象の「古時計説明会」の開催は、49園より申込みいただいていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止を余儀なくされた。</p>	<p>市内の園児を招いての「古時計説明会」は当館の主要事業である。当市の新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、安全対策に万全を期し、開催に向け準備を進める。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	2,020			
	実績値	1,782	0		
<p><山と自然博物館事業> 松本地方の自然・山岳等に関連する資料の収集・保管・調査研究、展示、講座・講演会を開催し学都松本の推進を図る。 (4-2-3に同項目有)</p>	講座参加者の満足度(%)		<p>コロナ禍により、市民の屋外での活動への関心が高まったためか、自然観察講座への申し込みが増えた。 自然への興味関心が一過性のものにならない様な工夫が必要である。</p>	<p>屋外活動への関心が高まった市民の講座参加を促すため、積極的な情報提供を行っていく。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	100			
	実績値	50	60		

15 基幹博物館整備事業を進める。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><基幹博物館整備事業> 施設の老朽化、狭隘化が著しい現施設を「松本城及びその周辺整備計画」、「松本まるごと博物館構想」、「松本市基幹博物館基本計画」に基づき移転新築し、基幹博物館として整備する。</p>	基幹博物館の設計段階で目標値の設定は不適當		<p>建築工事着工後すぐに緊急事態宣言発出による工事の一時中止措置を行ったが、主体工事においては予定出来高を超えて進捗することができた。また、展示製作業務の受注者を決定し、準備工に着手した。</p>	<p>直営・指定管理者混合による運営スキームを軸とした管理運営について方針決定を図るとともに、基本事項となる休館日、開館時間及び観覧料等の検討を進め、必要な条例改正を行う。</p>	博物館	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
16 快適なかおり環境、音環境など、五感に心地よい環境を創出する。(完了項目)						
17 市民が心地よい環境に触れる機会を支援する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><こども向け環境基本計画ハンドブック作成事業> 松本市環境基本計画の推進にあたり、小学生として取り組むことができる事項を5つの柱ごと具体的に示したハンドブックを作成し、環境教育事業等に活用するもの。 こども向けに本市の住みよい環境について記載している。 (1-1-11、2-1-10、3-1-8、4-1-5に同項目有)</p>	パンフレット配付数(部)		<p>市内の全小学4年生及びエコスクール等の参加者へハンドブックを配布することにより、幅広い環境分野への興味関心のきっかけ作りにつなげている。</p>	<p>配布を継続し、授業の副教材等として幅広く活用してもらえよう努める。 環境基本計画の改定に合わせて、内容を再検討するとともに、配布媒体の電子化を検討する。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	目標値	2,500				2,500
実績値	2,500	2,500				
<p><乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会等への参加> 自然保護が必要とされる地域の自動車規制を適正に行い、持続的な自然環境の利用に努めた。</p>	協議会への参加であるため、指標の設定は不適當		<p>市として協議会に参加し、自動車の適正利用を促すことで、公園の快適な利用が図られた。</p>	<p>引き続き事業を継続実施する。</p>	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
<p><エコスクール事業> 市民の環境保全意識を高めるため、地域の環境資源を活用した自然観察会等を実施し、環境学習の機会を提供するもの。 (4-2-3に同項目有)</p>	参加人数(人)		<p>天候や新型コロナウイルス感染症の影響で中止または規模を縮小したことにより、参加人数は減少したが、全ての講座で定員を上回る申込みがあることから、市民の学習ニーズは高く、本市の豊かな自然環境について考えることができる貴重な機会となっている。</p>	<p>コロナ禍により本市の豊かな自然環境に市民の関心が向いていると考えられることから、エコスクールや環境教育団体が実施している環境学習講座について、引き続き、様々な広報媒体を活用して積極的な情報提供を実施し、環境保全に関する意識啓発を図る。</p>	環境・地域エネルギー課	
		R1				R2
	目標値	330				330
実績値	294	145				
18 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<p><松本市立博物館管理運営> 学都松本を支える博物館として、情報発信をし、市民の生涯学習と地域の振興に寄与することを目的に、松本市の文化・環境等を学習し、後世に伝えるうえで必要な資料を収集、展示、保管する。</p>	利用者数(人)		<p>年度当初は、前年度に引き続き休館していたが、6月1日に再開した。秋は、修学旅行生が多く前年を上回った月もあるが、ゴールデンウィーク、夏期間中、休館及び人の移動が制限されたことで、入館者は大きく減少した。</p>	<p>新博物館への移転のための準備を進める。</p>	博物館	
		R1				R2
	目標値	759,000				100,000
実績値	160,472	75,480				

<p><旧開智学校管理運営> 校舎の維持管理及び収蔵資料の維持管理、来館者対応</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月から5月にかけて臨時休館を行った。開館後も、人数制限や消毒など、感染拡大防止対策に努めた。 保存活用計画に先行して、防災計画案を作成した。</p>	<p>令和3年6月から耐震補強主体工事を行うため、休館となる。休館中に行う、防災計画に基づく防災設備更新、園路ユニバーサル化、売店棟修復等実施にむけて準備を行う。組織改正後に行うこととなった保存活用計画を令和4年3月までに策定する。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	103,000			
実績値	136,289	67,720			
<p><松本民芸館管理運営> 丸山太郎コレクションを主体とする民芸品の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月が臨時休館となった。その後も同感染症の影響で観光客が減少し、目標を達成できなかった。</p>	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努める。また、来館者の求める民芸館の姿を維持し、展示や環境整備の充実を図り運営したい。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	12,159			
実績値	12,236	6,296			
<p><考古博物館管理運営> 市域の考古資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため臨時休館を行った上半期は利用者が大幅減となった。対して、感染症拡大が比較的落ち着いた下半期は、前年度に対して増加した。</p>	<p>常設展展示資料を最新の研究成果を反映させるよう入替えをおこなう。これにより、リピーターにも楽しんでもらえる環境を整備する。 新聞やラジオなどに加え、SNSやホームページなどの媒体で施設の魅力をアピールする。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	4,500			
実績値	4,115	2,648			
<p><はかり資料館管理運営> 計測、計量など度量衡に関わる資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>令和2年度通しての新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、入館者が減少した。</p>	<p>今後も感染拡大防止対策に努めながら、はかりだけではなく、蔵座敷や庭の存在も紹介していく。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	10,000			
実績値	9,681	3,210			
<p><旧制高等学校記念館管理運営> 旧制高等学校記念館と収蔵資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展が中止や延期になる中、ホームページで企画展を公開するなど新しい試みを行った。また、ロビーで展示を開催し、来場者の目に触れる機会が増えるよう工夫した。</p>	<p>情勢の関係から来場者数の増加が難しくなるため、ホームページ上での企画展の開催、資料紹介などを行っていく。収蔵庫整理をしながら、様々な資料を企画展やロビー展示で公開していく。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	13,100			
実績値	13,721	4,092			
<p><窪田空穂記念館管理運営> 窪田空穂の作品等収蔵資料の公開や記念館、生家の維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>コロナ禍による休館や事業の中止により、来館者が減少したが、地元の小学校や大学での学習の場として活用してもらうことができた。</p>	<p>新資料の紹介や記念館周辺の紹介を、ホームページ、SNSなどを活用しながら発信する。 学習や研修での利用を市内学校や公民館に提案する。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	5,800			
実績値	2,728	1,426			
<p><馬場家住宅管理運営> 重要文化財に指定されている馬場家住宅を後世に残し伝えるため、資料の公開、建物の維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>利用者の減少傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う休館・企画展等の中止もあり、目標には届かなかった。冬場を中心に利用者の少ない状況が続いた。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による自粛の反動もあるが、一部企画展では展示内容の精査と積極的な広報活動により、平年以上の利用者が見られた。</p>	<p>馬場家の文書を活用した講座の開設など、従来と視点を変えた事業を展開することで、馬場家住宅の新たな魅力の発信を行う。また、重要文化財の建物や雰囲気とマッチした展示を研究、実践し、馬場家住宅の建築と歴史双方をより楽しめる館づくりを進める。</p>	博物館
	R1	R2			
	目標値	6,700			
実績値	4,011	2,875			

<p><歴史の里管理運営> 文化財に指定されている建物を後世に残し伝えるため、市域の近代建築物と、関連する資料の公開、保管に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に予定していた近代建築に関する企画展及び講座を中止とした。 また、同じく新型コロナウイルス感染症の影響により、年度当初に臨時休館の期間があったこと、加えて団体利用者が激減したことから、利用者数が前年度から大きく減少することとなった。</p>	<p>展示・講座等により、近代建築物や関連する資料を広く市民に公開し、市民が身近にある文化財や近代の産業への理解を深める機会を創出する。 また、来館者がより博物館を楽しむことができる活動を検討する。</p>	博物館
	目標値	R1 12,600			
	実績値	10,683	6,037		
<p><時計博物館管理運営> 16世紀～20世紀初頭にかけての日本、フランス、イギリス、スイス、アメリカなど8カ国に及ぶ古時計とその関連資料を保管、展示、研究、教育普及を行う。古時計の魅力伝えるため、常設展は時計を動いた状態で展示する動態展示を行っている。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による閉館の影響により、入館者は半減した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら企画展開催など、運営を実施していく。2002年オープン施設でありハード、ソフト両面でのリニューアルの検討が課題である。</p>	博物館
	目標値	R1 25,800			
	実績値	25,096	10,314		
<p><山と自然博物館管理運営> 市域の自然・山岳・その他資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、館・展望台を閉鎖したことにより施設全体の利用者数が減少した。 特別展の開催もあり博物館への入館者数は前年より増加した。</p>	<p>特別展・企画展以外にも施設全体の利用者を博物館に呼び込む施策を実施することで、入館者数の増加を目指す。</p>	博物館
	目標値	R1 38,800			
	実績値	28,285	22,945		
<p><四賀化石館管理運営> 四賀地区および周辺の化石資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、館内でのマスク着用・手指の消毒の呼びかけ、展示品その他接触することができた。毎年開催の体験型講座も、収容率に考慮して安全に実施できた。さらに、ホームページ上での資料公開を積極的に行うことで、コロナ禍でも安心して楽しんでもらえる運営ができた。反省として、化石採集地などの維持管理、環境整備の甘さが挙げられた。</p>	<p>引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底して、市民が安心して利用できる施設運営に努めたい。また、ホームページでの展示品公開や解説など、化石館に訪問しなくても楽しめる取組を実施する。前年の課題として、化石採集地などの維持管理、環境整備の甘さが目立ったので、四賀地域づくりセンターとも連携を図りながら、導線や足元の安全の確保、月1回程度のパトロールを実施したい。</p>	博物館
	目標値	R1 7,500			
	実績値	7,942	6,938		
<p><安曇資料館管理運営> 安曇地区および周辺の歴史民俗資料の公開、維持管理に関わることを行う。</p>	利用者数(人)		<p>5月16日から再開。秋は例年並みの入館者となったが、ゴールデンウィーク、夏期期間中に休館及び人の移動が制限されたことで、入館者は大きく減少した。</p>	<p>来館者のほとんどが県外者であるため、感染対策を徹底し、必要最小限の維持管理を継続する。</p>	博物館
	目標値	R1 1,400			
	実績値	988	432		
<p><松本城学びと研究事業(床磨き)> 松本城への愛着が高まり、市民が松本城を身近に感じられるよう教育普及に努め、学びの場を提供するもの。</p>	松本城への理解を深めるものであり、指標の設定は不適当		<p>子ども及び一般市民を対象として、松本古城会、地元企業、町会等の団体との協働により、松本城天守の床磨きと松本城に関する講座を定期的で開催している。 (令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で全て中止)</p>	<p>松本城の保存に市民が直接携わるとともに、松本城についてより深く知っていただける行事であり、今後も継続して開催する。</p>	松本城管理課
	目標値	R1 —			
	実績値	—	—		

第5の柱 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)

第2項 緑化と美化の推進

1 「緑の基本計画」の取組みを進める。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<都市公園使用許可> 都市公園の全部又は一部を独占して利用するための許可事務。	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不相当	適正な使用許可を行うことにより、良好な公園使用を維持できた。	新規の使用許可申請について、内容を精査する。	公園 緑地課
	R1 R2			
	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不相当 実績値 — —			
<都市公園占用許可> 都市公園の全部又は一部を独占して占用するための許可事務。	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不相当	適正な占用許可を行うことにより、良好な公園占用を維持できた。	新規の占用許可申請について、内容を精査する。	公園 緑地課
	R1 R2			
	申請に基づくものであるため、目標値の設定は不相当 実績値 — —			
<緑の募金> 長野県、中部森林管理局、(財)長野県緑の基金の主旨による緑化運動実施要領に位置づけられ、松本市に協力依頼のあるもの。 その還元金は緑対策費の財源となっている。	募金額(千円)	毎年、4～5月に全町会へ依頼し、緑の募金活動を実施しており、令和2年度も同様に実施した。	今後も、町会長を通して市内全地区の町会に募金の依頼や説明を継続して実施する。	公園 緑地課
	R1 R2			
	寄付行為であるため、目標値の設定は不相当 実績値 — —			
2 美しいまち松本づくり事業を進める。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<美しいまち松本づくり事業> 花いっぱい運動発祥の地にふさわしい美しいまちづくりのため、大型花壇の設置・維持管理、立体花壇・ハンギングバスケットの設置、各地区花いっぱい運動の支援等に取り組んでいる。	花いっぱい運動取組地区数(地区)	信州花フェスタ2019の開催を契機に、新たに花いっぱい運動に取り組む団体ができ、推進を図ることができた。	今後も花いっぱい運動を展開し、美しいまち松本づくり事業につなげる。	公園 緑地課
	R1 R2			
	目標値 35 35 実績値 35 35			
3 緑の相談を実施する。				
実施内容	実績	評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<緑の相談室(緑陰講座)> 緑陰講座を開催し、樹木や花の育成方法等の講習を行っている。	参加者数(人)	令和元年度以降、参加者が増加傾向にあり、緑に関心を示す市民が多くなったことが伺える。	今後も継続して、講座の開催を市緑化協会へ委託して実施し、緑に対する知識の普及を図る。	公園 緑地課
	R1 R2			
	目標値 130 130 実績値 141 185			
<緑の相談室(樹勢相談)> 民地における緑の保全、緑化の啓発を図るため樹勢相談を実施するもの。	相談件数(件)	制度の周知を積極的に行っていないため、相談件数は前年と比較して増加はしているが少ない状態である。	今後も継続して、樹勢相談を市緑化協会へ委託して実施し、制度の周知を積極的に行い、市内の緑の保護を図る。	公園 緑地課
	R1 R2			
	相談者の申請に基づくため、目標値の設定は不相当 目標値 実績値 22 28			

4 花いっぱい運動、オープンガーデン事業等を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><オープンガーデン事業> 多くの方々と一緒に楽しみながら情報交換等を行い、花いっぱい運動の一層の推進と、緑化の輪を広げるため、市民が丹精込めて育てている庭を一般に公開している。</p>	オープンガーデン登録数(箇所)		<p>オープンガーデンガイドブックの内容を更新し、毎年実施している。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響からオープンガーデンツアーは中止。</p>	<p>オープンガーデンガイドブックの作成方法を工夫する。 登録者数を目標値に回復する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	35 35			
	実績値	35 34			
<p><フラワーコンテスト開催> 花いっぱい運動を推進するため、ガーデニング愛好者に作品発表の場を提供するとともに、街並みを彩り花の魅力を再認識する機会となるイベントを実施している。 松本市も実行委員会の事務局として参画している。</p>	参加者数(人)		<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染防止のため中止。</p>	<p>今年度以降も、継続して実施する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	27 27			
	実績値	22 —			
<p><全日本花いっぱい連盟> 街を花いっぱいにする会の全国組織であり、記念事業の開催及び総会等を全国各地で持ち回り開催し、会員相互の連携、情報交換を図り、運動を推進するもの。</p>	大会参加者数(人)		<p>「第60回全日本花いっぱい名護市大会」は令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。</p>	<p>今後も継続して実施する。(松本で開催する場合を除く。)</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	1,000 1,000			
	実績値	1,000 —			
<p><花いっぱい運動団体事業> 街を花いっぱいにする会 社会を美しく・明るく・住みよくするために、松本から全国へ、さらに全世界を花いっぱいにしようという理念のもと、精神運動としての花いっぱい運動を推進している。</p>	花いっぱい運動の推進であり、目標値の設定は不適當		<p>信州花フェスタ2019の開催、松本市サテライト会場の開催を契機に新たに花いっぱい運動に取り組む団体ができ、推進を図ることができた。</p>	<p>今年度以降も、継続して実施する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	— —			
	実績値	— —			
<p><花いっぱい大会市民代表参加補助金> 全日本花いっぱい大会へ多くの市民、会員が参加できるように、大会参加事業を実施するもの。</p>	参加補助金であるため、目標値の設定は不適當		<p>「第60回全日本花いっぱい名護市大会」は令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。</p>	<p>松本で開催する場合は、改善すべき内容と確認しながら実施する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	— —			
	実績値	— —			
<p><保育園「花を育てる心」育成事業> 花いっぱい運動発祥の地として、幼稚園においても花を育てる心を育成することで、豊かな情操、感性を育むもの。</p>	植えた花の苗数(本)		<p>令和2年度は公立42園、私立14園でフラワーボックスを設置した。</p>	<p>予算の見直しにより、令和3年度から事業廃止。</p>	保育課
	R1	R2			
	目標値	園ごとに希望する花と数量、単価が異なるため目標設定が困難			
	実績値	1,960 2,070			
<p><幼稚園「花を育てる心」育成事業> 花いっぱい運動発祥の地として、保育園においても花を育てる心を育成することで、豊かな情操、感性を育むもの。</p>	植えた花の苗数(本)		<p>令和2年度は公立3園、私立7園でフラワーボックスを設置した。</p>	<p>予算の見直しにより、令和3年度から事業廃止。</p>	保育課
	R1	R2			
	目標値	園ごとに希望する花と数量、単価が異なるため目標設定が困難			
	実績値	380 290			

<「花を育てる心」育成事業> 小・中学校において、環境及び情操教育の一環として花(花壇)を育てるとともに、「花いっぱい運動」発祥の地として運動推進の一助とするもの。	市民への展示発表(回)		花を育てる活動を通し、種子から芽生えた命の大切さや夏の日差しに負けないよう見守り続ける粘り強さを学び、花に関心を寄せる児童・生徒が増えている。また、花の美しさや収穫物を分かち合うことで、他者から感謝される喜びを感じることができた。	事業の継続を望む声が多く、その成果は学校のみならず地域への広がりも見せているため、事業を継続していく。さらに多くの方々に関心をもっていただけるよう、市民への展示について場所や時期を検討していく。	教育政策課
	R1	R2			
	目標値	4			
実績値	4	4			
5 生垣設置の補助等による私有地の緑化を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<生垣設置補助金> 緑豊かな景観形成促進のため、個人住宅や事業所等に対して、生垣の設置費用に対して補助金を交付するもの。特に危険防止、避難路の確保等防災的側面からブロック塀等の生垣化について補助率・補助限度額を拡充している。	生垣設置補助延長(m)		平成30年度は大阪北部地震でブロック塀の倒壊があったことから、市内の緑化推進とブロック塀倒壊の危険性を周知した結果、補助金の利用者が増加したが、その後は減少傾向となった。	今年度以降も、継続して実施する。	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	780			
実績値	477.5	434.9			
<新築記念樹交付事業> 市内の緑化推進を図るため、住宅を新築して、1年以内の方の申請に基づき、苗木を交付している。	記念樹交付本数(本)		令和元年度は増税前の駆け込み需要の影響により件数が増加したが、令和2年度は減少傾向となった。	今年度以降も、継続して実施する。	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	1,000			
実績値	1,067	918			
6 公共施設の緑化を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<緑対策事業> 公園・緑地等の緑化を促進するため、町会等へ苗木を配布している。また、公共施設等へ森林林業振興会より交付される苗木を配布している。緑化推進委員協議会と協力し、苗木・花苗の配布を行うとともに、樹木の剪定・ガーデニングの講習会等を開催している。	緑化木等植栽箇所数(箇所)		町会、公共施設に花苗、苗木の配布を行い、市内の緑化を推進することができた。	今年度以降も、継続して実施する。	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	60			
実績値	86	82			
7 環境美化の促進について、市民に啓発し、市民の活動を支援する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<地区町会環境美化活動> 身近な地域の快適な生活環境を向上するとともに、ごみ分別による資源化と減量を推進する市民との協働事業として、地区環境衛生協議会、町会環境衛生部の自主的活動の充実を図る。(3-2-9に同項目有)	市民満足度調査(点) ※満点4点 【設問:ごみ減量や分別が適正に行われている。】		「ごみゼロ運動」「散乱空き缶等追放キャンペーン」及び地区一日清掃等、市民との協働並びに自主的活動により、美しい環境を大切にして未来につながるまちづくりに努めた。 しかし、コロナ禍のため、町会等の清掃活動が縮小された。	引き続き事業を継続して実施する。	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			

<p><河川美化・浄化活動> 身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働事業として、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。 (5-3-7に同項目有)</p>	<p>市民満足度調査(点)※満点4点【設問:自然や環境が適切に保全されている。】</p> <table border="1" data-bbox="486 212 742 405"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>のべ15,013人に参加いただいた結果、130トンのごみを収集することができ、河川環境の美化に寄与することができた。</p>	<p>河川環境の保全を図るため、引き続き市民との協働事業として、美化・浄化活動の推進に努める</p>	<p>環境保全課</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p><町会環境衛生部・地区環境衛生協議会活動費交付金> 町会環境衛生部及び地区環境衛生協議会の活動を発展、継続させ、きれいで住み良い松本市作りの協働事業を推進するため市内488町会の町会環境衛生部及び35地区の地区環境衛生協議会で、一斉清掃等を実施する。 (3-2-9に同項目有)</p>	<p>市民満足度調査(点)※満点4点【設問:まちなかが衛生的に保たれている。】</p> <table border="1" data-bbox="486 504 742 750"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>地区町会それぞれの市民主体の環境美化活動の取組みにより、環境の保全・良好な環境の確保と維持が図られた。</p>	<p>市民主体の環境美化活動を引き続き支援していく。</p>	<p>環境業務課</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p><豊かな環境づくり松本地域会議> 国、県、松本広域圏8市町村、関係団体等58団体で組織し、研修会や講演会等の環境啓発活動を実施する。</p>	<p>広域的な組織によるものであり、目標値の設定は不相当</p> <table border="1" data-bbox="486 840 742 1019"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>環境に関する様々な啓発が図られた。 国、県の指導及び研修会等に参加して、市民の美化活動を支援できた。</p>	<p>引き続き国、県や関係団体と連携を図っていく。</p>	<p>環境業務課</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p><上高地を美しくする会補助金> 上高地の美化清掃、自然環境保全に対する啓蒙啓発活動等を実施するとともに国立公園の適正利用及び観光のイメージアップを図る。</p>	<p>遊歩道整備、駐車場、バス停、公衆トイレ、国立公園の清掃活動等の様々な活動ため、指標の設定は不相当</p> <table border="1" data-bbox="486 1108 742 1299"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>北アルプス南部山岳地域及び上高地一帯のごみ拾いや8カ所の公衆トイレの清掃、給排水設備の点検、また、サルの追い払いや外来植物の駆除に取り組んだ。 自然環境保護と適正な利用が図られた。</p>	<p>利用者のマナー向上に寄与し、美しい環境が維持できるように美化活動を継続する。</p>	<p>アルプスリゾート整備本部</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p><乗鞍を美しくする会補助金> 乗鞍高原地域及び周辺の美化清掃、自然環境保護と快適なレクリエーションの育成を実施するとともに観光のイメージアップを図る。</p>	<p>遊歩道整備、駐車場、バス停、公衆トイレ、国立公園の清掃活動等の様々な活動ため、指標の設定は不相当</p> <table border="1" data-bbox="486 1388 742 1590"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>前川渡から三本滝駐車場までの県道沿線及び駐車場のごみ拾いや資源物回収、外来植物の駆除等に取り組んだ 自然環境保護と適正な利用が図られた。</p>	<p>旅行者や登山者にも自然保護活動の呼びかけ、指導を行う等、美化活動を継続する。</p>	<p>アルプスリゾート整備本部</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											
<p>8 ごみゼロ運動等の環境衛生活動を支援する。</p>													
<p>実施内容</p>	<p>実績</p>	<p>評価・検証</p>	<p>今年度以降の取組み</p>	<p>所管課</p>									
<p><市環境衛生協議会連合会補助金> 市内488町会の全環境衛生部長で構成する行政協力団体で、ごみゼロ運動や、一斉清掃等により、清潔で住み良い地域づくりを目指すため環境衛生活動を実施。</p>	<p>市民満足度調査(点)※満点4点【設問:まちなかが衛生的に保たれている。】</p> <table border="1" data-bbox="486 1780 742 1971"> <tr> <td></td> <td>R1</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table>		R1	R2	目標値	—	—	実績値	—	—	<p>「ごみゼロ運動」「散乱空き缶等追放キャンペーン」及び地区一日清掃等、環境美化活動を実施し市民参加を促進できた。</p>	<p>引き続き市民主体の環境美化活動を支援していく。</p>	<p>環境業務課</p>
	R1	R2											
目標値	—	—											
実績値	—	—											

9 ポイ捨て防止パトロール事業を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><不法投棄防止及びパトロール事業> 市民の快適な生活環境を維持するために、不法投棄パトロール、及び不法投棄物の回収を実施する。 (3-2-7に同項目有)</p>	不法投棄回収量(トン)		<p>河川改修により、河川堤防道路等へのポイ捨てが減少しているが、山間部道路沿いへの家電等不法投棄が増加している。</p>	<p>廃棄物の適正な排出への啓発事業の継続と関係機関との連携により、ポイ捨ての抑制に努める。</p>	環境業務課
	R1	R2			
	目標値	通報、パトロールにより回収した実績であるため			
実績値	8	9			
10 公園施設等の防災機能を更に向上させ、バリアフリー化等を進める。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><あがたの森公園他維持管理業務(直営)> 市民の潤い、やすらぎ、ふれあいの場として、また、災害時における避難場所としての役割等、公共の福祉の増進を図る。</p>	事故件数(件)		<p>強風や積雪による倒木等の事故防止に努めた。</p>	<p>施設点検を強化するため、研修を受けた職員による課内研修を行い、施設の安全性を確保する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	目標値の設定は不適當			
実績値	—	—			
<p><アルプス公園及びアルプスドリームコースター指定管理業務> 市民の潤い、やすらぎ、ふれあいの場として、また、災害時における避難場所としての役割等、公共の福祉の増進を図る。</p>	ドリームコースター利用者数(人)		<p>アルプス公園について、園路舗装及びマレットゴルフ場の防球のための丸太交換や客土の補充を行った。</p>	<p>指定管理者と連携を図り、災害時の連絡体制や施設の保守点検を強化し、利用者の安全性を確保する。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	稼働日数及び天候に左右されるため、目標値の設定は不適當			
実績値	—	—			
<p><都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業> 都市公園移動等円滑化基準(ユニバーサル化)に基づく施設の改築及び老朽化した施設の改築更新を主なものにより、利便性、安全性の向上を図る。</p>	一人あたり公園面積(m ²)		<p>あがたの森公園(1基)、寿台公園(1基)及び芳川公園(1基)について、洋式化を図った。</p>	<p>近接公園以外の既設公園について計画的にトイレのUD化を図る。</p>	公園緑地課
	R1	R2			
	目標値	20.00			
実績値	14.66	14.66			
11 放置自転車・放置自動車対策を継続する。					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<p><放置自転車対策> 安全で快適なまちづくりのため、市民(松本市への通勤・通学者等を含む)の自転車の安全利用及び自転車等の秩序ある適正な駐車対策を推進する。</p>	市民満足度調査(歩行者が安全に移動(市の現状))		<p>自転車等の撤去台数は減少傾向である。</p>	<p>秩序ある駐輪を推進するため、継続的に指導・警告を実施する。</p>	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値	—			
実績値	—	—			
<p><自転車駐車場管理運営> 自転車等の秩序ある適正な駐車と安全管理を図るため、自転車駐車場(9施設:有料4・無料5)の管理運営を行う。 (工事のため、H27.11より中条無料自転車駐車場休止中) (1-2-11に同項目有)</p>	利用率(%)		<p>令和2年度に松本駅周辺の有料自転車駐車場の駐輪システムとラックの整備改修を行い、利用者の利便性の向上を図った。</p>	<p>引き続き、松本駅周辺の自転車駐車場整備を行い、適正な管理運営を促進していく。</p>	自転車推進課
	R1	R2			
	目標値	100			
実績値	82.4	73.1			

12 その他					
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課
<空き家等の適正管理の指導> 良好な生活環境を保全するため、空き家等の放置をしないよう、所有者等に適正な管理を要請する。	相談件数(件)		苦情相談内容に応じて、個別に対応できた。	引き続き市民からの苦情相談に応じていく。	環境保全課
		R1 R2			
	目標値	市民からの苦情相談に対応するものであり、目標値の設定は不適當			
実績値	138 128				
<犬・猫等の適正飼育の啓発> 広報まつもと及び回覧板で、犬・猫等の適正飼育について啓発する。	啓発活動であるため、成果指標を設定することは不適當		犬・猫に起因する苦情発生場所においても、回覧等で適正飼育について啓発できた。	適正飼育啓発活動を継続実施する。	環境保全課
		R1 R2			
	目標値	— —			
実績値	— —				
<地域猫管理活動支援事業補助金> 飼い主のいない猫の増加を防止し、市民の生活環境の保持及び動物愛護の啓発を図る目的で、ボランティア団体が飼い主のいない猫に去勢・不妊手術を受けさせた際の手術代金を補助する。	手術実施頭数(匹)		地域猫指定地域で飼い主のいない猫がいなくなった地域が、令和2年度末で66カ所になった。	引き続きボランティア団体との協働により、飼い主のいない猫がいらない地域を増加させる。	環境保全課
		R1 R2			
	目標値	手術する猫の性別の比率により手術頭数が変動するため、目標頭数の設定は不適當			
実績値	145 154				
<アルプス公園整備事業> 施設整備及び森林造成事業を行うことにより、豊かな緑に包まれた空間を活かし、市民の健全な心身を育む場とする。	一人あたり公園面積(m ²)		公園内の枯れた松等の伐採を実施した。	引き続き、松枯れ被害木の伐採を行う。 計画的に園路や施設等の整備を行う。	公園緑地課
		R1 R2			
	目標値	20.00 20.00			
実績値	14.66 14.66				
<植木まつり> ・波田地区の特産である山林種苗、緑化木のPR ・緑化の推進(苗木無料配布) ・生垣設置の推進、PR(生垣助成の説明、相談等) ・地産地消の推進	来場者数(人)		・緑化木の販売や樹木管理等の無料相談も好評である。 ・農産物直売所、加工販売施設との協賛により、農産物のPRも行われている。 ・波田地区の農林業の推進や市内の緑化の推進につながり、イベントも定着している。	植木まつりは、実行委員会組織で開催されている。 今まで当課として負担金を支払っていたが、令和3年度で終了とする。	森林環境課
		R1 R2			
	目標値	1,000 500			
実績値	1,600 300				

第5の柱 緑・水・歴史を育むまち(快適環境)

第3項 親しめる水辺の創出

1 護岸等、可能な箇所は親水性に配慮して整備する。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<車屋堰整備事業> 稀少な湧水からなる車屋堰を保全するために、崩落した護岸を木柵や自然石による工法で平成24年度から整備を実施。	整備延長(m)		生息する希少生物等に配慮した工法で整備を実施し、生物多様性の保全を図ったものについて、令和2年度で予定箇所の整備事業は完了した。	希少生物等や多様な生物の生息環境としての保全を図るために、自然石などによる工法で今後、維持補修を行う。	耕地課	
		R1				R2
	目標値	10				4.2
実績値	10	4.2				
<多面的機能支払交付金事業> 当事業により、地区の活動団体が実施している生態系保全(石積補修)、景観形成(植栽、遊歩道整備)に対する支援を行う。	地区の活動団体が実施するため、指標の設定は不相当		共同活動に取り組む活動団体が、水辺や緑の景観を形成する活動を実施しているが、護岸等を整備している団体はない。	環境への意識の高まりから、緑と緑豊かな景観に配慮した事業に対する期待は大きい。農村の環境や経過を保全し、さらに向上させるための活動への支援を継続していく。	耕地課	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				

2 河川愛護団体と連携し、環境美化、意識向上等を図る。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<信濃川を守る協議会松本ブロック負担金> 新潟県、長野県の信濃川流域の全市町村の内の松本ブロック加入の11市町村で構成する組織で、年2回の河川パトロール等を実施。	不法投棄回収量(トン)		ブロック管内において、延べ100名に参加いただき、ごみを収集し河川環境の美化に寄与できた。	関係機関と連携を図りながら、パトロールを実施し、河川愛護思想の普及に努める。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	4				4
実績値	0.3	0.4				

3 河川や湧水・井戸等の施設を適切に維持管理する。

実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<河川の維持及び整備> 河川の補修及び河川内の支障木等を撤去する。	溢水件数(件)		枯葉、異物などが暗渠部分に流れ込み、溢水することが多く見られる。	継続的なパトロールを実施していく。	維持課	
		R1				R2
	目標値	目標値の設定は不相当				
実績値	93	75				
水めぐりの井戸整備事業にて整備した井戸を良好な状態に保つため維持管理を実施する。	飲用可能井戸数(箇所)		整備を行なった井戸は、地域団体の清掃等日常的な管理も相まって、観光資源として重要な位置を占めている。	公共井戸の水質検査と、維持管理を継続する。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値	12				12
実績値	14	14				

4 地下水位調査を継続して行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<地下水対策事業【水位観測記録集計整理】> 概ね10年に1回実施している地下水一斉調査を補完し、地下水の保全の基礎資料にするため、地下水の水位を継続監視する。 (3-1-2に同項目有)	調査箇所(箇所)		大きな地下水位の変動は認められなかった。	引き続き調査を継続実施する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	3				3
実績値	3	3				
<地下水水質調査> 地下水の水質を保全するため、水質汚濁防止法に基づいて、水質調査を行う。 (3-1-2に同項目有)	基準達成率(%)		調査を行った全ての地点で環境基準を満たしている。	引き続き調査を継続実施し、常時監視体制を維持する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	100				100
実績値	100	100				
5 地下水の適正利用等の指導を推進する。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<アルプス地域地下水保全対策協議会> 中信11市町村及び長野県で組織する協議会において、地下水の保全を広域的に行う。	協議会での検討であるため、目標値の設定は不適當		「地下水の保全及びかん養に関する指針」に基づき、今後の事業計画等について協議を行った。	指針に基づき計画的に地下水に関する調査を実施し、具体的な施策を検討する。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				
6 地下水保全のため透水性舗装、地下浸透柵の設置等を行う。						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<街なみ環境整備事業> 歩行空間の確保と景観に配慮した歩車共存の道路整備に合わせ透水性舗装を実施。 (1-2-12に同項目有)	透水性舗装延長(m)		透水性舗装は通常に比べ、施工単価が上昇するが、排水性など多くの効果が期待できるので、高質化にあたっては標準的な仕様としている。	令和2年度をもって完了した。	都市計画課	
		R1				R2
	目標値	整備内容によるので目標値設定は不適當				
実績値	413	292				
7 その他						
実施内容	実績		評価・検証	今年度以降の取組み	所管課	
<河川美化・浄化活動> 身近な地域を流れる河川の美化・浄化を推進するため、市民との協働事業として、河川をきれいにする会の自主的活動の充実を図る。 (5-2-7に同項目有)	市民満足度調査(点)※満点4点【設問:自然や環境が適切に保全されている。】		延べ15,013人に参加いただいた結果、130トンのごみを収集することができ、河川環境の美化に寄与することができた。	河川環境の保全を図るため、引き続き市民との協働事業として、美化・浄化活動の推進に努める。	環境保全課	
		R1				R2
	目標値	—				—
実績値	—	—				

付録

1 環境行政のあゆみ

昭和 44 年	4 月	衛生課内に公害係設置
	7 月 10 日	騒音規制法に基づく規制地域に指定される
46 年	1 月	公害対策協議会を設置
47 年	1 月	公害係が公害対策室となって衛生課から分離
	2 月 25 日	穴田川をきれいにする会結成（10 町会 88 企業）
	4 月	松本市公害防止条例施行
48 年	4 月	公害対策協議会を公害対策審議会と改称
	7 月 25 日	悪臭防止法に基づく規制地域に指定される
50 年	3 月 30 日	穴田川浄化対策報告書作成（学識経験者による専門委員会に委託）
51 年	4 月	国の第 7 次公害防止計画策定地域となる（51 年 4 月～56 年 3 月）
53 年	2 月 1 日	振動規制法に基づく規制地域に指定される
	7 月	小中学校向け副読本「自然」発刊
55 年	3 月	清掃センター竣工
56 年	4 月	公害防止計画 2 巡目（56 年 4 月～61 年 3 月）
57 年	1 月 29 日	穴田川をきれいにする会が信濃川水質汚濁対策連絡協議会表彰受賞
	4 月	松本市公害防止条例施行規則一部改正 公害対策室から公害対策課となる 公害対策審議会と環境をよくする協議会及び廃棄物処理審議会が合併して環境公害審議会となる
	7 月 1 日	県の深夜営業騒音規制地域に指定される
58 年	2 月 16 日	スパイクタイヤ装着率調査開始
	28 日	松本市スパイクタイヤ問題対策会議発足（庁内）
	9 月	降下ばいじん量（ダストジャー法）測定開始
	11 月 9 日	スパイクタイヤ（道路粉じん）問題懇談会（市民懇談会）開催
	12 月 3 日	スパイクタイヤ（道路粉じん）問題市民会議発足
59 年	12 月 8 日	スパイクタイヤ問題市民集会の開催（平成 2 年 11 月まで 6 回開催）
61 年	1 月 11 日	'86 ノンスパイクフェスティバル（カタクラモール催事場） （平成 3 年 11 月まで毎年開催）
	3 月 1 日	早期はき替えキャンペーン（本町～駅前） （平成 3 年 3 月まで毎年開催）
	4 月	公害防止計画 3 巡目（61 年 4 月～平成 3 年 3 月）
	6 月 5 日	環境庁「あおぞらの街」に選定される
	7 月	浮遊粉じん測定開始
	10 月 15 日	穴田川をきれいにする会が水質保全功労団体として環境庁水質保全局長表彰受賞
62 年	3 月 14 日	粉じん被害から子供を守る市民パレード
	11 月 12 日	穴田川をきれいにする会結成 15 周年記念式典
	12 月 6 日	ピン抜きセンター実施
	～ 13 日	（以降 3 年 3 月まで 8 回実施、延べ 3,767 人が利用）
63 年	3 月 3 日	長野自動車道が松本 I C まで開通、以降定期的に沿線騒音調査を実施

平成元年	8月 25日	ノースパイク都市づくり推進協議会（会長 札幌市 副会長 仙台市・松本市）設立にあわせてスパイクタイヤ問題対策を政府に要望
	10月 20日	松本市音楽文化ホールで、ノンスパイクシンポジウム「冬道新時代に向かって」開催
3年	1月 17日	「スパイクタイヤ粉じん発生防止法」に基づく指定地域に指定される
	4月 1日	同法第7条の規定（スパイクタイヤの使用の禁止）が施行される
	4月	公害防止計画4巡目（3年4月～8年3月）
4年	4月 1日	「スパイクタイヤ粉じん発生防止法」第8条の規定（罰則）が施行される
5年	3月	小学生向け副読本「私たちのまちの水と生きもの」を発行
	4月 1日	「スパイクタイヤ粉じん発生防止法」附則第3条の規定（大型車等経過措置）が期限切れとなる
	8月 30日	酸性雨連続自動測定装置を市庁舎屋上に設置し、測定を開始
	11月 19日	（国）「環境基本法」が制定される
6年	3月	スパイクタイヤ（道路粉じん）問題市民会議「とりもどした冬の青空を祝う会」開催
	4月 1日	組織改革により、「公害対策課」が他の部門をくわえ「環境公害課」となる
	4月 1日	水質汚濁防止法に定める政令市の指定を受ける
	12月 16日	（国）「環境基本計画」閣議決定
7年	3月	小学生向け副読本「私たちのまちの水と生きもの」の利用のための手引き（教師用）を発行
8年	3月 25日	（県）長野県環境基本条例公布・施行
	4月	公害防止計画5巡目（8年4月～13年3月）
9年	2月 17日	（県）長野県環境基本計画策定・公表
	4月	ヘルボップすい星ライトダウンキャンペーンを実施（4月1日～4月6日）
	8月 2日	環境庁から「星空にやさしい街10選」として認定される
10年	3月 13日	松本市環境基本条例公布
	4月 1日	松本市環境基本条例施行
	11月 27日	「松本市の環境を考える市民の集い」を中央公民館大ホールで開催
11年	3月	「松本市かおりポイントマップ」を作成（平成9年・10年 かおり環境都市モデル事業）
	4月	松本西部広域施設組合において松本クリーンセンター、リサイクル施設及びラーラ松本の管理運営を新たに開始
	12月	松本市環境基本計画策定
12年	11月 1日	特例市へ移行
13年	3月 16日	松本市水環境を守る条例公布 松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例公布
	4月	公害防止計画6巡目（13年4月～18年3月）
	4月 1日	「環境公害課」から「環境保全課」と名称を変更
	4月 1日	松本市水環境を守る条例施行
	4月 1日	松本市ポイ捨て防止等及び環境美化に関する条例施行
	11月 12日	環境省から「松本大名町通りのシナノキ」が「かおり風景100選」に認定される

- 14 年 1 月 25 日 ISO14001 認証取得（本庁舎・東庁舎）
6 月 21 日 「2002 かおり風景フォーラムin松本」開催
～ 22 日
- 15 年 2 月 松本市地球温暖化防止実行計画策定
松本市地域省エネルギービジョン策定
2 月 15 日 「土壌汚染対策法」施行
9 月 1 日 「臭気指数規制」施行
- 16 年 2 月 松本市地域新エネルギービジョン策定
- 17 年 1 月 25 日 ISO14001 認証更新及び適用範囲の拡大（上下水道局舎）
- 18 年 1 月 27 日 ISO14001 適用範囲の拡大（大手事務所）
3 月 松本市地球温暖化防止実行計画策定（第 2 次）
10 月 28 日 松本市河川をきれいにする会連絡協議会 30 周年記念大会開催
- 19 年 2 月 2 日 ISO14001 適用範囲の拡大（4 支所、給食センター、中央公民館、
中央図書館）
3 月 第 2 次松本市環境基本計画策定
9 月 29 日 第 19 回「星空の街・あおぞらの街」全国大会開催
～ 30 日
- 20 年 1 月 25 日 ISO14001 認証更新及び適用範囲の拡大（体育館・松本城管理事務所等）
- 20 年 4 月 1 日 松本市リサイクルセンター運営開始
6 月 25 日 「まつもと城下町湧水群」が環境省「平成の名水百選」に認定される
10 月 松本市一般廃棄物処理計画策定
- 21 年 4 月 環境保全課内に温暖化対策担当を設置
- 22 年 1 月 28 日 「上高地 清水川」が「信州の名水・秘水」選定委員会により、「信州の名
水・秘水」に選定される
3 月 31 日 ISO14001 認証登録を返上
4 月 組織改革により、「環境保全課」「環境清掃課」が「環境政策課」「環境保
全課」「環境業務課」となる
- 23 年 3 月 17 日 福島第一原子力発電所事故を受け、空間放射線量測定を開始
7 月 第 3 次松本市環境基本計画策定
11 月 松本市地球温暖化対策実行計画策定
- 24 年 2 月 （県）生物多様性ながの県戦略策定
4 月 1 日 「松本西部広域施設組合」の名称が「松塩地区広域施設組合」と改められ、
塩尻市及び朝日村を加え、共同処理を開始
4 月 1 日 「大気汚染防止法」に規定する一般粉じん発生施設に係る事務が移譲される
8 月 酸性雨連続自動測定終了
- 25 年 4 月 1 日 松本市リサイクルセンターに指定管理制度導入
11 月 子ども向け松本市環境基本計画ハンドブック（環境副読本）「まつもとの環
境」を発行
- 26 年 7 月 1 日 松本市空き家等の適正管理に関する条例を施行
- 27 年 4 月 組織改革により、「市民環境部」から「環境部」として独立
3 月 食品ロス削減啓発用紙芝居「みんなでおいしくいただきます！～お皿ピカピ
カ大作戦～」を作製
- 28 年 1 月 第 3 回「食品産業もったいない大賞」において食品ロス削減の取組みが「農
林水産省食料産業局長賞」を受賞

28年	2月27日	松本市生物多様性シンポジウムをMウイングで開催
	3月	松本市生物多様性地域戦略策定
28年	3月	「まつもと城下町湧水群」が環境省「名水百選」選抜総選挙、観光地としてすばらしい「名水」部門で3位に選ばれる
	7月	松本市地球温暖化対策実行計画（平成28年度改訂版）策定 松本市再生可能エネルギー地産地消推進計画策定
29年	3月	第3次松本市環境基本計画（平成28年度改訂版）策定
	5月	消費者教育教材表彰 2017 において食品ロス削減啓発用紙芝居「みんなでおいしくいただきます！～お皿ピカピカ大作戦～」が優秀賞を受賞
	10月	第1回食品ロス削減全国大会～広げよう30・10inまつもと～（市制施行110周年記念事業）を開催
30年	3月	松本市一般廃棄物処理計画（平成30年度～令和9年度版）策定
31年	2月	松本市災害廃棄物処理計画策定
	3月	松本市エコトピア山田の再整備方針決定
	4月	松本市エコトピア山田再整備事業に着手
令和元年	10月	松本市食品ロス削減シンポジウムを開催
	11月	松本山雅FCホームゲームにて、松本市3R推進スペシャルマッチを開催
2年	1月	パリ協定の目標達成に向け、地域から貢献する世界的な取組み「世界首長誓約／日本」に署名
3年	3月	松本市食品ロス削減推進計画策定